
会 告 ・ 通 知

————— 平成 25 年 9 月号会告・通知目次 —————

◇CEATEC JAPAN 2013 との連携企画開催のお知らせ	2
◇CEATEC JAPAN 2013 電子情報通信学会 特別シンポジウム	3
◇CEATEC JAPAN 2013 電子情報通信学会 東京支部シンポジウム	4
◇第一種研究会開催案内（平成 25 年 9 月 2 日～10 月 8 日）等	5
（CEATEC JAPAN 2013 との連携企画開催（第一種研究会，第二種研究会）は告 7，8 を参照）	
◇第二種研究会開催案内・発表募集案内	27
◇2013 年ソサイエティ大会開催案内	32
◇支部大会	
・平成 25 年度電気・情報関係学会北海道支部連合大会	33
・平成 25 年度（第 64 回）電気・情報関連学会中国支部連合大会	33
・平成 25 年電気関係学会関西連合大会	33
◇講演会・講習会・学術研究会等	
・信越支部 講演会	34
・東海支部 平成 25 年度第 2 回学生会講演会	34
・関西支部 IEICE 関西支部 ICT 基礎講座「機械学習の基礎と応用」	34
電気四学会関西支部講演会及び見学会	
「三菱重工業(株)高砂製作所・(株)神戸製鋼所加古川製鉄所」	35
電気四学会関西支部「准員及び学生員のための講演会（前半）」	35
・HCG シンポジウム 2013～人々の生活を豊かにしていく ICT とコミュニケーション～	36
・2013 年度画像符号化シンポジウム（PCSJ2013）／2013 年度映像メディア処理シンポジウム（IMPS2013）	37
・本会が協賛等のもの	37
◇国際会議	38
◇受賞候補者募集等	39
◇求人欄	40
◇お知らせ	
・銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）口座自動引落しの割引特典のお知らせ	44
・転勤・転居及び学生員申請の届出について	44
・論文誌の冊子体の廃止について	44
・知的環境とセンサネットワーク（ASN）研究会ロゴ募集について	44
・平成 25 年 9 月号及び 10 月号和・英論文誌特集・小特集テーマ	45
・「産・官・学共同研究」募集のお知らせ	45
◇論文特集原稿募集	
・空間音響信号処理と実用化小特集（英文論文誌 A）	46
・将来ネットワークに向けたインターネットアーキテクチャ特集（和文論文誌 B）	46
・クラウド・サービスコンピューティング小特集（英文論文誌 D）	47
・多値論理と VLSI コンピューティング小特集（英文論文誌 D）	48
・Internet of Things のフロンティア小特集（英文論文誌 D）	49
・画像符号化・映像メディア処理特集（和文論文誌 D）	49
◇論文特集論文募集カレンダー	51
♣複写される方へ	50
♣各種証明，閲覧の手数料について	52
♣新刊案内	
・本会発行図書	
「非線形システムが社会を動かす」	31
♣総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開について	45

—CEATEC JAPAN 2013 との連携企画開催のお知らせ—

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN2013 と、昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN2013 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN2013 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN2013 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN2013 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「未来を切り拓くスマートモビリティを実現する技術と将来ビジョン」及び東京支部主催シンポジウム「SDN と NFV 技術を活用したネットワーク仮想化最先端技術動向」並びに下記 6 件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいますよう、御案内致します。

なお、今年度の CEATEC のテーマは「Smart Innovation—明日の暮らしと社会を創る技術力—」です。

<http://www.ceatec.com/2013/ja/application/about/about02.html>

【開催日】 10月3日(木)~4日(金)

【会場】 幕張メッセ(千葉市)

会場までのアクセスは URL (<http://www.m-messe.co.jp/access/index.html>) を御参照下さい。

【参加費】 無料(ただし、予稿集等有料の場合あり)

【申込方法】 当日会場に直接お越し下さい。なお、CEATEC JAPAN2013 展示会に参加される方は、下記 URL から展示会参加のための事前登録をお願い致します。<http://www.ceatec.com/>(8月初旬掲載予定)

本会が主催する内容は次のとおりです。

I 一般社団法人電子情報通信学会 特別シンポジウム

【開催日】 10月3日(木) 14:00~17:30

【会場】 国際会議場 2F コンベンションホール A

【テーマ】 未来を切り拓くスマートモビリティを実現する技術と将来ビジョン

③知的環境とセンサネットワーク研究専門委員会 (ASN)

【開催日】 10月3日(木) 10:00~13:00

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 知的環境が実現する社会生活基盤
—医療、健康、スポーツとビッグデータ—

II 一般社団法人電子情報通信学会 東京支部主催シンポジウム

【開催日】 10月3日(木) 14:00~18:00

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 SDN と NFV 技術を活用したネットワーク仮想化最先端技術動向

④ ICT スマートグリッド技術時限研究専門委員会

【開催日】 10月4日(金) 10:00~13:00

【会場】 国際会議場 3F 301B号室

【テーマ】 次世代 ICT スマートグリッドによる持続可能社会の実現へ向けて

III 一般社団法人電子情報通信学会 研究会

①コンピュータシステム研究専門委員会 (CPSY)

【開催日】 10月3日(木) 9:00~17:00

【会場】 国際会議場 3F 301B号室

【テーマ】 ユーザを支えるコンピューティング及び一般
—パーソナル機器からスマートシティまで—

⑤人工知能と知識処理研究専門委員会 (AI)

【開催日】 10月4日(金) 14:00~17:00

【会場】 国際会議場 3F 301B号室

【テーマ】 10年後の暮らしをスマートにする+αな価値を創る AI

②パターン認識・メディア理解研究専門委員会 (PRMU)

【開催日】 10月3日(木) 13:30~17:50

4日(金) 13:30~18:10

【会場】 国際会議場 3F 302号室

【テーマ】 大規模データとパターン認識・メディア理解、地球をとらえる

⑥電子ディスプレイ研究専門委員会 (EID)

【開催日】 10月4日(金) 13:00~17:00

【会場】 国際会議場 3F 303号室

【テーマ】 電子ディスプレイシンポジウム
—タッチパネルのすべて—

※ CEATEC JAPAN (Combined Exhibition of Advanced Technologies) とは

CEATEC JAPAN は、世界最先端の技術・製品・サービス等が発表され、国内外の業界関係者を始めとする、幅広いユーザから大きな関心をもたれているアジア最大級の IT・エレクトロニクス産業に関連する業界の総合展示会です。

展示会場では、電子部品・デバイスから完成品まで多岐にわたる展示品目を、カテゴリーごとにゾーン分けを行い展開することで、顧客の的確な誘致と効率の良い情報収集を可能にします。展示会場で開催するコンファレンスセッションでは、産業界のトップエグゼクティブや、業界をリードするキーパーソンがビジネスの革新、躍進に役立つメッセージを発信します。

CEATEC JAPAN 2013 は、10月1日(火)~5日(土)の5日間、幕張メッセにて開催されます。

詳細 URL はこちら <http://www.ceatec.com/2013/ja/application/index.html>

—CEATEC JAPAN 2013 電子情報通信学会 特別シンポジウム—

電子情報通信学会では CEATEC JAPAN 2013 のコンファレンスの部において、産官学各界を代表する皆様による特別シンポジウムを開催致します。

近年、屋内外を問わないブロードバンド通信やスマートフォンの普及により、高度な通信サービスの移動性＝モビリティが格段に向上しました。一方、モビリティ最大の媒体である車も、ハイブリッド化や EV 化による環境性能、ICT を活用した安全性能や快適性能の向上で目覚ましい変革を遂げています。効率的で安全・快適なスマートモビリティの実現を目指して、これからの社会・産業の高度化にふさわしい ICT と車のあり方の将来展望を中心に、産官学それぞれの立場から ICT と車の方向性について思いを語って頂きます。

日 時：2013 年 10 月 3 日（木）14：00～17：30

場 所：幕張メッセ国際会議場 2 階 コンベンションホール A

テーマ：「未来を切り拓くスマートモビリティを実現する技術と将来ビジョン」

主 催：一般社団法人電子情報通信学会

プログラム案

(敬称略)

1. 14：00 開会挨拶 電子情報通信学会会長 井上友二

2. 14：05～15：05 基調講演（各 30 分）
 - ①「情報通信第 3 のパラダイムと ITS」 情報通信研究機構理事長 坂内正夫
 - ②「スマートコミュニティ社会とつながるクルマの未来」 トヨタ自動車株式会社常務役員 友山茂樹15：05～15：10 休憩

3. 15：10～17：25 パネル討論 モデレータ：井上友二
 - (1) パネリストによる御講演（各 20 分）
 - ①「スマートモビリティを支える ITS 技術の発展」 住友電気工業株式会社常務取締役 矢野 厚
 - ②「スマートモビリティを実現するパワーエレクトロニクス」 三菱電機株式会社常務執行役 堤 和彦
 - ③「モバイル通信連携によるスマートモビリティ」 (株)NTT ドコモ執行役員 栄藤 稔
 - ④「Twitter とスマートモビリティの融合」(仮題) Twitter Japan パートナーシップ・ディレクター 牧野友衛
 - (2) 討論（55 分）

4. 17：25 閉会挨拶 電子情報通信学会次期会長 酒井善則

現在、インターネット、スマートフォン、携帯電話、クラウドサービスを含め人々の生活は様々な ICT に支えられています。現在は株式売買取引など一瞬一秒を争う情報通信によるビジネスが増え、ICT 環境をいかに迅速に、安心して、かつ安全に維持提供していくかが今後の国家インフラとして求められています。

昨今、これらの課題の解決へ向けて、キャリアネットワーク、クラウド、データセンター領域等において Software-Defined Network (SDN)、Network Functions Virtualization (NFV) などの技術の適用による解決方式が注目を集め、各所での検討が進められています。サーバ、ストレージなどの分野では仮想化技術の普及が急速に進んでおり、仮想化技術の各種監視管理、自動化技術により柔軟なインフラ構築が可能になってきています。一方で、ネットワーク分野は、従来ネットワーク機器が専用機器で構成されており、設計、設定、運用が個別の対応を行わざるを得ず、インフラ構築に制約がありました。そのため、柔軟なネットワークインフラ構築へ向けた仮想化技術の導入が期待されています。

本シンポジウムでは、「SDN 技術」や「NFV 技術」に関してキャリア事業者の観点、ベンダの観点で最先端の研究開発動向を議論し、国際競争力強化も見据えた実用化や技術開発の課題や対応策についての議論を行います。

第 1 部では、まず、「SDN/NFV 技術を活用したネットワーク仮想化へ向けた取組み」について、キャリア事業者の観点、ベンダの観点で、研究開発している技術要素の現状の取組み、及び今後の実用化に向けた課題について、各分野の第一線で御活躍されている方々をお招きし、御講演を頂きます。

第 2 部では、アカデミアの視点から、研究開発している技術要素の現状の取組み、及び今後の実用化に向けた課題について、各分野の第一線で御活躍されている方々をお招きし、御講演を頂き、今後のキャリアネットワークインフラストラクチャーに向けて、ユーザの期待、事業者の期待、ベンダの期待の観点で我々は何をすべきなのか？ 将来の展望は何かについて、パネルディスカッションを行います。

日 時：2013 年 10 月 3 日（木） 14：00～18：00

会 場：幕張メッセ国際会議場 303 会議室

テーマ：SDN と NFV 技術を活用したネットワーク仮想化最先端技術動向

第 1 部 講演の部

14：00～14：05 開会挨拶

茨木 久氏 電子情報通信学会東京支部支部長、NTT サービスエボリューション研究所所長

14：05～14：30 “ネットワーク仮想化技術を用いた柔軟なコアネットワーク実現への取組み”（講演 20 分、質疑 5 分）

清水敬司氏 (株)NTT ドコモ先進技術研究所

14：30～14：55 “複数拠点に跨る仮想化通信リソースの可視化”（講演 20 分、質疑 5 分）

大橋正彦氏 富士通株式会社ネットワークソリューション事業本部

14：55～15：20 “通信要求の変動に柔軟に対応するための通信サービスの仮想化への取組み”（講演 20 分、質疑 5 分）

岩田 淳氏 日本電気株式会社情報・ナレッジ研究所

15：20～15：45 “NFV における標準化活動とモバイルシステム仮想化の取組みについて”（講演 20 分、質疑 5 分）

横田英俊氏 (株)KDDI 研究所

15：45～16：00 休憩

第 2 部 パネルディスカッション

16：00～16：25 “SINET におけるネットワーク仮想化と SDN 技術への期待”（講演 20 分、質疑 5 分）

漆谷重雄氏 国立情報学研究所学術ネットワーク研究開発センター長

16：25～16：50 “SDN のさらなる高度化への挑戦と JGN-X/RISE への応用”（講演 20 分、質疑 5 分）

河合栄治氏 独立行政法人情報通信研究機構テストベッド研究開発推進センター

16：50～17：05 休憩

17：05～17：55 パネルディスカッション

「SDN」と「NFV」へ向けた期待と今後の課題について

・座長

漆谷重雄氏 国立情報学研究所学術ネットワーク研究開発センター長

・パネリスト

上記御講演者の方々

17：55～18：00 閉会挨拶

茨木 久氏 電子情報通信学会東京支部支部長、NTT サービスエボリューション研究所所長

電子情報通信学会各研究会開催通知

第一種研究会 平成 25 年 9 月 2 日～10 月 8 日

開催プログラムは変更になることがあります。
最新情報は学会ホームページのイベント日程等で御確認下さい。
<http://www.ieice.org/event/workshops.php>

◎基礎・境界ソサイエティ

研究会名	日	時	会	場	告頁
I T S	2日(月)	10:30~17:00	電気学会	本部	9
スマートインフォメディアシステム	12日(木) 13日(金)	10:30~17:25 10:00~11:55	早稲田大学	早稲田キャンパス	10
情報セキュリティ	13日(金)	13:10~17:30	機械振興会館		13
安全	26日(木)	10:30~17:00	機械振興会館		15
超音波	12日(木)	13:00~16:45	東北大学	工学部・電子情報システム・応物系	17
回路とシステム	26日(木)	12:40~16:45	岐阜大学	サテライトキャンパス	20
非線形問題	27日(金)	9:00~16:40			
情報理論	27日(金)	9:00~15:20	カルチャーリゾートフェストーネ		26
9月休会の研究会；信頼性，応用音響，VLSI設計技術，信号処理，ワイドバンドシステム，システム数理と応用，思考と言語，技術と社会・倫理，イメージ・メディア・クオリティ					

◎通信ソサイエティ

研究会名	日	時	会	場	告頁
インターネットアーキテクチャ	6日(金)	9:25~19:30	IIJ	神保町三井ビル	9
アンテナ・伝播	12日(木)	13:00~17:30	NHK	放送技術研究所	10
マイクログ波	13日(金)	9:30~16:40			
環境電磁工学	13日(金)	10:30~17:05	北海道大学	百年記念会館	15
ネットワークシステム	12日(木)	10:20~18:20	東北大学	電気通信研究所	17
情報ネットワーク	13日(金)	9:20~15:05			
通信方式					
コミュニケーションクオリティ	12日(木)	8:30~18:15	金沢工業大学	扇が丘キャンパス	21
モバイルネットワークとアプリケーション	13日(金)	8:30~17:35			
今後の予定；フォトリックネットワーク (26 ページ)					
9月休会の研究会；宇宙・航行エレクトロニクス，衛星通信，電子通信エネルギー技術，光通信システム，無線通信システム，フォトリックネットワーク，光ファイバ応用技術，情報通信マネジメント，ソフトウェア無線，知的環境とセンサネットワーク，短距離無線通信					

◎エレクトロニクスソサイエティ

研究会名	日	時	会	場	告頁
マイクログ波	12日(木)	13:00~17:30	NHK	放送技術研究所	10
アンテナ・伝播	13日(金)	9:30~16:40			
電子部品・材料	10月8日(火)	13:00~14:40	機械振興会館		15
今後の予定；電磁界理論，光エレクトロニクス，レーザー・量子エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトリック (26 ページ)					
9月休会の研究会；機構デバイス，磁気記録・情報ストレージ，超伝導エレクトロニクス，電子ディスプレイ，電子デバイス，電子部品・材料，電磁界理論，シリコン材料・デバイス，集積回路，有機エレクトロニクス，光エレクトロニクス，レーザー・量子エレクトロニクス，エレクトロニクスシミュレーション，マイクロ波・ミリ波フォトリック					

◎情報・システムソサイエティ

研究会名	日	時	会	場	告頁
言語理解とコミュニケーション	12日(木) 13日(金)	10:00~16:55 9:00~16:50	国立オリンピック記念青少年総合センター		11
データ工学	12日(木) 13日(金)	13:00~17:25 10:00~17:45	国立情報学研究所		12

知能ソフトウェア工学	12日(木) 13日(金)	10:00~18:15 10:30~16:20	電気通信大学	13
医用画像	13日(金)	9:25~16:40	千葉大学・西千葉キャンパス	14
音声	18日(水) 19日(木)	10:35~17:10 11:15~14:35	千葉大学・西千葉キャンパス	14
パターン認識・メディア理解	10月3日(木) 4日(金)	13:30~17:50 13:30~18:10	幕張メッセ・国際会議場	7
MEとバイオサイバネティクス ニューロコンピューティング	24日(火) 25日(水)	9:30~18:00 9:30~15:10	新潟大学・駅南キャンパス「ときめいと」	19
リコンフィギャラブルシステム	18日(水) 19日(木)	14:20~17:50 9:00~16:05	北陸先端科学技術大学院大学	22
パターン認識・メディア理解 情報論的学習理論と機械学習	2日(月) 3日(火)	9:30~18:30 9:30~17:15	鳥取大学・鳥取キャンパス	前号
コンピュータシオン	3日(火)	10:10~16:10	鳥取環境大学・本部	前号
教育工学	28日(土)	10:00~16:45	広島大学・東広島キャンパス	24
ライフインテリジェンスとオフィス情報システム 画像工学 マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント	12日(木) 13日(金)	13:05~17:00 9:40~15:10	東海大学・熊本キャンパス	25
今後の予定；コンピュータシステム (8ページ)				
9月休会の研究会；コンピュータシステム，人工知能と知識処理，ソフトウェアサイエンス，ディベンドブルコンピューティング，ソフトウェアインタプライズモデリング，情報通信システムセキュリティ，クラウドネットワークロボット，サービスコンピューティング				

◎ヒューマンコミュニケーショングループ

研究会名	日	時	会場	告頁
マルチメディア・仮想環境基礎	26日(木) 27日(金)	9:00~18:30 9:00~12:55	利尻町交流促進施設「どんと」	16
ヒューマン情報処理	12日(木) 13日(金)	14:00~17:40 9:30~15:55	情報通信研究機構・ユバーサルコミュニケーション研究所	23
9月休会の研究会；ヒューマンコミュニケーション基礎，福祉情報工学				

◇第二種研究会開催案内

知的環境とセンサネットワーク研究会 (第二種)	10月3日(木)	幕張メッセ・国際会議場	8
ICTスマートグリッド技術研究会	10月4日(金)	幕張メッセ・国際会議場	8
電子ディスプレイシンポジウム	10月4日(金)	幕張メッセ・国際会議場	8
人工知能と知識処理研究会 (第二種)	10月4日(金)	幕張メッセ・国際会議場	8
第2回集積光デバイスと応用技術研究会	10月17日(木)	法政大学・小金井キャンパス	27
ワークショップ「結合共振型ワイヤレス電力伝送の基礎」	11月1日(金)	アットビジネスセンター東京駅八重洲通り	27
第25回電気・電子機器のEMCワークショップ	11月7日(木)，8日(金)	ホテル双葉 (新潟)	28
International Symposium on extremely advanced transmission technology (EXAT2013)	11月7日(木)，8日(金)	札幌コンベンションセンター	28
第26回情報伝送と信号処理ワークショップ	11月13日(水)~15日(金)	北海道登別温泉・第一滝本館	29

◇第二種研究会発表募集案内

第52回機能集積情報システム研究会	11月8日(金)	山口大学・常盤キャンパス	30
第29回量子情報技術研究会 (QIT29)	11月18日(月)，19日(火)	早稲田大学・西早稲田キャンパス	30
第6回情報ネットワーク科学 (NetSci) 研究会	11月22日(金)	関西学院大学・大阪梅田キャンパス	30
第4回安全・安心な生活のための情報通信システム (ICSSSL) 研究会	12月16日(月)，17日(火)	中央大学・後楽園キャンパス	31

産業界における学会価値の向上を目的に、企業に所属する技術者が多数参加する CEATEC JAPAN2013 と、昨年に引き続き連携することになりました。CEATEC JAPAN2013 は、電子情報通信系最大規模の展示会です。CEATEC JAPAN2013 と連携することで、電子情報通信分野で活躍する企業技術者に本会活動を広く知って頂くことができます。更に、CEATEC JAPAN2013 展示会に参加した技術者が研究会に参加する、あるいは、研究会に参加した研究者が CEATEC JAPAN2013 展示会に参加するといった相互交流が期待でき、電子情報通信分野の活性化につながる活動であると考えています。

今回は特別シンポジウムとして、「未来を切り拓くスマートモビリティを実現する技術と将来ビジョン」及び東京支部主催シンポジウム「SDN と NFV 技術を活用したネットワーク仮想化最先端技術動向」並びに下記 6 件の研究会を計画しています。会員の皆様には、是非御参加下さいませよう、御案内致します。

★パターン認識・メディア理解研究会 (PRMU)

専門委員長 鷲見和彦 副委員長 柏野邦夫・黄瀬浩一
幹事 田中 宏・堀田政二 幹事補佐 島田敬士・井尻善久

日時 10月3日(木) 13:30~17:50

4日(金) 13:30~18:10

会場 幕張メッセ国際会議場 3F302 号室 (千葉県美浜区中瀬 2-

1. JR 海浜幕張駅より徒歩 7 分。駅から会場までのルート

http://www.m-messe.co.jp/docs/access/access_walk.pdf

http://www.m-messe.co.jp/organizers/guide/conferencehall/guide_conference.html

議題 大規模データとパターン認識・メディア理解、地球をとらえる、CEATEC 連携

3日 一般セッション 1

1. 特徴点が少ない状況での線分検出を用いたビジュアル SLAM
中野純平 (青学大)

2. 複数カメラを用いた人数分布推定に関する検討
○田淵義宗・高橋友和・出口大輔・井手一郎・
村瀬 洋 (名大)・黒住隆行・柏野邦夫 (NTT)

3. 三次元計測に基づく適応的画面投影システム ○村山裕規・
齊藤友彦・鷲見和彦 (青学大)

特別講演セッション 1

4. [特別講演] 非線形数理モデルからとらえる社会と地球—感
染症・電力システム・交通流のネットワークダイナミクス—
鈴木秀幸 (東大)

5. [特別講演] 東日本大震災時におけるデマの拡散と収束
○佐野幸恵 (日大)・山田健太 (早大)・渡邊隼史 (ネットリンク)・
三浦 航・佐藤和也 (東工大)・
高安秀樹 (ソニーコンピュータサイエンス研)・高安美佐子 (東工大)

特別講演セッション 2

6. [特別講演] 社会分析ツールとしての大規模放送映像解析
佐藤真一 (NII)

4日 テーマセッション 1

1. 土地被覆図校正のための Science DCP における風景画像認識
○岩田健司・尾崎竜史・岩男弘毅・小島 功 (産総研)

2. NICT サイエンスクラウド：地球規模観測ネットワークからの
データ収集・データベース・データ処理

- 村田健史 (NICT)・磯田総子 (サイエンスサービス)・
渡邊英伸 (NICT)・鶴川健太郎・村永和哉・鈴木 豊 (セグ)・
黒澤 隆 (日立ソリューションズ東日本)・木村映善 (愛媛大)・
建部修見・田中昌宏 (筑波大)・山本和憲・長妻 努・
津川卓也・佐藤晋介・笠井康子 (NICT)
3. NICT サイエンスクラウド：地球科学・宇宙科学ビッグデー
タ分散処理技術 ○磯田総子 (サイエンスサービス)・村田健史・
渡邊英伸 (NICT)・深沢圭一郎 (九大/NICT)・山本和憲・
久保田康文・笠井康子・佐藤晋介 (NICT)・鶴川健太郎・
村永和哉・鈴木 豊 (セグ)・
黒澤 隆 (日立ソリューションズ東日本)・木村映善 (愛媛大)・
建部修見・田中昌宏 (筑波大)

特別講演セッション 3

4. [特別講演] 高解像度時代に推進する大気物理学—データ中
心科学が観測とモデルと理論をつなぐ— 佐藤 薫 (東大)
テーマセッション 2

5. ネットワークフロー最適化手法に基づく細胞内粒子群の追跡
○藤崎顕彰・フォン ヤオカイ・内田誠一 (九大)・
齋藤有紀・鈴木利治 (北大)

6. 相対近傍グラフによるパターン分布構造の解析
○石田良介 (九大)・後藤雅典 (グーグル)・フォン ヤオカイ・
内田誠一 (九大)

7. Twitter からのジオタグ画像収集による視覚的イベント検出
○金子昂夢・柳井啓司 (電通大)

8. ラーメン vs カレー：2 年分のログデータと高速食事画像認識
エンジンをを用いた Twitter 食事画像分析とデータセット自動
構築 ○河野憲之・柳井啓司 (電通大)

◎CEATEC 会場近くで 18 時より、情報交換を目的として懇親
会を行う予定です。予約制ですので、参加希望の方は以下の要
領でメールでお申込み下さい。

懇親会：10月3日(木) 18:30

金額：4,000 円程度 (予定) 締切：9月20日

メール宛先：atsushi@limu.ait.kyushu-u.ac.jp

メール件名：PRMU 研究会 CEATEC 懇親会参加希望

メールにはお名前、御所属、メール連絡先を御記入下さい。

集合場所などの詳細は、お申し込み頂いたメール及び当日に御
連絡致します。

☆PRMU 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- ・12月12日(木)、13日(金) 三重大 [9月18日(水)] テー
マ：事象の監視・検出・解析、安全・安心社会の実現、若手
からの情報発信
- ・技術テーマ：事象の監視・検出・解析
- ・社会課題テーマ：安全・安心社会の実現 (注：交通安全、犯
罪対策など)
- ・企画 1：若手からの情報発信
- ・企画 2：第 17 回 PRMU アルゴリズムコンテスト結果発表&
表彰式

我々の身の回りに存在する様々な事象を監視して特定のイベン
トを検出する技術、及びそれらを詳細に解析する技術は、従来か
ら様々な事象を対象として研究がなされており、現在でも
PRMU 分野における主要なテーマの一つとなっています。また、
近年の凶悪犯罪に対する危機意識の高まりを受け、防犯を目的と
した事象の監視・検出・解析を行う技術が強く求められるよう
なっています。特に、今年の 4 月に発生したボストン・マラ
ソン爆破事件の発生以降、安心安全な社会を実現するための重要
な技術として大きな注目を集めています。このような背景から、

テーマセッションとして「事象の監視・検出・解析」を企画致しました。本テーマセッションでは、これらのテーマに関する基礎研究、要素技術、及び応用研究に関する発表を広く募集致します。

一方、街中や高速道路でのドライバーの脇見運転や健康状態等に起因する事故、更には防犯カメラ設置下にもかかわらず検挙に時間を要する犯罪が後を絶えません。映像を使って事故や犯罪を即座に検出し、それらを未然に防止する技術への期待はますます高まっています。そこで、技術テーマとも非常に関連性の高い「安全・安心社会の実現」を社会課題テーマとして挙げ、交通安全、犯罪対策など安全・安心社会の実現を促進すべく、本テーマに関連する基礎研究、要素技術及び応用研究に関する発表を広く募集致します。

なお、上記のテーマセッションに加えて一般セッションも開催致します。更に、12月のPRMU研究会では「若手からの情報発信」をテーマとした企画、第17回PRMUアルゴリズムコンテスト「見つけた！隠れているのはだれ？どこ？」の結果発表、優秀アルゴリズムの表彰及び発表会を予定しています。研究会の枠を越えた議論の場として御活用頂けましたら幸いです。

・1月23日(木)、24日(金) 阪大吹田キャンパス〔11月7日(木)〕テーマ：人体・動作の認識と理解、福祉と共生、国際会議報告

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

PRMU研究会幹事宛

E-mail : prmu-kanji@mail.ieice.org

●知的環境とセンサネットワーク研究会

日時 10月3日(木) 10:00~13:00

会場 幕張メッセ国際会議場 3F 303号室

議題 知的環境が実現する社会生活基盤—医療, 健康, スポーツとビッグデータ—

1. 慣性センサによるヒトの運動パフォーマンス評価
仰木裕嗣 (慶大)
2. すべてはアスリートのために~miCoachが実現するスポーツにおけるデータ活用
山下 崇 (アディダスジャパン)

3. コペルニクスの発想による戦略的防衛医療構想 Ver. 3.0:「情報薬 TM」の開発と処方
辰巳治之 (札幌医科大)

4. からだと社会を繋ぐヘルスケアビジネスの展望とビッグデータの活用
竹林 一 (ドコモヘルスケア)

5. 健康・スポーツ分野におけるエプソンのセンシングシステム
森山佳行 (セイコーエプソン)

主催 知的環境とセンサネットワーク研究専門委員会

●コンピュータシステム研究会

日時 10月3日(木) 9:00~17:00

会場 幕張メッセ国際会議場 3F 301B号室

議題 ユーザを支えるコンピューティング及び一般パーソナル機器からスマートシティまで—

主催 コンピュータシステム研究専門委員会

●ICTスマートグリッド技術研究会

日時 10月4日(金) 10:00~13:00

会場 幕張メッセ国際会議場 3F 301B号室

議題 次世代ICTスマートグリッドによる持続可能社会の実現へ向けて

主催 ICTスマートグリッド技術時限研究専門委員会

●電子ディスプレイシンポジウム

日時 10月4日(金) 13:00~17:00

会場 幕張メッセ国際会議場 3F 303号室

議題 電子ディスプレイシンポジウム「タッチパネルのすべて」

主催 電子ディスプレイ研究専門委員会

●人工知能と知識処理研究会

日時 10月4日(金) 14:00~17:00

会場 幕張メッセ国際会議場 3F 301B号室

議題 10年後の暮らしをスマートにする+αな価値を創るAI

主催 人工知能と知識処理研究専門委員会

会告欄は本会ホームページからも御覧になれます。

<http://www.ieice.org/jpn/kaikoku/kaikoku.html>

(本会ホームページ→各種お知らせ→会告・通知)

※平成26年1月号から会告・通知欄は、一部内容を除き本会ホームページのみの掲載となります。

★ITS 研究会 (ITS)

専門委員長 上條俊介 副委員長 山里敬也・永長知孝
幹事 和田友孝・羽多野裕之
幹事補佐 橋本尚久・大野光平・麻生敏正

日時 9月2日(月) 10:30~17:00

会場 電気学会本部第1~第4会議室(千代田区五番町6-2
HOMAT HORIZON ビル8F. JR/地下鉄:市ヶ谷駅から徒歩
2分. <http://www2.iee.or.jp/ver2/honbu/31-doc-honb/map.pdf>)

議題 交通における計測, 一般

1. 道路情報処理ソフトウェア構築の最適化

小沢慎治(愛知工科大)

2. プローブデータを用いた右折交通流に対する交通順応制御の検討

○岩岡浩一郎・弘津雄三(パナソニックシステムネットワークス)・
鶴澤政幸(千葉県警察本部)

3. 時間的分散及び交通情報に基づく経路計画による渋滞緩和効果の検証

○上原和樹・赤嶺有平・遠藤聡志(琉球大)・
根路銘もえ子(沖縄国際大)

4. LEDによる通信・測距デバイスを用いた協調型車両位置推定手法の提案

大坪泰秀(阪大)・○梅津高朗(滋賀大)・
東野輝夫(阪大)

午後(13:30~)

ITS-5. Real Time Traffic Prediction in Urban Traffic Network

○Zilu Liang・Yasushi Wakahara (Univ. of Tokyo)

ITS-6. UWBを用いた歩行者位置推定方式の検討

○石塚皓史(東京理科大)・大野光平(明大)・
伊丹 誠(東京理科大)

ITS-7. 利用衛星数の低減を目指した自位置推定アルゴリズムの検討

○羽多野裕之(宇都宮大)・木谷友哉(静岡大)・
藤井雅弘・渡辺 裕(宇都宮大)・大西博信(静岡大)

ITS-8. スペクトル拡散方式を用いた可視光車車間通信・測距統合システムの一検討(その2)

水井 潔(関東学院大)

ITS-9. [招待講演] ITS 研究開発分野における学会連携に向けた取り組みについて—東日本大震災における土木学会・電気学会の連携の事例から—

牧野浩志(中日本高速)

10. [招待講演] 自動車の自動運転システム—展望と課題—

津川定之(名城大)

◆電気学会; ITS 研究会, 情報処理学会; ITS 研究会連係

☆ITS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月 東京理科大 [未定] テーマ: ITS 通信, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikom.html>

【問合先】

和田友孝(関西大システム理工学部電気電子情報工学科)

〒564-8680 吹田市山手町3-3-35

TEL & FAX [06] 6368-1285

E-mail: wada@jnet.densi.kansai-u.ac.jp

★インターネットアーキテクチャ研究会 (IA)

専門委員長 石橋圭介

副委員長 秋山豊和・地引昌弘・中村 豊

幹事 衛藤将史・松浦知史

幹事補佐 義久智樹・山本 寛・渡里雅史

日時 9月6日(金) 9:25~19:30

会場 IJ 神保町三井ビル(千代田区神田神保町1-105 神保町
三井ビルディング. 地下鉄: 神保町駅, A9 出口より徒歩約2
分または地下鉄: 竹橋駅, 3b 出口より徒歩約6分. <http://www.ij.ad.jp/info/map/head-office.html>)

議題 インターネット運用・管理, 一般

1. IETF の歩き方 調整中 (ISOC-JP)

2. レイヤ3 Spine-Leaf データセンターネットワークの構築—Interop Tokyo 2013 における ShowNet data center の取り組み—

○奥澤智子・関谷勇司(東大)

3. SDN を用いたクラウドサービスネットワークの実現

○中村 遼(東大)・堀場勝広(慶大)・関谷勇司(東大)

4. Ethernet OAM/CFM の相互接続の現状と課題とこれからの Interop Tokyo 2013 における ShowNet Ethernet OAM の取り組み—

○長谷川幹人(SII ネットワーク・システムズ)・
関谷勇司(東大)

午後(12:30~)

5. [招待講演] 現実味を帯びてきた ICN/CCN の研究動向

阿多信吾(阪市大)

6. 広域網テストベッドを用いたデータ指向型ネットワークの評価

○松原大典(日立)・岡本 聡・山中直明(慶大)・
高橋達郎(京大)

7. IPv4/IPv6 共存技術の現状と ShowNet での相互接続検証結果について

○大久保修一(さくらネット)・植山寛章(奈良先端大)・
真野桐郎(A10 ネットワークス)・渡邊 茂

8. IPv4/IPv6 共存技術とその運用に基づく IPv6 普及状況の観測—パブリック 6to4 リレールータの運用経験から—

○白畑 真(慶大)・大久保修一(さくらネット)・篠宮俊輔・
堀場勝広・村井 純(慶大)

9. 大規模ユーザエミュレーショントラヒック生成機構による CGN の検証について

○西塚 要(NTT コミュニケーションズ)・
知念賢一(JAIST)

10. COMET II CASL II を実装した SDN スイッチプラットフォーム上の HTTP ロードバランサの試作

波多浩昭(NTT コミュニケーションズ)

11. Automatic Route Switching Method on HANA based Multihomed Network

Yong Jin・Yusuke Fukushima・

○Kenji Fujikawa・Yasunaga Kobari・Hiroaki Harai (NICT)

JANOG セッション

12. インターネット上の不正経路広告に対する現状と課題

吉田友哉(インターネットマルチファイド)

13. 調整中

◆JANOG 共催 (<http://www.janog.gr.jp>)

◎17:30~19:30, 学生奨励賞表彰式と懇親会を開催します。

☆IA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月10日(木), 11日(金) ソウル Konkuk 大 [締切済]
テーマ: Future Internet, etc.

10月22日(火) 東大先端知ビル [締切済] テーマ: ネット
ワーク研究開発テストベッド運用・利用, 一般 (ADVNET
共催)

11月1日(金) 広島[未定] テーマ: 学生セッション, 一般
(日本学術振興会; インターネット技術第163委員会共催)

12月19日(木), 20日(金) 広島市大[10月11日(金)]
テーマ: 性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スルー
プットやトラヒックの計測, 品質(QoS)制御, 輻輳制御,
トラヒック・フロー制御, オーバレイネットワーク・P2P,
IPv6, マルチキャスト, ルーティング, DDoS及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IA 研究会事務局 (九工大電子情報工学科尾家研究室内)

TEL & FAX [0948] 29-7652

E-mail: ia-submission@mail.ieice.org

◎IA 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/ia/jpn/index.htm>

★スマートインフォメディアシステム研究会 (SIS)

専門委員長 尾上孝雄 副委員長 棟安実治・田中宏和
幹事 筒井 弘・目黒光彦 幹事補佐 田中 豪・原田康祐

日時 9月12日(木) 10:30~17:25
13日(金) 10:00~11:55

会場 早稲田大学早稲田キャンパス 11号館 703教室 (新宿区西
早稲田1-6-1. 東京メトロ東西線早稲田駅から徒歩5分または
JR 高田馬場駅から徒歩20分. <http://www.waseda.jp/jp/campus/waseda.html> TEL [03] 5286-9839 石井大祐)

議題 知的マルチメディアシステム, 一般

12日午前

SIS-1. 3D DWT ビデオ伝送のビット誤り耐性の強化

○大村光徳・山崎彰一郎・松嶋智子 (職能開発大)

SIS-2. ベクトルメディアによる色選択を利用したモノクロ画
像の着色法に関する一提案 ○上田千晶 (山口大)・

徳永憲洋 (水産大)・末竹規哲・内野英治 (山口大)

SIS-3. 誤差拡散法と減色処理に基づいたデジタル画像の限定
色表示 上田千晶・○佐藤唯菜 (山口大)・

徳永憲洋 (水産大)・末竹規哲・内野英治 (山口大)

12日午後 (12:45~)

SIS-4. [チュートリアル講演] パーソナル・スマート・ヘルス
ケアとそれを支えるワイヤレステクノロジー ○田中宏和・
鈴木琢治・南 重信 (東芝)

SIS-5. コグニティブ無線通信システムのためのアジマススプ
レッドとKファクタによるチャネルシナリオ識別に関する一
検討 ○李 昊晨・笹岡直人・伊藤良生 (鳥取大)

SIS-6. 最小全域木に基づく空間充填曲線を利用した次元ス
イッチングメディアフィルタによるインパルスノイズ除去

○古賀崇了 (徳山高専)・加藤 剛・末竹規哲・
内野英治 (山口大)

SIS-7. 遺伝的アルゴリズムによるオープニングとクロージング
における構造要素の劣化画像のみを用いた推定

○鍋谷洋介・棟安実治・浅野 晃 (関西大)

SIS-8. 領域の特徴量に着目した歯科パノラマX線写真における
石灰化領域の検出手法の改良 ○原田裕典・棟安実治・

浅野 晃 (関西大)・内田啓一・田口 明 (松本歯科大)

9. Fish Detection by LBP Cascade Classifier with Optimized
Processing Pipeline ○Dang Hoang Anh

Sriprasertsuk Pao

Wataru Kameyama (Waseda Univ.)

SIS-10. [招待講演] 対数美的曲線について

○吉田典正 (日大)・斎藤隆文 (東京農工大)

11. [特別講演] デプスマップを用いた三次元映像符号化の国際
標準化動向 志水信哉 (NTT)

13日

SIS-1. [チュートリアル講演] 色覚とアルゴリズム—カラーユ
ニバーサルデザインを目指して— 目黒光彦 (日大)

SIS-2. 組織的ブロック拡散とDCTを用いた高耐性電子透かし

○大関和夫・坂内一貴・魏 遠玉・平川 豊 (芝浦工大)・
佐藤清次 (産技短大)

SIS-3. 埋め込み型マーカを利用した印刷画像へのデータ埋め込
みと検出に関する一手法 玉置公寿・○棟安実治 (関西大)

SIS-4. 秘密分散情報の符号化に関する研究 ○山崎彰一郎・
松嶋智子 (職能開発大)

◆情報処理学会; オーディオビジュアル複合情報処理研究会連催

◎12日研究会終了後, 懇親会を予定しておりますので, 奮って
の御参加をお願い致します。

【問合せ先】

目黒光彦 (日大)

E-mail: meguro.mitsuhiko@nihon-u.ac.jp

☆SIS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月12日(木), 13日(金) 鳥取[未定] テーマ: システム
オンシリコン, RFID 関連技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

筒井 弘 (北大)

E-mail: hiroshi.tsutsui@ist.hokudai.ac.jp

★アンテナ・伝播研究会 (A・P)

専門委員長 新井宏之 副委員長 長 敬三

幹事 高橋 徹・榊原久二男 幹事補佐 道下尚文

★マイクロ波研究会 (MW)

専門委員長 黒木太司

副委員長 九鬼孝夫・中津川征士・山中宏治

幹事 河合 正・山之内慎吾 幹事補佐 清水隆志・大平昌敬

◎本研究会は A・P 研究会と MW 研究会の併催です。研究会資
料は各研究会ごとに発行されます。

日時 9月12日(木) 13:00~17:30

13日(金) 9:30~16:40

会場 NHK 放送技術研究所 (世田谷区砧 1-10-11. <http://www.nhk.or.jp/str/aboutstr/map.html> TEL [03] 5494-
2474 九鬼孝夫)

議題 マイクロ波ミリ波, 一般

12日

MW-1. 注入同期の物理的限界の実現について—理論—

田中久陽 (電通大)

MW-2. 注入同期の物理的限界の実現について—応用例—

○矢部洋司・飯倉秀策・中田一紀・守川知行・
Temuulen Enkhee・永留遼平・田中久陽 (電通大)

A・P-3. 60 GHz 帯異平面指向性合成 3-D PAA モジュールの検討
○鈴木祐也・吉田賢史・亀田 卓・末松憲治・
平 明德・高木 直・坪内和夫 (東北大)

A・P-4. マルチパス環境における動きのある人物の屋内位置推定に関する基礎検討
○佐藤耕平・山田寛喜・
山口芳雄 (新潟大)

A・P-5. 不完全 MRC のダイバーシチオーダについて
唐沢好男 (電通大)

A・P 研チュートリアル講演

A・P-6. [チュートリアル講演] 車載ミリ波レーダの開発動向
○小川 勝・松沢晋一郎・佐藤和夫 (豊田中研)

IEEE AP-S Japan Chapter 特別講演

A・P-7. [特別講演] 3300 万画素 120 フレーム/秒スーパーハイビジョンイメージセンサ (口頭発表) 島本 洋 (NHK)

13 日午前

MW-1. 可変周波数共振器を用いたチューナブルデュプレクサの開発
○池田一樹・利根正純・天明浩之・磯部 敦・
山本昭夫・松嶋直樹 (日立)・芝 隆司・比企野 治・
石崎達彦 (日立メディアエレクトロニクス)

MW-2. 2 バンドシングルキャリア信号同時増幅時の直交多項式を用いたデジタルブリディストーションにおけるパラメタ最適化の一検討
○安藤生真・タン ザカン・荒木純道 (東工大)・
山田貴之・加保貴奈・山口 陽 (NTT)

MW-3. リアルタイム負荷追従インピーダンス整合回路の提案
○佐藤翔一・水谷 豊・坂井尚貴・大平 孝 (豊橋技科大)

MW-4. コプレナー線路端部スロットで励振するマイクロストリップパッチアンテナのインピーダンス整合についての考察
○河野 徹・大島優太郎・亀井利久 (防衛大)

MW-5. 偏波依存性を利用した 2 周波 AMC 反射板をループアンテナに適用するための基礎検討
○鴨田浩和・花澤理宏・
北沢祥一・伴 弘司・久々津直哉・小林 聖 (ATR)

MW-6. 8 素子超伝導受信モジュールユニットを用いたフェーズドアレイ実験
○加屋野博幸・熊本 剛・塩川教次・
河口民雄・中山浩平・篠永充良 (東芝)

13 日午後 (13:30~)

A・P-7. 導体板近接設置による L 形モノポールアンテナ広帯域化の基礎検討
○飯草恭一・原田博司 (NICT)

A・P-8. 独立伝送形 WPT システムの動作原理解析とその特性
○常川光一・楊 程 (中部大)

A・P-9. 人体通信チャネルにおける外来ノイズ電界の等価電源表現の導出
○羽賀 望・本島邦行 (群馬大)

MW-10. IEEE 802.22 に基づく無線伝送装置の開発
○長谷川圭吾・竹川雅之・トウ キャートベン・柳澤 慶・
佐々木誠司・浅野勝洋 (日立国際電気)

MW-11. マイクロ波カメラの開発
○長山好夫 (核融合科学研)・杉戸正治 (分子科学研)・
桑原大介 (東京農工大)

MW-12. τ 型光路と光位相変調器を用いた位相制御マイクロ波信号の生成
○谷垣俊秀・萩原孝平・上原知幸・
辻 健一郎・小野寺紀明 (防衛大)

MW-13. SHF/EHF 帯を用いる超高速モバイル無線アクセスシステム
○奥村幸彦・植橋祥一・今井哲朗・須山 聡・
岡崎浩司・鈴木恭宜 (NTT ドコモ)

◆IEEE AP-S Japan Chapter 共催, IEEE MTT-S Japan Chapter, IEEE MTT-S Kansai Chapter, IEEE MTT-S Nagoya Chapter 協賛

◎12 日研究会終了後, 懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆A・P 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 3 日 (木), 4 日 (金) 金沢大サテライトプラザ [締切済] テーマ: 測定, 一般

11 月 21 日 (木), 22 日 (金) 松江テルサ [9 月 9 日 (月)] テーマ: アダプティブアンテナ, 等化, 干渉キャンセラ, MIMO, 無線通信, 一般

12 月 12 日 (木) 機械振興会館 [10 月 10 日 (木)] テーマ: 一般

12 月 20 日 (金) 沖縄県内 [11 月 10 日 (日)] テーマ: 無線設備・アンテナシステム測定技術

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

榊原久二男 (名工大)

E-mail: ap_ac-secretary@mail.ieice.org

☆MW 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 24 日 (木), 25 日 (金) 東北大青葉山キャンパス [締切済] テーマ: EMC 一般, マイクロ波, 電磁界解析

11 月 21 日 (木), 22 日 (金) 鹿児島県文化センター [9 月 13 日 (金)] テーマ: マイクロ波一般

12 月 19 日 (木), 20 日 (金) 埼玉大 [10 月 14 日 (月)] テーマ: 学生研究会/マイクロ波一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

清水隆志 (宇都宮大)

TEL & FAX [028] 689-6132

E-mail: tshimizu@cc.utsunomiya-u.ac.jp

河合 正 (兵庫県立大)

TEL & FAX [079] 267-4873

E-mail: kawai@eng.h-hyogo.ac.jp

★言語理解とコミュニケーション研究会 (NLC)

専門委員長 山本和英 副委員長 竹内孔一・西崎博光
幹事 金山 博・大塚裕子 幹事補佐 橋本泰一・榊 剛史

日時 9 月 12 日 (木) 10:00~16:55

13 日 (金) 9:00~16:50

会場 国立オリンピック記念青少年総合センター (渋谷区代々木
神園町 3-1. 小田急線: 参宮橋駅下車徒歩約 7 分. <http://nyc.niye.go.jp/facilities/d7.html>)

議題 第 3 回テキストマイニング・シンポジウム

12 日午前 基礎・抽出

1. 現代日本語書き言葉均衡コーパスより抽出した頻度情報に基づく日本語学術ライティング指導教材の作成
○堀 一成・
坂尻彰宏 (阪大)・石島 悌 (阪府産技研)

2. 動詞の難易度と多義性について
○宮田光樹・鈴木孝彦・
廣川佐千男 (九大)

3. テキストマイニングを用いた EDR 辞書からの連想語抽出
○豊嶋章宏・奥村紀之 (香川高専)

4. 企業 WEB ページからの企業の事業に関連するキーワードの自動抽出
○勝田研一郎・酒井浩之 (成蹊大)

12 日午後

5. [招待講演] 未定 浅野弘輔 (ネットリク)
 評判・評価
6. Wikipedia のカテゴリ構造を用いた Twitter ユーザの関心事抽出
 ○胡 寅駿・藤井絵美子・河本裕輔・谷田泰郎 (シジマーケティング)
7. ニュース記事解析による関連企業のセンチメント評価
 ○薄井駿希・吉田博哉 (神戸情報大)
8. 商品の特色を表す少数派意見が記述されたレビューの推薦手法の提案
 ○白浜広彬・木村昌臣 (芝浦工大)
9. [依頼講演] ACL 2013 参加報告—会議概要と応用技術—
 西川 仁 (NTT)
10. [依頼講演] ACL 2013 参加報告—会議概要と応用技術—
 岡崎直観 (東北大)

13日午前 モデルと応用

1. Societas と自然言語処理 谷田泰郎 (シジマーケティング)
2. テキストマイニングを用いた時間帯別の顔文字の使用傾向に関する調査
 ○大西智佳・奥村紀之 (香川高専)
3. TETDM (Total Environment for Text Data Mining) による Exploratory Search 支援 徳永秀和 (香川高専)
4. 極大部分文字列の列挙による教師なし単語分割
 ○河内祐太・井上真郷 (早大)
5. 経済新聞記事より株価変動に影響を与える重要な記事の自動抽出
 ○中山 大・酒井浩之 (成蹊大)
6. 企業の決算短信 PDF からの業績要因の自動抽出
 ○西沢裕子・酒井浩之 (成蹊大)

13日午後 招待講演 (13:30~)

7. [招待講演] お客様の声を具現化する取組み—一世の中の不を解消するための経営—
 安藤直仁 (ファンケル)

実践

8. 文単位の有価証券報告書分析による利益伸び率の予測
 廣川佐千男 (九大)
9. 電機業界における経営課題の認識構造と実行動に関する知識の発見
 大森寛文 (野村総研)
10. インターネット通販の商品レビューに基づく野菜購入嗜好性の推定
 ○竹崎あかね・木浦卓治・林 武司 (中央農研)
11. テレビ番組視聴者のエンターテイメント業界での行動類推—価値観モデルを用いて—
 ○藤井絵美子・西尾義英・胡 寅駿・谷田泰郎 (シジマーケティング)

◎懇親会を12日の終了後予定しています。準備でき次第御案内します。また、予稿集印刷部数の参考のため、参加者数を確認したいので事前登録用のフォームを作成しました。御参加頂く方は下記のフォームへ御入力頂くとありがたいです。

<https://docs.google.com/forms/d/1KP5e66fBr-KYROczZARlj-hvuTlkmxftReDjYHPW3U/viewform>

なお、事前登録されていない方でも当日御参加頂けます。

☆NLC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

12月4日(水), 5日(木) グリー六本木ヒルズ森タワー [未定] テーマ: 集合知シンポジウム (仮題)

[発表申込先] 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

[問合先]

竹内孔一 (岡山大)・金山 博 (日本 IBM)
 E-mail: nlc-tm3@cl.cs.okayama-u.ac.jp

★データ工学研究会 (DE)

専門委員長 木俣 豊 副委員長 中島伸介・天笠俊之
 幹事 吉田尚史・灘本明代 幹事補佐 新谷隆彦・神崎映光

日時 9月12日(木) 13:00~17:25
 13日(金) 10:00~17:45

会場 国立情報学研究所 12階 1208.1210号室 (千代田区一ツ橋 2-1-2. <http://www.nii.ac.jp/about/access/>)

議題 データ工学と食メディア

12日 招待講演 1

1. 調整中

招待講演 2

2. 調整中

セッション 1: 食メディア 1

3. 食材に基づいたレシピの意外度算出手法の提案

○池尻恭介・清 雄一・中川博之・田原康之・大須賀昭彦 (電通大)

4. バスケット分析における追加推薦アルゴリズムを用いたレシピ食材推薦 眞弓田 翼・○佐野睦夫 (阪工大)

5. オノマトペと味言葉の相関を考慮した料理レシピの印象検索
 ○渡辺知恵美 (筑波大)・中村聡史 (明大)・坂本真樹 (電通大)

6. FoodCam: スマートフォン上でのリアルタイム食事画像認識による食事記録アプリケーション
 ○河野憲之・柳井啓司 (電通大)

7. 料理名の修飾表現の関係性に基づくレシピのネーミングコンセプト抽出
 ○橘 明徳・若宮翔子 (兵庫県立大)・難波英嗣 (広島市大)・角谷和俊 (兵庫県立大)

13日午前 セッション 2: 食メディア 2

1. レパートリー拡大のための戦略的レシピ推薦システムの実装と評価
 ○中岡義貴・山本修平・佐藤哲司 (筑波大)

2. 食材調理法の習得順に関する一検討
 ○山本修平・中岡義貴・佐藤哲司 (筑波大)

3. レシピテキストからのフローグラフコーパス作成
 前田浩邦・山肩洋子・○森 信介 (京大)

4. レシピフローグラフを介したレシピ集合の要約と特徴抽出
 ○山肩洋子 (京大)・今堀慎治 (名大)・杉山祐一・田中克己 (京大)

13日午後 招待講演 3

5. 調整中

セッション 3: 食メディア 3

6. 調理支援ロボットの対話戦略 上田博唯 (京都産大)

7. 食品注文支援システムの試作の報告
 森下幸俊 (大日本印刷)

8. 高次脳機能障害者の遠隔調理支援における危険評価の検討
 ○氏田 亮・米村俊一 (芝浦工大)・宮脇健三郎・佐野睦夫 (阪工大)・大手道子 (阪府立障がい者自立センター)

9. 「オーダーメイド個人対応型栄養学」実践を可能にするプラットフォームの構築—健康実現 3000万食レシピの提供システムの構築—
 ○小田裕昭 (名大)・内田友乃 (愛知学泉大)・阪野朋子 (名古屋女子大短大)・池田彩子 (名古屋学芸大)

10. スマートフォン向け FoodLog
 ○相澤清晴 (東大)・小川 誠 (foo.log)

セッション 4: データ工学

11. オンライン店舗の商品カテゴリ構造を用いたアイテム推薦システム
 ○財前元希 (兵庫県立大)・北山大輔 (工学院大)・

- 角谷和俊 (兵庫県立大)
12. オンライントピックモデルによる文書ストリームの適応的分類
○白井匡人・三浦孝夫 (法政大)
13. サプライチェーンマネジメントのためのデータベース構築
○下野亮太・都司達夫・樋口 健 (福井大)

★知能ソフトウェア工学研究会 (KBSE)

専門委員長 松浦佐江子 副委員長 飯島 正
幹事 桑野文洋・竹内広宜 幹事補佐 後藤隆彰・青木善貴

日時 9月12日(木) 10:00~18:15
13日(金) 10:30~16:20

会場 電気通信大学東3号館3階301号室(調布市調布ヶ丘1-5-1. 京王線:調布駅下車, 中央口改札北口出口より徒歩5分.
<http://www.uec.ac.jp/about/profile/access/> TEL [042] 443-5912 後藤隆彰)

議題

12日午前

1. 類似パターンの省略によるソースコードの可読性を向上させる新技法
○菊池 紘・西野哲朗・後藤隆彰・若月光夫(電通大)
2. 識別子の共起頻度に基づく凝集度遷移過程の可視化と測定
○岩山浩将・井上純一(北大)
3. 学習者の不得意分野を矯正するための教材呈示ロジック
○上之蘭和宏(青学大)・古宮誠一(NII)

12日午後(12:45~)

4. UML/OCLアサーションのサーバサイドでの実装
○田中聖一・小林 洋(東海大)
5. 割り込み処理に着目した組込みソフトウェアへのモデル検査適用の検討
○佐々木隆益(電通大)・吉岡信和(NII)・田原康之・大須賀昭彦(電通大)
6. オブジェクト指向ベトリネットに基づきイベント駆動性をとり入れた業務プロセスエンジンのアーキテクチャ
○金子良太・飯島 正(慶大)
7. ゴール構文表を利用したディペンダビリティケースのゴール分析法について
○松村昌典・山本修一郎(名大)
8. ゴール指向要求分析における意思決定と合意形成に関する研究—学際的アプローチ—
○岡野道太郎・中谷多哉子(筑波大)
9. 非機能要求グレードの大学ポータルサービスへの適用についての考察
○増元美紀・山本修一郎(名大)
10. Consistency check of D-case produced from DFD
○Nada Olayan・Shuichiro Yamamoto・Vaise Patu (Nagoya Univ.)
11. シーケンス図に基づくディペンダビリティケース作成法の適用性の検討
○丁 峰・山本修一郎(名大)
12. SEMAT と保証ケースの関係についての考察
山本修一郎(名大)

13日午前

1. 利用者インタラクションの設計・評価のためのストレスレベルのセンサーによる取得と利用
○石井愛弓・飯島 正(慶大)
2. コミュニケーション支援のためのジェスチャの取得と記述
○宇野澤広樹・飯島 正(慶大)
3. マルチエージェントシミュレーションのための地理空間情報

第一種研究会開催案内

- の知識再構成 ○山崎淳城・飯島 正(慶大)
- 13日午後(13:15~)
4. [チュートリアル招待講演] 要求工学の現状と展望—ソフトウェア進化と自己適応にむけて— 中川博之(電通大)
5. 運用手順に対するアシユアランスケース作成法の比較評価
○高間翔太・山本修一郎(名大)
6. Assurance Cases のエビデンス評価の一考察 ○石井正樹・倉光君郎(横浜国大)
7. Classification method to identify security risk and attack patterns for a dependable Security Case ○Vaise Patu・Nada Olayan・Shuichiro Yamamoto (Nagoya Univ.)
- ☆KBSE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
11月1日(金), 2日(土) 愛媛大 [9月4日(水)] テーマ: 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

松浦佐江子(芝浦工大)

E-mail: matsuura@se.shibaura-it.jp

◎最新の情報は KBSE 研究会ホームページで御確認下さい。

<http://www.sayo.se.shibaura-it.ac.jp/kbse/>

★情報セキュリティ研究会 (ISEC)

専門委員長 田中俊昭 副委員長 櫻井幸一・角尾幸保
幹事 伊豆哲也・岩田 哲 幹事補佐 花岡悟一郎・三宅 優

日時 9月13日(金) 13:10~17:30

会場 機械振興会館地下3階研修1号室(港区芝公園3-5-8. 東京メトロ日比谷線:神谷町駅下車徒歩10分, JR:浜松町駅下車徒歩20分, 都営地下鉄三田線:御成門駅・大江戸線:赤羽橋駅下車徒歩10分. http://www.jcmanet.or.jp/gaiyo/map_kaikan.htm TEL [03] 3434-8211)

議題

1. FDTD法を用いた暗号サイドチャネルリーク的设计評価手法
○浅井稔也・吉川雅弥(名城大)
2. A new array disorder in user authentication by keystroke dynamics
Yoshihiro Kaneko (Gifu Univ.)
3. 共通文字列を用いた簡単な認証 寺澤善博
4. K(XII)SE(1)PKCを修正した新しい公開鍵暗号, K(XIII)SE(1)PKC, K(XIV)SE(1)PKC 笠原正雄(早大/中大)
5. A Proposal of Extended Anonymous Credential System with Efficient Proof on Age
○Shahidatul Sadiah・Toru Nakanishi・Kan Watanabe・Nobuo Funabiki (Okayama Univ.)
6. (t, n)-Threshold Progressive Visual Cryptography Scheme
○Wenjuan Wang・Hachiro Fujita (Tokyo Metropolitan Univ.)
7. 国際会議 EUROCRYPT 2013 参加報告 花谷嘉一(東芝)
8. [招待講演] 暗号学的関数に対する電子透かし方式
西巻 陵 (NTT)
9. Secure Dynamic Hourglass Protocol for Untrusted Server
○Ratemo Alice Harriet Mwango・Atsuko Miyaji (JAIST)
- ☆ISEC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
11月28日(木), 29日(金) 東北大 [9月14日(土)] テーマ: 情報セキュリティ, ライフログ活用技術, ライフインテ

告 13

リジェンス, オフィス情報システム, 一般

12月11日(水) 機械振興会館〔10月14日(月)〕テーマ:
一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

岩田 哲 (名大)

TEL [052] 789-5722, FAX [052] 789-5723

E-mail: isec-sec@mail.ieice.org (幹事, 幹事補佐宛)

★医用画像研究会 (MI)

専門委員長 清水昭伸 副委員長 増谷佳孝・森 健策

幹事 河田佳樹・木村裕一 幹事補佐 北坂孝幸・本谷秀堅

日時 9月13日(金) 9:25~16:40

会場 千葉大学西千葉キャンパス工学部15号棟110号室(千葉
市稲毛区弥生町1-33。JR総武線:西千葉駅下車,徒歩5分。
<http://www.eng.chiba-u.ac.jp/access.html> TEL [043] 290-
3083 菅 幹生)

議題 診断と治療の質を高める画像化・統合化技術

計算解剖学

- 臓器位置合わせにおいて特徴抽出演算子と統計形状モデルが
獲得する情報量の定量評価 ○中根隆之・堤 貴浩・
本谷秀堅(名工大)
- 局所アピランスが体位により大きく変化する解剖学的ラン
ドマークの検出性能向上に関する検討 ○根本充貴・
増谷佳孝・花岡昇平・野村行弘・三木聡一郎・吉川健啓・
林 直人・大友 邦(東大)
- 3次元マルチスライスCT画像を用いた胸部構造解析法
○松廣幹雄・鈴木秀宣・河田佳樹・仁木 登・
上野淳二(徳島大)・中野恭幸(滋賀医科大)・
大松広伸(国立がん研究センター東病院)・楠本昌彦・
土田敬明(国立がん研究センター中央病院)・江口研二(帝京大)・
金子昌弘(東京都予防医学協会)・森山紀之(国立がん研究センター)
- 股関節CT画像からの個別筋肉・筋肉群領域の自動抽出—筋
肉組織領域の形状特徴に基づく階層的マルチアトラス法の改良
— ○高谷美都・横田 太(神戸大)・岡田俊之・
高尾正樹・菅野伸彦(阪大)・多田幸生(神戸大)・
富山憲幸・佐藤嘉伸(阪大)

特別講演1

5. [特別講演] スパースモデリングによる情報処理
池田思朗(統計数理研)

午後 バイオメディカルイメージング(13:20~)

- 心臓超音波画像とCT画像のイメージ・フュージョン
○高橋勇貴・仁木清美(東京都市大)
- ゼブラフィッシュ心臓の非同期連続共焦点顕微鏡像に対する
事後同期処理 ○佐藤哲大・高田智夫(奈良先端大)・
湊 小太郎(アステム)

特別講演2

8. [特別講演] 体幹部臓器の高精度低侵襲治療を支援する画像
技術 ○羽石秀昭・山口 匡・中村亮一・菅 幹生・
中口俊哉・川平 洋・大西 峻(千葉大)

9. [特別講演] 安全で質の高い低侵襲化外科治療をもたらす近
赤外蛍光イメージング 林 秀樹(千葉大)

◆文部科学省科学研究費補助金新学術領域研究医用画像に基づく

計算解剖学の創生と診断・治療支援の高度化

◎16:00~16:40 千葉大学サイエンスパークセンター施設見学,
その後、隣接会議室にて懇親会を1時間程度開催予定。

◎見学会参加希望の方はタイトルを「千葉大学サイエンスパーク
センター見学(9/13)希望」とし、会場担当(E-mail:mikio.
suga@faculty.chiba-u.jp)までメールでお申し込み下さい。

☆MI研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

11月7日(木) 広島市大〔未定〕

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

医用画像研究会世話人

E-mail: mi-submit@mail.ieice.org

上記で連絡がつかないとき

北坂孝幸(愛知工大情報科学部)

TEL [0565] 48-8121(内線2423), FAX [0565] 48-0509

E-mail: kitasaka@aitech.ac.jp

★音声研究会 (SP)

専門委員長 川端 豪 副委員長 河井 恒

幹事 鈴木基之・戸田智基 幹事補佐 大谷大和・大庭隆伸

日時 9月18日(水) 10:35~17:10

19日(木) 11:15~14:35

会場 千葉大学西千葉キャンパスアカデミック・リンク・セン
ターI棟1階コンテンツスタジオ(ひかり)(千葉市稲毛区弥
生町1-33。 http://www.chiba-u.ac.jp/campus_map/nishichiba/ 伝 康晴)

議題 音声・言語・対話, 一般

18日午前 一般セッション: 音韻・韻律(10:35~11:25)

- 音声生成過程の教育用モデル—肺・声帯・声道モデルが説明に有
効— 鈴木誠史(声通信研)
- 単語の発話音韻長と幼児の語彙獲得期間との関係

○南 泰浩・小林哲生(NTT)

18日午後 オーガナイズドセッション: 対話システムの評価
(招待講演)(13:00~15:00)

- [招待講演] 音声インターフェイス市場の現状と今後
神尾 寿(通信・ITSジャーナリスト)
- [招待講演] 会話システムのチャレンジとチャンス

前田あき子(けい)

オーガナイズドセッション: 対話システムの評価(評価・分析)
(16:20~17:10)

- 説明対話における韻律情報及び頭部運動と感情評価値の関連
性分析の試み ○八木みゆき・森田礼子・中井正人・
西村竜一・河原英紀・入野俊夫(和歌山大)
- 音声対話システムに対するインタラクション継続欲求
○菊池英明(早大)・宮澤幸希(理研)・小川義人・
藤倉将平(早大)

19日午前 オーガナイズドセッション: 言語, 非言語を統合し
たマルチモーダル処理と対話の接点(発話のタイミング)
(11:15~11:40)

- 局所区間のマルチモーダル情報を用いたユーザ状態の推定に
関する検討 ○千葉祐弥(東北大)・
伊藤 仁(東北工大)・伊藤彰則(東北大)

19日午後 オーガナイズドセッション: 言語, 非言語を統合し

たマルチモーダル処理と対話の接点（発話の個人性・ジェスチャー）（14：10～14：35）

2. 話し言葉における言語情報の個人性変換における変換辞書拡張
○水上雅博・Graham Neubig・Sakriani Sakti・

戸田智基・中村 哲（奈良先端大）

◎人工知能学会；言語・音声理解と対話処理研究会併催。詳細はSP研究会ホームページを御覧ください。

<http://www.ieice.org/~sp/jpn/home.html>

【問合先】

大庭隆伸（NTT）

E-mail：oba.takanobu@lab.ntt.co.jp

★安全性研究会（SSS）

専門委員長 平尾裕司

幹事 木村昌臣・鈴木喜久 幹事補佐 佐藤吉信・高橋 聖

日時 9月26日（木）10：30～17：00

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 ヒューマンファクターに関する安全性問題を主として

1. 作動要求時平均機能失敗確率（PFD）算定のための平均フォールト時間について ○小谷田一詞（JARI）・

佐藤吉信（JACO）

2. 技術者の思い込みについて—福島第一原発吉田元所長のご遺志に沿って— 草間 昇

午後（12：50～）

3. [チュートリアル講演] 道路交通安全のための眠気対策の現状と課題 伊藤 誠（筑波大）

4. [招待講演] ドライバの眠気軽減を目的とした短時間仮眠技術の開発—刺激提示による浅い眠り維持の検討—

飯塚尚司（トヨタ自動車）

5. [依頼講演] 双対制御論的運転支援システム—車両安全確保とドライバ状態推定の機能とその特性— ○齊藤裕一・

伊藤 誠・稲垣敏之（筑波大）

6. [招待講演] 事業用自動車の過労運転防止のための課題

鈴木一弥（労働科学研）

7. [招待講演] 自動車の安全技術とISO39001の活用

永井勝典（自動車事故対策機構）

8. [招待講演] 鉄道分野における機会による意識水準低下対策の現状と課題 藤野秀則（JR西日本）

☆SSS研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

11月21日（木）芝浦工大〔9月15日（日）〕テーマ：消費者の安全問題を主として

12月19日（木）明大〔未定〕テーマ：エネルギーの安全問題を主として

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

木村昌臣（芝浦工大工学部情報工学科）

TEL & FAX [03] 5859-8507

E-mail：masaomi@shibaura-it.ac.jp

★電子部品・材料研究会（CPM）

専門委員長 高野 泰 副委員長 野毛 悟

幹事 圓佛晃次・佐藤知正 幹事補佐 小館淳一・岩田展幸

日時 10月8日（火）13：00～14：40

会場 機械振興会館地下3階2号室

議題 光記録技術・電子材料、一般

1. 球面参照波シフト多重とペリストロフィック多重を複合した記録方式による高密度記録 ○塚本 悠・倉田博之・

大久保海斗・山本 学（東京理科大）

2. 熱伝導層導入による体積磁気ホログラムの回折効率の改善

○相良尚人・磯谷亮介・高木宏幸・中村雄一・林 攀梅・

井上光輝（豊橋技科大）

3. 積層構造を導入した磁性ガーネット媒体を用いた体積磁気ホログラムの回折効率向上 ○磯谷亮介・相良尚人・

小林 完・高木宏幸・中村雄一・林 攀梅・

井上光輝（豊橋技科大）

4. 垂直磁化磁性体におけるマイクロ波アシスト磁化反転

岡本 聡（東北大）

☆CPM研究会今後の予定〔 〕内発表申込締切日

11月27日（水）～29日（金）鹿児島県文化センター〔未定〕
テーマ：デザインガイア2013—VLSI設計の新しい大地—

11月28日（木）、29日（金）阪大吹田キャンパス〔9月13日（金）〕
テーマ：窒化物及び混晶半導体デバイス、及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

圓佛晃次（NTTフotonics研究所）

TEL [046] 240-2078

E-mail：enbutsu.koji@lab.ntt.co.jp

——北海道支部における開催——

★環境電磁工学研究会（EMCJ）

専門委員長 多氣昌生 副委員長 曾根秀昭

幹事 王 建青・秋山佳春 幹事補佐 平井義人・肖 鳳超

日時 9月13日（金）10：30～17：05

会場 北海道大学百年記念会館大会議室（札幌市北区北9条西6

丁目。JR：札幌駅下車徒歩10分、地下鉄南北線／東豊線：札幌駅下車徒歩15分、地下鉄南北線：北12条駅下車、徒歩10

分。http://www.hokudai.ac.jp/introduction/campus/100th/
TEL [011] 706-2042（会場）清水孝一）

議題 生体、EMC、一般

1. 無線LAN電波による通信装置の電磁干渉問題に関する一考察 ○平澤徳仁・岡本 健・伊藤秀紀・高橋 正・

村川一雄（NTT東日本）・奥川雄一郎・秋山佳春（NTT）

2. 40GHzに対応したSIW共振器多段構造による金属筐体開口部の電磁ノイズ透過抑制に関する定量的検討 ○白木康博・

岡 尚人・佐々木雄一・大橋英征・米田 諭（三菱電機）

3. 基板実装型コモンモードチョークコイルの電磁界解析用モデルの評価 ○中本藤之・佐々木雄一・渡邊陽介・宮崎千春・

岡 尚人（三菱電機）

午後

4. 磁性木粉による粉体型磁性木材の電波吸収微調整機能に関する

- る検討 ○水野翔太・岡 英夫・三浦健司・久保田賢二(岩手大)・浪崎安治・内藤康二(岩手県工技研)
5. 炭素繊維強化プラスチック積層板を用いた構造体内部における電磁界特性—直方体電波反射箱内における構造体 Q 値の特性評価— ○二ッ森俊一・森岡和行・河村暁子・米本成人(電子航法研)
6. コヒーレンスを用いた無線通信に影響を与える雑音源の特定 ○風間 智・池田博康(労働安全衛生総研)
7. 外部の電界分布を用いた放射源推定に関する研究 ○南條裕太・戸花照雄・小林征広・笹森崇行・磯田陽次(秋田県立大)
8. 人体通信における生体情報センシング回路への電磁干渉特性の電磁氣的・回路的解析 ○王 建青・竹中隆哉(名工大)
9. 眼組織への赤外線照射に関するばく露評価手法の検討 ○佐々木真央・チャカロタイ ジェド ヴィスノフ・キック アルフレード・鈴木敬久(首都大東京)・小島正美(金沢医科大)・奥野 勉(労働安全衛生総研)
10. ミリ波帯における皮膚の電気定数測定とばく露評価に関する研究 ○佐々木謙介・和氣加奈子・渡邊聡一(NICT)
11. [特別講演] ビッグデータからの価値創出—「気づき」を生み出す画像検索— 長谷山美紀(北大)

◆IEEE EMC Society Sendai Chapter 協賛

- ☆EMCJ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日
- 10月24日(木), 25日(金) 東北大学青葉山キャンパス [締切済] テーマ: EMC 一般, マイクロ波, 電磁界解析
- 11月22日(金) 東京電機大 [9月13日(金)] テーマ: EMC, 一般
- 12月20日(金) デンソー [10月14日(月)] テーマ: 電力, 生体, EMC, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

肖 鳳超(電通大情報・通信工学科電子情報システムコース)
〒182-8585 調布市調布ヶ丘 1-5-1
TEL & FAX [042] 443-5234
E-mail: emcj@mail.ieice.org

★マルチメディア・仮想環境基礎研究会 (MVE)

専門委員長 柳田康幸 副委員長 小林 稔
幹事 井手一郎・蔵田武志・杉本麻樹
幹事補佐 上岡玲子・酒田信親・三上 弾

日時 9月26日(木) 9:00~18:30
27日(金) 9:00~12:55

会場 利尻町交流促進施設「どんと」(利尻郡利尻町杵形字富士見町 2-2. <http://db.net-bibai.co.jp/SCRIPTS/RISHIRI/HPCNT.EXE?HP=RISHIRIHPCNT.HTM&SP=RISHIRI> TEL [0163] 84-2445 蔵田武志)

議題 複合現実感, 仮想都市, 及び一般

26日午前 MVE 一般 1

- MVE-1. 食のリアリティに関する一考察 青木直史(北大)
- MVE-2. 拡張現実感による情報調整に基づいた不完全情報ゲーム 明神聖子(立命館大)

視点と空間

3. 事前レンダリング画像群を用いた自由視点画像生成に基づく

- 写実的な拡張現実画像合成 ○大倉史生・神原誠之・横矢直和(奈良先端大)
- MVE-4. 個人視点映像からの広視野画像の自動生成—輝度値の確率分布に基づいた貼り合わせに適した画像群の選択—

- 松井研太・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一(京大)
- MVE-5. テレビの外側を覗き見る—空間的な拡がりを考慮したセカンドスクリーンへの映像提示— ○越智大介・三上 弾・高橋康輔・小島 明(NTT)

MVE 一般 2

- MVE-6. 可視光通信プロジェクタの多重化に関する基礎検討 ○田中恭太郎・福嶋政期・苗村 健(東大)
7. モーションキャプチャを用いたパースペクティブの映像誇張 宇都木 契(日立)
- MVE-8. 音声特徴と画像特徴を利用したニュース映像からの同一場面検出 ○熊谷はるか(名大)・道満恵介(中京大)・井手一郎・出口大輔・村瀬 洋(名大)

26日午後 協調作業支援 (14:00~)

9. 時差ビデオコミュニケーションにおける映像表示方法の検討 井上智雄(筑波大)
- MVE-10. 対面共同ウェブ検索支援システム Round-Table Browsing の実践利用 ○上田健太郎・福嶋政期・飯田 誠・苗村 健(東大)
- MVE-11. 動作の正確さと計測の精度に基づいた指差しインターフェース—確率密度によるポインティング表示— ○保澤圭亮・吉本廣雅・近藤一晃・小泉敬寛・中村裕一(京大)

人物・顔

12. 多指向映像表現に向けた非正面観察における人物の方向表現に関する検討 ○小澤史朗・三枝知史・伊達宗和・高田英明・小島 明(NTT)
- MVE-13. ビデオ通話のための Point Distribution Models を用いた顔表情増強手法 ○佐藤翔悟・北原 格・大田友一(筑波大)
14. 多人数会話環境における最小限の人物の方向に関する検討 ○三枝知史・小澤史朗・伊達宗和・高田英明・小島 明(NTT)
- MVE-15. RGB-D カメラを用いた車椅子利用者のための AR 着装シミュレーション ○一刈良介・大西正輝・蔵田武志(産総研)

授賞セッション (MVE 賞, サイバースペース賞)

16. オフィスワークの作業状況推定と遠隔共有 ○藤田欣也・田中貴紘・青木和昭(東京農工大)
17. Capture and Drop: 全周囲 3 次元形状計測と AR 表示位置指定を行う箱型デバイスの提案 ○有賀玲子・大和淳司・小林 稔・田中智博(NTT)
- MVE-18. TI 社製 TMS320C6713DSK とマイコンを用いて試作した雑音抑圧機器の実装評価

○武田 駿(諏訪東京理科大)・名取隆廣(東京理科大)・田邊 造(諏訪東京理科大)・古川利博(東京理科大)

27日 三次元空間とインタフェース

1. 仮想平面を利用した飛行物体操作手法の提案 ○米澤和也・小川剛史(東大)
2. Speech3D: 音声言語インタフェースによる 3 次元物体生成装置 ○貞光九月・千明裕・杉本志織(NTT)
3. User interface design of a SLAM-based handheld AR work support system ○Jarkko Polvi・Kim Juhyun・武富貴史

山本豪志朗・宮崎 純・加藤博一（奈良先端大）

村山嘉延（日大）

4. 積み木型ブロックデバイスのための赤外線による積み重ね認識手法に関する検討 ○安藤正宏（阪大）・

細井俊輝（東北大）・中島康祐・伊藤雄一（阪大）・

北村喜文（東北大）・尾上孝雄（阪大）

5. 工場内巡回ロボットののための RGB-D カメラを用いた広域実環境再構築システムの設計 ○阿部哲朗・古都知哉・

Alexander Plopskil・間下以大・清川 清・

竹村治雄（阪大）・福田登仁（ウエストユニティス）

歩行・測位・軌跡

6. 転倒予防のためのスマートフォンを用いた歩行解析技術の検討 ○新島有信・篠原章夫・定方 徹・田中智博（NTT）

MVE-7. 電波強度を用いた屋内位置測位の自律化に向けた検討

○辻 順平・川村秀憲・鈴木恵二（北大）

MVE-8. 3次元 SLAM のための直交平面を対象とした画像平行化 ○巻測有哉・加藤晴久・柳原広昌（KDDI 研）

9. トラッキングデータを可視化したサッカーの戦略分析支援システム ○権藤聡志・樽川香澄（慶大）・井上智雄（筑波大）・

岡田謙一（慶大）

◆VR 学会；SIGMR/SIGCS, HI 学会；SIGVR 連催

【問合せ先】

井手一郎（名大）・蔵田武志（産総研）・杉本麻樹（慶大）

E-mail: mve-apply2013@mail.ieice.org

◆日本音響学会；超音波研究委員会, IEEE UFFC Society Japan Chapter 共催

☆US 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月9日（水）産総研名古屋駅前イノベーションハブ〔締切済〕 テーマ：一般

11月11日（月）、12日（火）金沢工大〔9月11日（水）〕 テーマ：一般

11月23日（土）同志社大室町キャンパス寒梅館〔9月18日（水）〕 テーマ：水中音響, 一般（共催：海洋音響学会）

12月18日（水）日大駿河台キャンパス〔10月16日（水）〕 テーマ：強力超音波, 一般（共催：日本塑性加工学会超音波応用加工分科会）

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

山口 匡（千葉大）

TEL & FAX [043] 290-3267

E-mail: yamaguchi@faculty.chiba-u.jp

美谷周二朗（東大）

TEL [03] 5452-6122, FAX [03] 5452-6123

E-mail: mitani@iis.u-tokyo.ac.jp

◎最新の情報はホームページで御確認下さい。

<http://www.ieice.org/~us>

— 東北支部における開催 —

★超音波研究会 (US)

専門委員長 梅村晋一郎 副委員長 橋本研也・松川真美

幹事 美谷周二朗・山口 匡 幹事補佐 野村英之

日時 9月12日（木） 13:00~16:45

会場 東北大学工学部電子情報システム・応物系南講義棟 103号室（仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6. 仙台駅前西口バスプール 9番乗り場から工学部經由動物公園循環, 宮教大, 青葉台, 成田山行きに乗り, 「工学部中央」で下車, <http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=access> <http://www.eng.tohoku.ac.jp/map/?menu=campus&area=d> の D18 の建物 TEL [022] 795-7079 長谷川英之)

議題

1. 高速超音波イメージングにおける並列ビーム形成法と回折トモグラフィ法の空間分解能の比較 ○長谷川英之・

金井 浩（東北大）

2. ざり弾性率再構成における平均垂直応力分布を無視することによる影響 ○炭 親良・平林勇人（上智大）

3. 適応ダイナミックフィルタによるドプラ信号の改質とその空中超音波ウロダイナミクス計測への応用—（第2報）—

○松本成史・竹内康人・柿崎秀宏（旭川医科大）

4. 集束超音波音場におけるキャビテーション気泡の加熱増強効果と気泡からの反射波の解析 ○宮下拓也・安田 惇・

吉澤 晋・梅村晋一郎（東北大）

5. 光ファイバセンサを用いた超音波と温度変化の分離測定計測

○陰山 誉・小山大介・秋山いわき（同志社大）

6. 超音波ダブルコアリングによるガラスディスクの加工

○越水重臣（産技大）・青木 繁（都立産技高専）

7. マイクロ触覚センサの高感度化とバイオメカニクスへの応用

第一種研究会開催案内

★ネットワークシステム研究会 (NS)

専門委員長 漆谷重雄 副委員長 平松 淳

幹事 木下和彦・柴田哲良 幹事補佐 金子雅志

★情報ネットワーク研究会 (IN)

専門委員長 浅見 徹 副委員長 小林秀承

幹事 五十嵐弓将・荒井大輔 幹事補佐 野村啓仁・大下裕一

★通信方式研究会 (CS)

専門委員長 葉玉寿弥 副委員長 坪井利憲

幹事 梅原大祐・寺田 純

◎本研究会は NS 研究会と IN 研究会, CS 研究会の併催です. 研究会資料は各研究会ごとに発行されます.

日時 9月12日（木） 10:20~18:20

13日（金） 9:20~15:05

会場 東北大学電気通信研究所（仙台市青葉区片平 2-1-1）

議題 ポスト IP ネットワーキング, 次世代・新世代ネットワーク (NGN), 障害対策・BCP, ネットワークコーディング, セッション管理 (SIP・IMS), 相互接続技術/標準化, ネットワーク構成管理及び一般

12日午前 NS1 (A会場) (10:20~12:00)

NS-1. A distributed method for measuring available bandwidth in overlay networks exploiting path overlap

○Dinh Tien Hoang・Go Hasegawa・

Masayuki Murata (Osaka Univ.)

NS-2. 規模拡張可能な広域仮想 OpenFlow ネットワーク構築手法の提案

○山中広明・河合栄治・石井秀治・

下條真司 (NICT)

告 17

NS-3. キャリア網における NW 機能の仮想化を考慮したサービス
スチュエニング方式の提案 ○小島久史・北田裕之・
高谷直樹・相原正夫 (NTT)

NS-4. LTE ローミングにおけるキャリア間相互接続 (IPX) の
構成法に関する一考察 ○森谷高明・川口宏治・
引地 透 (NTT コミュニケーションズ)

IN1 (B 会場) (10:20~12:00)

IN-5. スマートメータを利用した使用機器の推定手法の提案
○吉野太郎・和泉 諭・阿部 亨・菅沼拓夫 (東北大)

IN-6. 断続的な TCP 通信のための TCP スループット予測モデ
ル ○吉田裕志 (NEC/東工大)・里田浩三 (NEC)・
村瀬 勉 (東工大/NEC)

IN-7. パブリッククラウドの仮想マシン性能の特性
○首藤裕一・波戸邦夫 (NTT)

IN-8. 無線センサネットワークにおける締切を考慮したデータ
転送手法 ○藤井 廉・馬場健一・下條真司 (阪大)

12 日午後 チュートリアル講演 (13:00~15:00)

共通-9. [チュートリアル講演] ネットワーク仮想化基盤技術の
紹介 ○中尾彰宏 (東大)・島野勝弘・山田一久 (NTT)・
北辻佳憲・阿野茂浩 (KDDI 研)・清川雅博 (NICT)

共通-10. [チュートリアル講演] NW 仮想化の外部動向と
VNode の NW 管理技術とその活用について ○山田一久・
片山陽平・島野勝弘 (NTT)

共通-11. [チュートリアル講演] サービス合成可能なネット
ワークプラットフォーム 吉田芳明・福嶋正機・北辻佳憲・
○田上敦士・阿野茂浩 (KDDI 研)

招待講演 1 (A 会場) (15:10~16:40)

NS-12. [招待講演] スーパーハイビジョンの開発動向
川本潤一郎 (NHK)

IN-13. [招待講演] 次世代型双方向通信出力制御実証事業—青
森実証フィールドの進捗— 片岸 誠 (日立)

招待講演 2 (A 会場) (16:50~18:20)

CS-14. [特別招待講演] 省電力を目指したセンサネットワーク
における効率的データ収集方式 朝香卓也 (首都大東京)

CS-15. [特別招待講演] 新世代ネットワーク及び将来網の国際
標準化動向 (PIF 講演) 西永 望 (NICT)

13 日午前 CS1 (A 会場) (9:20~10:35)

CS-1. SDN 光アクセス網でのモバイル収容と MPTCP の適用に
関する一検討 ○中平佳裕・鹿嶋正幸 (OKI)

CS-2. OpenFlow を利用した IP レイヤのマルチパスによる通信
の高信頼化 ○栗原公紀・鈴木 悟・藤山佳輝 (東芝)

CS-3. 発信端末アドレスのみを持つパケットを双方向転送する
MAC 動作形ツリー状リング網の提案
○龍野秀雄 (龍野研)・水野恒雄 (水野国際特許事務所)

NS2 (B 会場) (9:20~10:35)

NS-4. 冗長タイムマスタを持つシステムにおける高精度時刻同
期方式の提案 ○長川大介・三部 健 (三菱電機)

NS-5. ネットワーク内誘導による分散資源共有機構をもつ参加
型クラウドコンピューティングプラットフォーム
○西井健人・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

NS-6. アクティブ測定による Web 通信構造分析
○上山憲昭・中野雄介 (阪大/NTT)・塩本公平 (NTT)

CS2 (A 会場) (10:45~12:00)

CS-7. ネットワークの全体最適化手法の検討 ○藤岡新也・
藤平健二・宇田哲也・声 賢浩・高瀬誠由 (日立)

CS-8. ネットワーク接続管理技術を利用した機器の稼働時間推

定手法の提案と評価 ○庄子祐亮・角田 裕・
松田勝敬 (東北工大)

CS-9. トラフィック解析に基づいたウェブアプリケーション識別
○和泉勇治・田中和之 (東北大)

IN2 (B 会場) (10:45~12:00)

IN-10. MANET を用いた緊急避難支援のための等数型通信方式
○一谷 謙・藤本まなと・片山哲誌・今西亮太・
和田友孝 (関西大)・崔 永福 (東明大)・岡田博美 (関西大)

IN-11. 自律移動ナビゲーションシステムのためのパッシブ
RFID システムを用いた移動制御法 ○藤本まなと・
中森絵美・佃 大貴・仲西 正・長尾 遼・
和田友孝 (関西大)・六浦光一 (信州大)・岡田博美・
飯田幸雄 (関西大)

IN-12. 車両情報量向上のための赤外線レーダによる RSSI を用
いた車両コード判別方式 ○式地雄佑・渡利啓太・
和田友孝・岡田博美 (関西大)

13 日午後 NS3 (A 会場) (13:00~15:05)

NS-13. 仮想光トランスポート制御技術における資源割当最適化
方式の検討 ○森 弘樹・鎌村星平・島崎大作・植松芳彦・
笹山浩二 (NTT)

NS-14. 無線 LAN におけるマルチチャネル化とネットワーク
コーディング再送の適応的連携に基づくチャネルアクセス制御
法 ○寺村 拓・谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

NS-15. 無線 LAN におけるフェージング環境下での伝送スル
ープットを向上させる送信スケジューリング ○吉岡 栞・
谷川陽祐・戸出英樹 (阪府大)

NS-16. モバイル網における TCP の輻輳制御に用いる遅延最小
値の補正方式 ○大須賀 徹・中島一彰 (NEC)

NS-17. TCP 輻輳制御アルゴリズムの動的切替えによるインタ
ラクティブ通信性能改善方式の検討
○小口直樹 (総研大/富士通研)・阿部俊二 (NII)

IN3 (B 会場) (13:00~15:05)

IN-18. ユーザとアクセスポイントが協調移動するアクセスポ
イント選択方式の特性評価 ○濱本 亮 (広島市大)・
村瀬 勉 (NEC)・高野知佐・小畑博靖・石田賢治 (広島市大)

IN-19. モバイルアドホックネットワークにおける消費電力公平
化マルチチャネル経路制御 ○市川潤紀・阪田史郎・
小室信喜 (千葉大)

IN-20. 暗号化トラフィックに対するアプリケーション識別のオン
ライン化に向けた検討 ○熊野由一・阿多信吾 (阪市大)・
中村信之・中平佳祐 (OKI)・岡 育生 (阪市大)

IN-21. データベース定義にもとづく SDN の動的構成手法
○河合勇輝 (阪市大)・佐藤寧洋 (海上保安大)・阿多信吾・
岡 育生 (阪市大)

IN-22. CCN におけるエンコードアドレスを用いたコンテンツ
分散配置手法 ○北出雄麻 (阪大)・阿多信吾 (阪市大)・
村田正幸 (阪大)

☆NS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 17 日 (木), 18 日 (金) 北大 [未定] テーマ: ネット
ワークアーキテクチャ (オーバレイ, P2P, ユビキタス
NW, スケールフリー NW, アクティブ NW, NGN・新世代
NW), 次世代パケットトランスポート (高速 Ethernet, IP
over WDM, マルチサービスパケット技術, MPLS), グ
リッド, 一般

11 月 14 日 (木), 15 日 (金) 福江文化会館 (五島列島) [未
定] テーマ: ネットワーク品質, ネットワーク管理・計測,

ネットワーク仮想化, 一般

12月19日(木), 20日(金) 高松市文化芸術ホール [10月10日(木)] テーマ: モバイル, アドホック, ユビキタス, 無線, セキュリティ, マルチアクセス, アクセスネットワーク・UserNetworkInterface, Home ネットワーク, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

NS 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: ns-secretariat@mail.ieice.org

金子雅志 (NTT) TEL [0422] 59-2847

柴田哲良 (NTT) TEL [0422] 59-3205

◎最新情報は, NS 研ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/ns/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できませんので御注意下さい。

☆IN 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月17日(木), 18日(金) 阪大吹田キャンパス [締切済]
テーマ: 障害対策・BCP, 信頼性技術, セキュリティ・プライバシー保護技術, 認証/ID 管理, Web サービス/SOA/ROA 基盤, ソーシャルネットワーク (SNS) 及び一般

11月21日(木), 22日(金) 熊本大 [9月13日(金)] テーマ: ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース, モバイルアプリケーション及び一般

12月19日(木), 20日(金) 広島市大 [10月11日(金)]
テーマ: 性能評価とシミュレーション, 信頼性技術, スループットやトラヒックの計測, 品質 (QoS) 制御, 輻輳制御, トラヒック・フロー制御, オーバレイネットワーク・P2P, IPv6, マルチキャスト, ルーティング, DDoS 及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

IN 研究会幹事及び幹事補佐

E-mail: in_ac-kanji-2007@mail.ieice.org

五十嵐弓将 (NTT)

TEL [0422] 59-2873, FAX [0422] 59-5671

野村啓仁 (NTT)

TEL [0422] 59-3946, FAX [0422] 59-5671

◎IN 研究会ホームページ

<http://www.ieice.org/cs/in/jpn/>

◎プログラム確定後の発表キャンセルは原則できません。原稿の提出が締切日を過ぎますと投稿への掲載ができなくなり、原稿なしでの御発表となります。ただし、原稿未提出の場合、講演中止とする場合があります。

☆CS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月 休会

11月13日(水), 14日(木) 登別温泉第一滝本館 テーマ: CS ワークショップ

11月14日(木), 15日(金) 登別温泉第一滝本館 [9月13日(金)] テーマ: ブロードバンドアクセス, ホームネットワーク, ネットワークサービス, 通信利用アプリケーション, 一般

12月5日(木), 6日(金) 京都工繊大 [未定] テーマ: 画像符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

第一種研究会開催案内

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

梅原大祐 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7471, FAX [075] 724-7400

寺田 純 (NTT)

E-mail: kanji2013@csken.org

◎最新情報は, CS 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/>

——信越支部における開催——

★ME とバイオサイバネティクス研究会 (MBE)

専門委員長 中尾光之 副委員長 神保泰彦

幹事 渡邊高志・小谷 潔 幹事補佐 中村和浩・高山祐三

★ニューロコンピューティング研究会 (NC)

専門委員長 古川徹生 副委員長 小池康晴

幹事 宮下真信・林 勲 幹事補佐 木村聡貴・山崎 匡

日時 9月24日(火) 9:30~18:00

25日(水) 9:30~15:10

会場 新潟大学駅南キャンパス「ときめいと」(新潟市中央区
笹口1-1 プラウカ12階. 新潟駅南口から徒歩3分. <http://www1.niigata-u.ac.jp/tokimate/access.html> TEL [025] 262-6756 木竜 徹)

議題 ME, 一般

24日午前

1. タブレット端末操作を想定した眼球運動によるコミュニケーション装置の高精度化 ○風間郁人・堀 潤一(新潟大)・丹下 裕(舞鶴高専)
2. 電極数削減による注目部位における脳内ダイポールイメージングの検討 ○原田敏希・堀 潤一(新潟大)
3. 生体情報計測に基づいた3DTV 視聴時の感性計測 ○清水正大・中川匡弘(長岡技科大)
4. CPG ネットワークを用いた四肢歩行シミュレーション研究 ○小島 颯(新潟大)・市村智康(小山高専)・塚田 章(富山高専)・野村泰伸(阪大)・前田義信(新潟大)
5. 健康アシスト自転車におけるモード切替え閾値決定へのファジールールの導入 ○芝原大智・宮下 収・和田成夫・植野彰規(東京電機大)
6. 閾値下振動刺激が立位バランスに与える影響 吉田正樹(阪電通大)

24日午後(13:30~)

7. 昆虫全脳シミュレーションに向けたスーパーコンピューターとのリアルタイム通信の検討 ○森 友亮・加沢知毅・宮本大輔・神崎亮平(東大)
8. 脳活動信号を用いた音声識別 ○西元 淳・吉村奈津江・地村弘二(東工大/国立神経研)・神原裕行・辛 徳(東工大)・花川 隆(国立神経研)・小池康晴(東工大)
9. 上肢到達運動におけるインピーダンス調節を考慮した消費エネルギー期待値最小化規範の検討 ○谷合由章・浪花智英(福井大)・西井 淳(山口大)
10. 一次電池としての発電機能を併せ持つ生体電極とその応用の

- 試み ○松本成史・竹内康人・柿崎秀宏 (旭川医科大)
11. ワイヤレス電極を用いた前腕の動作識別 ○工藤貴史・木竜 徹 (新潟大)
12. マトリクス電極を用いた表面筋電図による前腕の動作認識
○浅川瑞記・木竜 徹 (新潟大)
13. 視覚誘導性身体動揺時の心拍・姿勢の解析
○今村 孝 (新潟大)・原田 光・章 忠・三宅哲夫 (豊橋技科大)
14. [特別講演] 皮質脳波法による生体計測
長谷川 功 (新潟大)

25 日午前

1. 脳波のフラクタル解析を用いた多機能電話の操作性評価に関する研究
角田拓也 (長岡技科大)
2. 脳波のフラクタル性を利用した BCI へのドライ電極導入評価
○齋藤諒太・中川匡弘・近藤竹雄 (長岡技科大)
3. フラクタル次元解析による視覚刺激の判別 ○渡會慶次・中川匡弘 (長岡技科大)
4. 脳波の複数の帯域に着目した感性フラクタル解析手法 (Emotion Fractal Analysis Method: EFAM) の提案
○六ヶ所洋平・中川匡弘 (長岡技科大)
5. クラシック音楽を聴いた時の脳活動とそのクロスモダリティに関する研究
○武田美咲・中川匡弘 (長岡技科大)
6. 心拍変動と心電図のカオス解析に基づいた感性状態分類に関する研究
○大橋 正 (長岡技科大)・神保直樹・篠崎 亮 (ユニソフール)・中川匡弘 (長岡技科大)

25 日午後 (13:30~)

7. 喫食時脳波解析における誘導法及び喫食性雑音の分別と ICA を用いた分離法に関する検討
○富永 滋 (明治)・吉田 久・中迫 昇 (近畿大)
8. ガム咀嚼による集中への効果について ○揖斐拓人・中川匡弘 (長岡技科大)
9. 脳波とヘモダイナミズムの相関性に着目した解析手法の提案
○池田将士・近藤竹雄・中川匡弘 (長岡技科大)
10. 脳波のカオス・フラクタル性に基づいた認知状態・脳機能計測に関する研究
○島田 悟・中川匡弘 (長岡技科大)
- ◆日本神経回路学会, IEEE Computational Intelligence Society Japan Chapter, 日本生体医工学学会; ME とバイオサイバネティックス研究会共催

☆MBE 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 10月10日(木) 阪電通大〔締切済〕 テーマ: ME 一般
11月22日(金), 23日(土) 東北大〔9月17日(火)〕
テーマ: ME, 一般
12月 岐阜大

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

中村和浩 (秋田県立脳血管研究センター)
〒010-0874 秋田市千秋久保田町 6-10
TEL [018] 833-0115, FAX [018] 833-2104
E-mail: knam@akita-noken.jp

☆NC 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

- 11月22日(金), 23日(土) 東北大〔9月17日(火)〕
テーマ: ME, 一般 (MBE 研究会併催, 日本神経回路学会, IEEE CIS-Japan 共催)

【発表申込先】 発表申込システムより電子的に行って下さい。

<http://www.ieice.org/ken/program/index.php?tgid=NC>

【問合せ先】

山崎 匡 (電通大)
TEL [042] 443-5000 (内線 5733)
E-mail: nc@neuralalgorithm.org
12月 岐阜大

【問合せ先】

宮下真信 (沼津高専)
TEL [055] 926-5782
E-mail: miyasita@numazu-ct.ac.jp

——東海支部における開催——

★回路とシステム研究会 (CAS)

専門委員長 山路隆文 副委員長 金子美博
幹事 三友敏也・篠宮紀彦 幹事補佐 越田俊介

★非線形問題研究会 (NLP)

専門委員長 池口 徹 副委員長 小西啓治
幹事 神野健哉・薄 良彦 幹事補佐 木村貴幸・原 尚之

日時 9月26日(木) 12:40~16:45
27日(金) 9:00~16:40

会場 岐阜大学サテライトキャンパス (岐阜市吉野町 6-31 岐阜スカイウイング 37 東棟 4 階, http://www1.gifu-u.ac.jp/~gifu_sc/src/access.html)

議題

26 日午後 回路とシステム I

- 電源/グランド TSV を含む三次元積層型電源分配回路網のブロック LIM による効率的な過渡解析 ○永田大成・關根惟敏・浅井秀樹 (静岡大)
- 電源分配回路網の高速過渡解析のためのマルチレート局所陰的 LIM ○北條貴亮・岡田慎吾・關根惟敏・浅井秀樹 (静岡大)
- 複数家庭で構成される電力システムの定置型蓄電池による出力平滑化制御に関する検討 ○山口佳彦・薄 良彦・引原隆士 (京大)
- 電気自動車の充電設備配置手法の比較評価 ○佐藤 駿・中野敬介・宮北和之 (新潟大)

非線形問題 I

- 単相 PWM DC-AC インバータにおけるスイッチング位相決定法の検討 ○森田和也・神野健哉 (日本工大)
- スイッチング遅延を有する重区分線形系の解析 ○西村明日翔・坪根 正 (長岡技科大)
- 結合振動子系におけるエネルギー吸収率を支配する位相に関する考察 ○窪田まど華・引原隆士 (京大)

回路とシステム招待講演 I

- [招待講演] β 変換器の量子化誤差に関する理論的解析
○牧野貴樹 (東大)・岩田友紀子 (気象大)・實松 豊 (九大)・堀田正生・傘 昊 (東京都市大)・合原一幸 (東大)

27 日午前 非線形問題 II

- 動的バイナリニューラルネットワーク: 周期系列の銘記と安定化
○上月良太・斎藤利通 (法政大)
- 相互結合型ニューラルネットワークを用いたパケットルーティング手法に関する一考察 ○高見沢 透・木村佳佑

木村貴幸・神野健哉（日本工大）

3. A Method of Clock Synchronization for Power Packet Dispatching—Parameters Optimization in Clock Synchronization—
○Yanzi Zhou・Ryo Takahashi・Takashi Hikiyara (Kyoto Univ.)

4. 所望の ISI のスパイク列を呈する区分定数カオス発振器のパラメータ学習法について
○古澤竜郎・坪根 正（長岡技科大）

5. マルチスクリューカオスとダイバーシティ
○木村一行・齋藤利通（法政大）

回路とシステム招待講演Ⅱ

6. [招待講演] 負荷容量均一化対称構造断熱的論理回路 CSSAL—論理回路設計と暗号回路設計の事例—
○高橋康宏・モンテイロ カンシオ・関根敏和（岐阜大）

27 日午後 回路とシステムⅡ（13：10～）

7. サブスレッショルド領域で動作する断熱的論理回路の動作検証
○加藤和成・高橋康宏・関根敏和（岐阜大）

8. メモリスタを用いたシナプス回路への断熱動作の評価
○尾形治城・高橋康宏・関根敏和（岐阜大）

9. LSI Implementation of a Secure Low-Power CSSAL Cellular Multiplier
○Cancio Monteiro・Yasuhiro Takahashi・Toshikazu Sekine (Gifu Univ.)

10. 可変ステップサイズを用いた適応 IIR ノッチフィルタの性能解析
○土肥一就・肖 業貴（県立広島大）・長谷川浩治（広島県総技研）

非線形問題Ⅲ

11. 4 次元重区分線形系が呈するハイパカオスの分岐現象の解析
○柳澤健太郎・坪根 正（長岡技科大）

12. 帯電振子を利用した非線形多体系の集団現象
○松岡 侖・庄司多津男（名大）・秦 浩起（鹿児島大）

13. 定電力負荷を伴う直流マイクログリッドシステムの分岐解析
○小西啓治・杉谷栄規・原 尚之（阪府大）

14. 多変量時系列に対する共分散構造分析と粒子フィルタを用いた大規模非線形システムにおける状態推定
時永祥三（九大）・○池田欽一（北九州市大）

☆CAS 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11 月 6 日（水）、7 日（木）花巻温泉〔未定〕テーマ：グラフ、ペトリネット、ニューラルネット及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

三友敏也（東芝）

TEL [044] 548-2341, FAX [044] 548-8324

E-mail : toshiya.mitomo@toshiba.co.jp

◎回路とシステム研究専門委員会では、研究会の振興を目的として「回路とシステム研究会学生優秀発表賞」を制定しました。優秀な学生発表は、3 月の総合大会にて表彰致しますので、奮って申し込み・投稿をお待ちしております。受賞資格は回路とシステム研究会で御自身で発表され、かつ予稿にて第一著者の IEICE 学生会員（申し込み中でも可）の方です。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

☆NLP 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10 月 28 日（月）、29 日（火）サンポートホール高松〔締切済〕テーマ：一般

12 月 6 日（金）、7 日（土）City Univ. of Hong Kong [10 月 16 日（水）] テーマ：一般

第一種研究会開催案内

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

神野健哉（日本工大）

TEL [0480] 33-7659, FAX [0480] 33-7680

E-mail : jinno@nit.ac.jp

◎非線形問題研究専門委員会では、非線形分野の研究奨励を目的として「非線形問題研究会優秀発表賞」を制定しました。これは本年度非線形問題研究会で発表された口頭発表論文の中から優秀なものを選定し、著者全員を表彰するものです。受賞資格は本年度非線形問題研究会で発表され、第一著者及び発表者が電子情報通信学会会員（申し込み中でも可）であることです。優秀発表賞受賞発表論文は IEICE 和文論文誌もしくは NOLTA 誌に NLP 研究専門委員会推薦論文として推薦できます。詳しくは幹事までお問い合わせ下さい。

——北陸支部における開催——

★コミュニケーションクオリティ研究会 (CQ)

専門委員長 高橋 玲 副委員長 板倉英三郎・矢守恭子

幹事 岡本 淳・平栗健史 幹事補佐 山崎康広

★モバイルネットワークとアプリケーション研究会(MoNA)

専門委員長 井上真杉 副委員長 森野博章

幹事 北形 元・金子晋丈

幹事補佐 小林基成・上坂大輔・大和田泰伯

◎本研究会は CQ 研究会と MoNA 研究会の併催です。研究会資料は各研究会ごとに発行されます。

日時 9 月 12 日（木）8：30～18：15

13 日（金）8：30～17：35

会場 金沢工業大学扇が丘キャンパス（石川郡野々市町扇が丘 7-1. JR 金沢駅からバス 30 分程度。 http://www.kanazawa-it.ac.jp/about_kit/ogigaoka.html 中沢 実）

議題 無線 LAN, M2M/センサネットワーク, P2P/アドホックネットワーク, モバイルアプリケーションとサービス, オフロード技術, 映像配信, 及びこれらの品質と省電力化, 一般
12 日午前

CQ-1. ジャンル学習に基づく SNS 画像推薦の実装と評価

○神谷 優（早大）・矢守恭子（朝日大）・田中良明（早大）

CQ-2. 遠隔協調作業環境において伝搬遅延が協調作業に及ぼす影響
○北端美紀・持田康弘・仲地孝之・藤井竜也（NTT）

CQ-3. 音声・ビデオ IP 伝送における音声とビデオの時間・空間品質が QoE に及ぼす影響
○小野浩史・布目敏郎（名工大）

CQ-4. 通信ネットワークにおけるカスケード故障発生時の被災規模評価法の検討
○原 一希・林 正博（東京都市大）

CQ-5. 通信ネットワークの故障頻度過渡解析法の検討

○鴻上 翼・林 正博（東京都市大）

MoNA-6. ソーシャルグラフを用いたデバイス管理システムの検討
○新庄泰大・小坂隆浩（同志社大）

MoNA-7. 移動中継ノードを利用した DTN 環境の構築

○多氣真之輔・小坂隆浩（同志社大）

MoNA-8. Android 端末を用いた Bluetooth MANET における探索・接続周期決定手法
○武田航史・角田良明（広島市大）

MoNA-9. 異種 MANET 環境におけるサービス情報の収集・配布のためのモバイルエージェントの移動機構 ○石塚秀平・大田知行・角田良明 (広島市大)

12 日午後 (13:10~)

CQ-10. MRSON: An Design of Energy-efficient Resource Sharing Overlay Network in Mobile Cloud Computing

○Wei Liu・Ryoichi Shinkuma・Tatsuro Takahashi (Kyoto Univ.)

CQ-11. 端末密度推定を用いた確率的蓄積運搬型ルーチング ○木村共孝・松田崇弘・滝根哲哉 (阪大)

CQ-12. 低遅延型 M2M を想定したイーサネット PON 伝送技術の提案 ○田所将志・村山大輔・鈴木謙一・吉本直人 (NTT)・久保亮吾 (慶大)

CQ-13. フローキャッシュ搭載ネットワークプロセッサにおけるアプリケーションに基づいた分割キャッシュの提案

○八巻隼人・西 宏章 (慶大)

共通-14. [招待講演] スマートコミュニティの行方と通信インフラがなすべきこと 西 宏章 (慶大)

共通-15. [招待講演] 未定 調整中

13 日午前

CQ-1. IEEE802.11 無線 LAN システムにおける後段 IFS を用いた衝突低減方式 ○岸田 朗・岩渕匡史・新宅俊之・阪田 徹 (NTT)

CQ-2. IEEE 802.11n 無線 LAN 上の TCP 通信における大幅なレート変更時の遅延増加の改善手法 ○野元祐孝・加藤聰彦・策力木格・大坐昌 智 (電通大)

CQ-3. MU-MIMO 伝送における送信タイミング管理方法の検討 ○小川知将・平栗健史・吉野秀明・神野健哉 (日本工大)

CQ-4. セルラ及び Wi-Fi の同時利用による Web 体感品質向上の検討 ○安田浩人・森岡康史・森広芳文・奥村幸彦 (NTT ドコモ)

共通-5. [招待講演] P2P ライブ映像配信システムによるサービス実験 ○遠藤洋介・西村 敏 (NHK)

共通-6. [特別講演] Development of Mobile Network in DOCOMO ○山田 暁・萩原淳一郎 (NTT ドコモ)

共通-7. [特別講演] 高速無線 LAN 規格 IEEE802.ac の動向と今後の発展に対する課題 ○篠原笑子・井上保彦・浅井裕介・B.A. Hirantha Sithira Abeysekera・溝口匡人 (NTT)

共通-8. [特別講演] 国際会議報告 (ICC 2013)

村瀬 勉 (NEC)

13 日午後 (13:40~)

MoNA-9. LED とカメラを用いた無線 LAN メディアアクセス制御 ○西岡 良・西尾理志・守倉正博・山本高至 (京大)

MoNA-10. スマホを用いたスマートオンデマンドバスの研究—スマートウォーカーアシストシステム—

郡 武治 (静岡理工科大)

MoNA-11. 近距離無線を用いた交差点安全支援 宇野新太郎 (愛知工科大)

MoNA-12. ユーザ協調型説得システムの提案 ○石塚宏紀・上坂大輔・村松茂樹・小野智弘 (KDDI 研)

MoNA-13. 2 段階モデルを活用した消費電力量からの世帯人数推定手法 ○多屋優人・小野智弘 (KDDI 研)

CQ-14. 無線 LAN における省電力 TCP データ転送方式の実験評価 ○橋本匡史・長谷川 剛・村田正幸 (阪大)

CQ-15. スマートフォンサービスに対するユーザ意識分析

○吉村憲子・増田征貴 (NTT)

CQ-16. モバイル通信アプリケーション品質のフィールド測定に関する一検討 ○遠藤直人・青木仁志・野尻秀樹・高橋 玲 (NTT)

CQ-17. 遠隔制御システムにおけるネットワーク遅延の変化が力の知覚に及ぼす影響と知覚モデル ○松永一希 (名工大)・大西 仁 (放送大)・石橋 豊 (名工大)

◆12 日議題 14. と 15. は情報処理学会; マルチメディア通信と分散処理研究会/グループウェアとネットワークサービス研究会/電子化知的財産・社会基盤研究会連催

◎12 日 16:45~18:15 に信学会・情処学会合同企画として、金沢工業大学「夢考房」見学を行います。

◎12 日研究会終了後、懇親会を予定していますので御参加下さい。

☆CQ 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11 月 14 日 (木), 15 日 (金) 福江文化会館 (五島列島) [未定] テーマ: ネットワーク品質, ネットワーク管理・計測, ネットワーク仮想化, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

岡本 淳 (NTT)

TEL [0422] 59-6526, FAX [0422] 59-6364

平栗健史 (日本工大)

TEL [0480] 33-7658, FAX [0480] 33-7680

E-mail: cq_ac-kanji@mail.ieice.org

◎最新情報は、CQ 研究会ホームページを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/cs/cq/jpn/>

☆MoNA 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11 月 21 日 (木), 22 日 (金) 熊本大 [9 月 13 日 (金)] テーマ: ホームネットワーク, ユビキタスネットワーク, モバイルネットワーク, クラウドコンピューティング, コンテキストウェア, 位置情報サービス, e-コマース, モバイルアプリケーション及び一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

鶴岡行雄 (NTT), 榎原 茂 (奈良先端大)

E-mail: momuc-sec-contact@mail.ieice.org

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

★リコンフィギャラブルシステム研究会 (RECONF)

専門委員長 弘中哲夫 副委員長 渡邊 実・本村真人

幹事 山田 裕・山口佳樹 幹事補佐 谷川一哉

日時 9 月 18 日 (水) 14:20~17:50

19 日 (木) 9:00~16:05

会場 北陸先端科学技術大学院大学マテリアルサイエンス研究科 講義棟 (能美市旭台 1-1. http://www.jaist.ac.jp/general_info/access/index.html 佐藤幸紀)

議題 リコンフィギャラブルシステム, 一般

18 日 基調講演

1. [招待講演] 画像認識プロセッサの研究 深山正幸 (金沢大) 数値計算と高速化

2. リコンフィギャラブルハードウェアを用いた高速ストリーム処理の一検討 ○福田エリック駿 (北大)・川島英之 (筑波大)・井上浩明 (NEC)・藤井太郎・

古田浩一朗 (ルネサスエレクトロニクス)・浅井哲也・本村真人 (北大)

3. フラクショナルステップ法に基づく非圧縮性流体計算専用の
ストリームプロセッサの設計と評価 ○千葉諒太郎・
鈴木隼人・伊藤 涼・佐野健太郎・山本 悟 (東北大)

4. FPGA アクセラレータを用いた三次元ステンシル計算におけ
る電力性能モデルの検討 ○土肥慶亮・福本航太・
柴田裕一郎・小栗 清 (長崎大)

リコンフィギャラブルアーキテクチャ(1)

5. 低消費電力プロセッサのための限定的動的再構成アーキテク
チャ ○平尾岳志・金 多厚・肥田 格・浅井哲也・
本村真人 (北大)

6. 相変化物質を用いた不揮発性再構成型デバイス開発プラット
フォーム ○道田拓巳・谷川一哉・弘中哲夫 (広島市大)・
石黒 隆・下舞賢一 (太陽誘電)

19日午前 リコンフィギャラブルアーキテクチャ(2)

1. FD-SOIを用いた超低電力アクセラレータの実チップ評価
○蘇 洪亮・王 蔚涵・北森邦明・天野英晴 (慶大)

2. シヤノン展開された部分関数の特徴に基づく少構成メモリ
LUT ○柳田恭成・尼崎太樹・飯田全広・久我守弘・
末吉敏則 (熊本大)

3. 再構成型デバイス MPLD におけるバストランジスタ・ロジッ
クによる面積削減の検討 ○吉田雄揮・道田拓巳・谷川一哉・
弘中哲夫 (広島市大)・石黒 隆・下舞賢一 (太陽誘電)

高位合成と開発環境

4. 高位合成ツール JavaRock による倒立振子制御処理の高速化
○植竹大地・大川 猛 (宇都宮大)・
三好健文 (イーツリーズ・ジャパン)・横田隆史・大津金光 (宇都宮大)

5. Hw/Sw 複合体作成システムの研究 ○荻島裕一・
関根優年 (東京農工大)

6. 組込みシステムにおける再構成時間を考慮した低消費電力指
向の設計フレームワークの提案 ○荒木光一・佐藤幸紀・
井口 寧 (北陸先端大)

19日午後 FPGA 応用

7. 3次元 FPGA アレイ Vocalise の回路構成に関する研究
○久保泰正・黎 江・集 祐介・小笠原 麦・
関根優年 (東京農工大)

8. PEACH2 におけるパイプライン実行の検討 ○宮島敬明・
久原拓也 (慶大)・デビッド トーマス (イバリアル)・
埴 敏博 (筑波大)・天野英晴 (慶大)

9. 並列 EVMDD(k) マシンを用いたバケット分類器に関して
○中原啓貴 (鹿児島大)・笹尾 勤 (明大)・
松浦宗寛 (九工大)

10. FPGA プロトタイプ向けメモリ管理フレームワークの
開発 ○高前田(山崎) 伸也 (東工大/学振)・
吉瀬謙二 (東工大)

動的再構成

11. 動的部分再構成による連想メモリ内エントリの定数化の検討
○請園智玲・荒木光一 (北陸先端大)

12. 光再構成型ゲートアレイへの色構成手法 ○藤森卓巳・
渡邊 実 (静岡大)

13. 光再構成型ゲートアレイへの可変サイズスポット構成手法
○赤木昂太・渡邊 実 (静岡大)

◆北陸先端科学技術大学院大学情報社会基盤研究センター後援

◎18日9:00~14:00にFPGA デザインコンテストを開催します。

◎18日18:00以降に「たがわ龍泉閣」での懇親会を計画してい
ます。宿泊申込みを含め、今後、懇親会申込みホームページの

第一種研究会開催案内

リンクを準備致します。

◎企業展示を実施致します。

(株)イーツリーズ・ジャパン (<http://e-trees.jp/>)

東京エレクトロン デバイス(株) (<http://www.teldevice.co.jp/>)

☆RECONF 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月27日(水)~29日(金) 鹿児島県文化センター [未定]

テーマ: デザインガイア 2013—VLSI 設計の新しい大地—

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

渡邊 実 (静岡大)

TEL & FAX [053] 478-1096

E-mail: tmwatan@ipc.shizuoka.ac.jp

— 関西支部における開催 —

★ヒューマン情報処理研究会 (HIP)

専門委員長 金子寛彦 副委員長 安藤英由樹・石井雅博

幹事 新井田 統・渋井 進・水科晴樹

幹事補佐 清河幸子・望月理香

日時 9月12日(木) 14:00~17:40

13日(金) 9:30~15:55

会場 情報通信研究機構ユニバーサルコミュニケーション研究所
(NICT けいはんな) 2F TV 会議室 (大画面実験室) (相楽郡精
華町光台 3-5. JR 学研都市線: 祝園駅, 近鉄京都線: 新祝園
駅から奈良交通バス約 15 分, または近鉄けいはんな線: 学研
奈良登美ヶ丘駅から奈良交通バス約 15 分. [http://www.nict.
go.jp/about/univ-com_map.html](http://www.nict.go.jp/about/univ-com_map.html) TEL [0774] 98-6411 水
科晴樹)

議題 「眼球運動と知覚」, 「眼球運動の制御・計測」, 「調節・瞳
孔の機能」, 及びヒューマン情報処理一般

12日

1. 単眼カメラを用いた瞳孔中心と虹彩輪郭に基づく眼球回転中
心位置の推定 ○瀬戸康博・疋田真一・小林康秀・
小野貴彦・齊藤充行 (広島市大)

2. 頭部に装着した超小型カメラを用いた輻輳性眼球運動の計測
○加藤拓真・疋田真一・小林康秀・小野貴彦・
齊藤充行 (広島市大)

3. 高速撮影カメラを用いた汎用リアルタイム眼球運動計測シス
テム ○松田圭司 (産総研)・河野憲二・三浦健一郎 (京大)

4. [招待講演] 多人数の視線分布による番組コンテンツの分析
小峯一晃 (NHK)

13日午前

1. 回旋性視運動性眼球運動と後眼振 平田 豊 (中部大)

2. 眼の焦点調節特性に基づいて漢字文書を読み易くする最適行
間隔の理論的導出 ○石川直人・宮田知美・
松井利一 (群馬大)

3. 長時間の立体映像視聴時における輻輳と調節の同時計測
○吉川一輝・小島健仁 (名大)・高田宗樹 (福井大)・
宮尾 克 (名大)

4. [招待講演] The perceptual consequences of vergence eye
movements Robert S. Allison (York Univ.)

13日午後 (13:30~)

5. [招待講演] 眼球情報を用いた人間行動の分析

告 23

中山 実 (東工大)

6. 大きな網膜像差を処理するメカニズムの速度同調性

○佐藤雅之 (北九州市大)・須長正治 (九大)

7. 盲点における運動線分のフィリングインの際の事象関連電位

○蘭 悠久 (島根大)・青野直也・福田玄明・
植田一博 (東大)・北岡明佳 (立命館大)

8. 有効視野に最適化された読書インタフェースの読み効率評価

○小林潤平・関口 隆・新堀英二 (大日本印刷)・
川嶋稔夫 (公立はこだて未来大)

◆日本光学会視覚研究グループ共催

◎12日研究会終了後、NICT ラボツアーと懇親会を予定して
ますので御参加下さい。

【問合先】

水科晴樹 (NICT)

TEL [0774] 98-6411, FAX [0774] 98-6967

E-mail: mizushina@nict.go.jp

——中国支部における開催——

★教育工学研究会 (ET)

専門委員長 赤倉貴子 副委員長 小西達裕

幹事 國宗永佳・光原弘幸 幹事補佐 東本崇仁・森本容介

日時 9月28日 (土) 10:00~16:45

会場 広島大学東広島キャンパス教育学部L棟1階L102室 (A
会場)・L104室 (B会場) (東広島市鏡山1-1-1. 広大北口バ
ス停より徒歩5分 (広大中央口バス停からは徒歩10分).
<http://www.hiroshima-u.ac.jp/top/access/higashihiroshima/>
TEL [082] 424-5629 渡辺健次)

議題 学習支援システムの新展開/一般

A (L102) (10:00~11:50)

1. 「QRコード」及び「FeliCa Lite カード/シール」を利用した
デジタル教材の簡易表示システムの開発

榎本 聡 (国立教育政策研)

2. ARとHMDを用いた実世界Edutainmentシステム

○光原弘幸・岩間智視・角川隆英 (徳島大)・
田中一基 (近畿大)

3. Methods and Algorithms for Automatic Slicing of Screen
Capture Video using Slide PDFs

○Marat Zhanikeev・
Hiroshi Koide (Kyushu Inst. of Tech.)

4. オンライン配布資料へのノート機能自動付与システムの試作
と活用

○星野裕樹・谷村 祐・西村広光・示野浩士・
納富一宏 (神奈川工科大)

B (L104) (10:10~11:50)

5. 練習問題レコメンドエンジンの効果分析

飯高敏和 (熊本学園大)

6. Hybrid-P2P技術を活用した研究室内資料共有システムにお
けるインデックスサーバ登録時のキーワード自動付与機能の開
発

○管納雅人・井口信和 (近畿大)

7. Web調べ学習における課題展開の示唆方法とその有効性

○木下恵太・柏原昭博 (電通大)

8. e-learningガイドエージェントの姿勢変更による学習への引
き込み効果の測定

○長谷川 大・佐久田博司 (青学大)

午後 1A (L102) (13:00~14:40)

9. 利き側動作を手本として非利き側動作の学習支援を行うため

の左右差の分析

○廣田一樹・曾我真人・
瀧 寛和 (和歌山大)

10. 楽曲演奏行為を伴う和声学における基本位置3和音配置課題
学習—学習の方法と流れの詳細化—

○野口佳葉・
松原行宏・岡本 勝 (広島市大)

11. 書字困難児を対象とした漢字手書き学習支援システムの開発
と小学校での実践

○井上朋美・中村理美・中島範子・
園田貴章・田中久治 (佐賀大)・渡辺健次 (広島大)・
岡崎泰久 (佐賀大)

12. 特別支援学校向け学習支援アプリの開発

○藤澤義範・
伊藤祥一・清水省吾 (長野高専)

1B (L104) (13:00~14:40)

13. 力学モデルの直観的理解と設計知識の相関

佐久田博司・
○長谷川 大 (青学大)

14. IPネットワーク構築演習支援システムの自動採点機能の開
発

○北澤友基・井口信和 (近畿大)

15. タブレット端末によるシステムが学習評価の計画・実施に与
える影響

○三浦利仁・谷田親彦 (広島大)

16. 顔画像認識によるユーザ選択機能を実装した相互評価端末の
実装と評価

○山下 淳 (筑波大)・加藤 浩 (放送大)・
葛岡英明 (筑波大)・鈴木栄幸 (茨城大)

2A (L102) (14:55~16:45)

17. アルゴリズム的思考法教育を支援するビジュアルプログラミ
ング環境の運用と評価

○小林 慶・國宗永佳・香山瑞恵・
新村正明 (信州大)

18. アルゴリズムの学習におけるノートリビルディングシステム
の実践

○東本崇仁 (東京理科大)・平嶋 宗 (広島大)

19. プレゼンテーション・スキルアップシステムにおける音声の
自動評価

○原田和樹・和田守美穂 (松江高専)

20. プレゼンテーションドキュメント診断支援システムの設計

○柴田康生・柏原昭博 (電通大)・長谷川 忍 (北陸先端大)

2B (L104) (14:55~16:35)

21. ニンテンドーDSを用いた英語学習に関する一考察

○伴 浩美 (福井工大)・皆川 順 (山陽学園短大)

22. 学習者のレベルと特性に応じた学習コースを備えた日本語発
音学習システムの開発—音声認識による発音自動評価の実現—

○松永 悟・田中久治 (佐賀大)・渡辺健次 (広島大)・
岡崎泰久 (佐賀大)

23. 携帯端末を用いた対話型日本語学習支援システムの開発

○豊田真也・田中久治 (佐賀大)・渡辺健次 (広島大)・
岡崎泰久 (佐賀大)

24. Relationism-Firstで文理融合へ向かうBlended Learningの
一局面—個から関係態へ移りゆく時間像と共に—

○藤田幸史 (尾道市大)・太田光雄 (元広島大)・
生田 顕 (県立広島大)・河尻義孝 (日の丸産業)

◆IEEE Education Society Japan Chapter 協賛

◎研究会終了後、懇親会の開催を予定しております。下記問合先
までお問い合わせ下さい。

☆ET研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

10月19日 (土) 富山大五福キャンパス [締切済] テーマ:
LMSとe-ポートフォリオ/一般

11月16日 (土) 会津大 [9月13日 (金)] テーマ: Internet
of Thingsと学習支援/一般

1月11日 (土) 目白大 [11月8日 (金)] テーマ: スキル教
育と学習支援環境/一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

國宗永佳 (信州大)

TEL & FAX [026] 269-5502

E-mail: kunimune@shinshu-u.ac.jp

◎原稿締切日までに原稿がアップロードされない場合には、自動的に発表キャンセルとなります。原稿がない発表は認めていませんので御注意下さい。

——九州支部における開催——

★ライフインテリジェンスとオフィス情報システム研究会(LOIS)

専門委員長 若原俊彦 副委員長 岡本 学

幹事 山元規靖・茂木 学 幹事補佐 小館亮之

★画像工学研究会 (IE)

専門委員長 藤井俊彰 副委員長 高村誠之・浜本隆之

幹事 久保田 彰・市ヶ谷敦郎 幹事補佐 三功浩嗣・松尾翔平

★マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント研究会(EMM)

専門委員長 越前 功 副委員長 新見道治・西村竜一

幹事 鶴木祐史・川村正樹 幹事補佐 栗林 稔・小嶋徹也

日時 9月12日(木) 13:05~17:00

13日(金) 9:40~15:10

会場 東海大学熊本キャンパス (熊本市東区渡鹿9-1-1, JR:熊本駅からJR豊肥本線:東海学園前駅下車(約13分), 駅正面, <http://www.u-tokai.ac.jp/about/campus/kumamoto/>)

議題 マルチメディア通信/システム, ライフログ活用技術, IP放送/映像伝送, メディアセキュリティ, 一般

12日

LOIS-1. 個人向けセンサボックスのための実装フレームワーク考察 ○大櫛章裕・まつ本真佑・佐伯幸郎・中村匡秀(神戸大)

LOIS-2. 赤外線 Motion センサーを利用した屋内プレゼンスセンシングの一手法 ○樫尾勇樹・まつ本真佑・佐伯幸郎・中村匡秀(神戸大)

LOIS-3. NiceCover: A Serverless Webapp for Crowdsourcing Data Extraction and Knowledge Generation on Top of Scientific Portals Marat Zhanikeev (Kyushu Inst. of Tech.)

EMM-4. インデックスカラーのクラスタリングを用いた大容量情報埋込み法 ○谷口敢一・今泉祥子・青木直和・小林裕幸(千葉大)

EMM-5. カラーマップの色変換を用いた限定色画像に対する情報半開示法 ○戸部悠人・今泉祥子・青木直和・小林裕幸(千葉大)

EMM-6. ウェアラブルカメラを用いた手書きノートの電子化 ○渡邊栄治(甲南大)・尾関孝史(福山大)・小濱 剛(近畿大)

EMM-7. 分散情報のサイズを考慮したQRコードにおける秘密分散法 ○倉元雅樹(阪大)・河野和宏(関西大)・伊藤義道(阪電通大)・馬場口 登(阪大)

EMM-8. SNS投稿におけるプライバシー漏洩の検出とプライバシーセンシティブワードの拡張 ○町田史門(総研大)・嶋田 茂(産技大)・越前 功(NII)

EMM-9. [招待講演] 食のライフログの展開 相澤清晴(東大) 13日午前

LOIS-1. 野鳥の鳴き声の自動認識による未知の渡り鳥の飛来感知 ○西 宏之・木村義政(崇城大)

LOIS-2. Hough変換による瞳検出を用いた正面顔映像から得られる瞳の動きによる心理状態推定 ○鶴見亮介・青木恭太(宇都宮大)

LOIS-3. 仮想クライアントシステム向け負荷制御方法の提案 ○梅澤克之・後藤弘美(日立)

LOIS-4. ユーザの選択インタフェースの現在の状態からリアルタイムに推測するヘルプ・リコメンドシステムの検討

○川端祐人(NTT)・顧 寧(復旦大)・増田 健・丸山 勉(NTT)

5. 地上デジタル放送における映像向けモバイル電子透かしの実証実験 ○安藤慎吾・山本 奏・筒口 拳・片山 淳・谷口行信(NTT)

6. 安全なハードウェア設置工事のためのARと指認識によるフィールド作業支援システム ○松尾賢治・内藤 整(KDDI研)

13日午後

7. 電力系統運用に用いる伝送符号化方式の一検討 ○片岡晃佑・織田健志・花 海丞(通研電気)・佐々木範雄(東北電力)

8. スマートグリッド共通通信基盤の開発 岩淵宏信・田村 章・○高橋直雅・渡部秀和(九州電力)・宮本 敦・齋藤高志(KDDI)

13日午後 IE (13:50~15:10)

IE-9. 頭部CTA・MRA画像からの脳血管領域の抽出 ○前田真也・山村雄太郎・金 亨燮・タン ジュークイ・石川聖二(九工大)・山本晃義(戸畑共立病院)

IE-10. 非等方距離による幾何学的NPR:バイラテラル距離と接平面距離 胡 忠英・于 子涵・井上光平・○浦浜喜一(九大)

IE-11. エネルギー保存を考慮した画像の線形変換法 ○山内 仁・尾崎公一・佐藤洋一郎・福田忠生・小武内清貴(岡山県立大)

IE-12. 多視差裸眼3D表示を目的とした多視点カメラ間の奥行画像生成 ○三功浩嗣・内藤 整(KDDI研)

◆電気学会;通信研究会,映像情報メディア学会;メディア工学研究会連催

☆LOIS研究会今後の予定 []内発表申込締切日

11月28日(木),29日(金) 東北大[9月16日(月)] テーマ:情報セキュリティ,ライフログ活用技術,ライフインテリジェンス,オフィス情報システム,一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。
<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合先】

山元規靖(福岡工大情報工学部)

〒811-0295 福岡市東区和白東3-30-1

FAX [092] 606-0758

E-mail: nori@fit.ac.jp

☆IE研究会今後の予定 []内発表申込締切日

10月7日(月),8日(火) 弘前大コラボ弘大[締切済] テーマ:システムLSIの応用とその要素技術,専用プロセッサ,プロセッサ,DSP,画像処理技術,及び一般

12月5日(木),6日(金) 京都工繊大[未定] テーマ:画像

符号化, 通信・ストリーム技術, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

市ヶ谷敦郎 (NHK)

E-mail : ie-kanji2013@mail.ieice.org

☆EMM 研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

11月14日(木), 15日(金) 県立広島大〔未定〕テーマ: 異種メディア融合, コンテンツ処理, メディア検索, 電子透かし, 一般

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

★情報理論研究会 (IT)

専門委員長 竹内純一 副委員長 大濱靖匡

幹事 野村 亮・日下卓也 幹事補佐 井坂元彦

日時 9月27日(金) 9:00~15:20

会場 カルチャーリゾートフェストーン (宜野湾市真志喜 3-28-

1. 沖縄自動車道西原 IC から: 車 (一般道) で約 15 分。路線バスでコンベンションセンター前バス停から徒歩約 5 分。

<http://festone.jp/content/view/21/36/> TEL [098] 898-1212 八木秀樹)

議題 誤り訂正符号, 一般

- Upper Bounds on the Average Probability of Undetected Error for the Ensembles of both Product and Concatenated Codes ○Toshihisa Nishijima (Hosei Univ.)・Kin-ichiroh Tokiwa (Osaka Sangyo Univ.)
- A Soft-Decision Sphere Decoding Based on Recursive Vector Generator Using Euclidian Distance ○Takuya Kusaka (Okayama Univ.)・Toru Fujiwara (Osaka Univ.)・Ryuhei Yokoyama (Okayama Univ.)
- Iterative Multiuser Joint Decoding based on Augmented Lagrangian Method ○Shunsuke Horii・Tota Suko・Toshiyasu Matsushima・Shigeichi Hirasawa (Waseda Univ.)
- 通信路符号化とシングルフレーム超解像 ○高木美里・川喜田雅則・竹内純一 (九大)
- 消失誤りを伴う Invertible Bloom Lookup Tables の性能評価 ○湯川大地・和田山 正 (名工大)
- 並列復号に適したプロトグラフ又状態接続型空間結合符号 ○大槻哲央・和田山 正 (名工大)
- シフトを用いた噴水符号 野崎隆之 (神奈川大) 午後 (13:30~)
- 〔招待講演〕メモリと制約符号 鎌部 浩 (岐阜大)
- Finite Type Constrained Systems for Flash Memories Akiko Manada (Univ. of Electro-Comm.)
- q 元ハミング符号の並列復号器における演算回数について ○大島怜也・岩田賢一 (福井大)

◆IEEE IT Society Japan Chapter 共催

◎誤り訂正符号のワークショップ (9/25~9/27) 併催

◎宿泊などの情報はワークショップのホームページを御覧下さい

<http://manau.jp/WS/ECCWS/>

☆IT 研究会今後の予定

11月26日(火) 伊東ホテル聚楽 テーマ: 若手研究者のための講演会 (招待講演のみ)

【問合せ先】

情報理論研究会幹事, 幹事補佐

E-mail : it-sec@mail.ieice.org

——今後の予定——

★フォトリックネットワーク研究会 (PN)

専門委員長 坂野寿和

副委員長 荒木壮一郎・大木英司・戸出英樹

幹事 荒川伸一・長谷川 浩 幹事補佐 品田 聡・釣谷剛宏

★電磁界理論研究会 (EMT)

専門委員長 白井 宏 副委員長 佐藤源之

幹事 柴崎年彦・平山浩一 幹事補佐 中嶋徳正

★光エレクトロニクス研究会 (OPE)

専門委員長 山田博仁 副委員長 鈴木扇太

幹事 橋本俊和 幹事補佐 荒川太郎・中川剛二

★レーザ・量子エレクトロニクス研究会 (LQE)

専門委員長 松尾慎治 副委員長 近藤正彦

幹事 田中 有・有賀 博

★エレクトロニクスシミュレーション研究会 (EST)

専門委員長 柴田随道

副委員長 柏 達也・馬 哲旺・木村秀明

幹事 大貫進一郎・柴山 純 幹事補佐 陳 春平・千葉英利

★マイクロ波・ミリ波フォトリック研究会 (MWP)

専門委員長 岩月勝美 副委員長 門 勇一・寶迫 巖

幹事 関根徳彦・戸田裕之 幹事補佐 川西哲也・米本成人

☆研究会今後の予定 [] 内発表申込締切日

1月23日(木), 24日(金) 同志社大 (今出川) [11月1日(金)] テーマ: 光-無線融合 NW, 新周波数(波長)帯デバイス, フォトリック NW・デバイス, フォトリック結晶, ファイバとその応用, 光集積回路, 光導波路素子, 光スイッチング, 導波路解析, 一般 (電気学会; 電磁界理論技術委員会連催)

【発表申込先】 下記研究会発表申込システムからお申込み下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/ken/kenmoushikomi.html>

【問合せ先】

・PN 研究会

荒川伸一 (阪大)

E-mail : arakawa@ist.osaka-u.ac.jp

長谷川 浩 (名大)

E-mail : hasegawa@nuee.nagoya-u.ac.jp

・EMT 研究会

平山浩一 (北見工大)

E-mail : emt-secretary@ns.ieice.org

・OPE 研究会

橋本俊和 (NTT)

E-mail : ope-kanji@mail.ieice.org

・LQE 研究会

田中 有 (富士通研)

E-mail : yu_tanaka@jp.fujitsu.com

- ・EST 研究会
大貫進一郎 (日大)
E-mail: est-query@mail.ieice.org
- ・MWP 研究会
関根徳彦 (NICT)・戸田裕之 (同志社大)
E-mail: mwp-inquiry@mail.ieice.org
- ・電気学会: EMT 研究会 [連催]
尾崎亮介 (日大)
E-mail: ozaki@ele.cst.nihon-u.ac.jp

◇ ◇ 第二種研究会開催案内 ◇ ◇

●第2回集積光デバイスと応用技術研究会

委員長 粕川秋彦 (古河電工) 副委員長 横井秀樹 (芝浦工大)
日時 平成25年10月17日(木) 13:30~17:35 (予定)
(受付開始時間 13:10~)

会場 法政大学小金井キャンパス南館7階会議室 (小金井市梶野町3-7-2. JR中央線:東小金井駅. <http://www.hosei.ac.jp/access/koganei.html>)

テーマ 微細加工のための光技術, 光技術のための微細加工
第2回研究会を下記の内容で開催します。

光技術はリソグラフィ技術をはじめ, 半導体集積回路における微細化の飛躍的発展を支えており, 更なる微細化も含め, その研究開発は一層重要性を増してきています。そして, シリコンフォトニクスに代表されるようにリソグラフィ技術の進展により産業化に有利なプロセスを用いて高精度で低損失な光デバイスの実現も可能になっています。今後も最先端リソグラフィ技術は高精度かつ高機能な集積光回路デバイスの開発のために重要な技術と考えられます。また, ナノインプリント技術はフォトニック結晶などのナノスケール構造を有する光デバイスを製品化につなげる有効な技術であり, ナノインプリントを活用した製造技術の研究開発にも注目が集まっています。第2回集積光デバイスと応用技術研究会では, 微細加工のための光技術並びに光デバイス開発のための微細加工技術に関連する講演として, 極限リソグラフィ技術とナノインプリント技術に関する講演を行います。多数の方々の御参加をお待ちしております。

プログラム (予定)

- [招待講演] リソグラフィ技術の発展と EUV リソグラフィ技術の現状 岡崎信次 (ギガフォトン)
- [招待講演] ArF 液浸リソグラフィとダブル/マルチパターンニング 内山貴之 (東芝)
- [招待講演] マルチパターンニング技術による微細加工の可能性 八重樫英民・小山賢一・山内祥平・原 亜梨沙・名執桜子・大和雅俊 (東京エレクトロ)
- [招待講演] ブロックコポリマーによる DSA (Directed Self-assembly) リソグラフィ 東 司 (EUVL 基盤開発センター)
- [招待講演] ナノインプリント法による微細加工の基礎と光学要素への応用 平井義彦 (阪府大)
- [招待講演] LSI デバイス量産用ナノインプリントリソグラフィ装置の状況 和田英之 (エレキテック・インテック)
- フリーディスカッション

参加資格 特に関いません

参加申込 研究会開催当日, 会場にて受け付けます (事前申し込み不要)

参加費 一般参加者 5,000 円, 学生 1,000 円

【研究会に関する問合せ先】 [第2回研究会担当委員]

中津原克己 (神奈川工科大)

TEL [046] 291-3276

E-mail: knakatsu@ele.kanagawa-it.ac.jp

【その他の研究会一般に関する問合せ先】 幹事

向原智一 (古河電工)

TEL [0436] 42-1771

E-mail: tmuka@yokoken.furukawa.co.jp

山下兼一 (京都工繊大)

TEL [075] 724-7423

E-mail: yamasita@kit.ac.jp

主催 集積光デバイスと応用技術時限研究専門委員会

●ワークショップ「結合共振型ワイヤレス電力伝送の基礎—電磁界からのアプローチ。電磁誘導との違いは?—」

アンテナ・伝播研究専門委員会では, 関連する研究専門委員会と連携して, 1994 年度から第二種研究会「アンテナ・伝搬における設計・解析手法ワークショップ」を46回にわたり開催してきました。このたび, アンテナ・伝播研究専門委員会では, 現在ホットな話題を取り上げるワークショップとして「アドバンスドワイヤレスシリーズ」を立ち上げ, その第1回として『無線電力伝送』に関するワークショップを開催致します。本ワークショップでは, 無線電力伝送分野において, 第一線で活躍する技術者が, 基礎から応用まで実例を挙げながら詳細に解説します。なお, 講演資料を製本し, 当日配布します。興味をお持ちの方の御聴講をお待ちしております。

講師: 菊間信良・平山 裕 (名工大)

講義概要

MIT によって提案された結合共振型技術をきっかけとして無線電力伝送に注目が集まっています。電磁誘導に基づくものは“qi”など, 既に実用化が始まっています。一方, 結合共振型については, 実用化のためには解決すべき課題が多いのが現状です。本ワークショップでは, 電磁誘導に基づく結合共振型無線電力伝送技術を紹介した上で, 結合共振型無線電力伝送の基礎を, 様々な観点から整理します。

講義内容: 本講義では, 以下の項目に沿って講習を進めます。

- (1) 電磁誘導としての無線電力伝送
- (2) 結合共振型無線電力伝送のための基礎
- (3) 結合共振型無線電力伝送の実際

日時 平成25年11月1日(金) 9:30~17:30 (予定)

会場 アットビジネスセンター東京駅八重洲通り501号室
(http://abc-kaigishitsu.com/tokyo_yaesudori/)

受講定員: 100名

受講料: 会員 20,000 円, 非会員 30,000 円 (資料代込, 学生料金は設定しておりません)

受講申込期間: 9月2日(月)~10月15日(火) (予定)

先着順です。満員になり次第, 締め切ります。期日前の申し込みは無効です。

受講申込方法: アンテナ・伝播研究専門委員会ホームページ上のフォームもしくは, 下記方法で電子メールにて申込んで下さい (郵送, 電話申込不可)。

<http://www.ieice.org/cs/ap/jpn/index.php?ws/aws1>

【電子メールによる受講申込先】

メールにて所属・氏名・申し込み種別（会員（要会員番号）・非会員）を ap_ac-aws1-appl@mail.ieice.org へお送り下さい。先着順に振込案内を返信致します。満席になり次第、締め切ります。

- ・会員価格での受講を希望される方は、受講申込に会員番号の記載が必要になりますので、御注意下さい。
- ・学会への入会手続き中の方は、学会へ提出した入会申込書のコピー等、入会を確認できる資料の提出をお願いします。入会に関する情報は下記の URL を御参照下さい。

電子情報通信学会入会案内：<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

【問合せ先】

第1回アドバンスドワイヤレスシリーズ実行委員会

総務幹事 石井 望（新潟大）

E-mail：ap_ac-aws1-secretary@mail.ieice.org

主催 アンテナ・伝播研究専門委員会

協賛 IEEE AP-S Japan Chapter

●第25回電気・電子機器のEMCワークショップ

委員長 多氣昌生（首都大東京）

電気・電子機器のEMCワークショップ（湯沢ワークショップ）も、皆様のおかげをもちまして今年で第25回を迎えることができました。本ワークショップは、日本におけるEMC開発の活性化を目的に、大学・官公庁・企業の研究者、技術者など、EMCに関心をお持ちの方々が一堂に会し、活発な議論・意見交換を行うことを目的として1989年に第1回が開催されました。それから四半世紀、産、官、学の第一線で御活躍されている多くの講師の方々をお迎えし、様々な視点からEMC問題への対応技術に関して御講演頂くとともに、参加者の皆様との意見交換や情報共有の場として活用されてまいりました。その一方で、これまで中核を担ってきたベテランの引退が現実となりつつある中、次世代への技術の継承や若手の育成が企業や大学における大きな課題の一つと考えられております。

そこで、今回の「電気・電子機器のEMCワークショップ」では、25周年の節目を機会に、ベテランと若手の交流を目的とし、従来の一般講演中心からパネル討論中心のプログラムとして、幾つかの技術テーマや日本のEMC技術者が今後進むべき方向性などについて、本音で議論して頂ける時間を多く御提供したいと考えております。このパネル討論を通じて、御参加頂く皆様には、ベテランの方々が長い年月をかけて培ったノウハウや奥義の一端を習得して頂けると考えております。また、従来どおり最近のトピックス（電安法の改正、無線電力伝送のEMC）や国際標準化動向（CISPR 32及びCISPR 35、スマートグリッドのEMC等）に関する一般講演も実施しますので、最新情報の収集も行って頂けます。

パネル討論につきましては、ベテランの方々や議論したいことや聞いておきたいことなどを、申し込みの際に御参加される皆様からあらかじめお伺いし、できるだけ皆様の御意向にあった討論が行えるようにしていきたいと考えております。多くの皆様に奮って御参加頂けますようよろしくお願い致します。

テーマ：無線電力伝送のEMCとサステナブルなEMCJを目指して（仮）

期日 平成25年11月7日（木）、8日（金）

会場 ホテル双葉（南魚沼郡湯沢町大字湯沢419 TEL〔025〕784-3357）

プログラム概要

7日（13:00～17:00）

特別講演：湯沢ワークショップ25周年を迎えて

セッション1：パネル討論「サステナブルなEMCJを目指して（仮）」

複数のサブテーマを設定しベテランと参加者の間で討論して頂きます。

8日（9:00～15:00）

基調講演：電気用品安全法改正に関して（仮）

セッション2：一般講演「EMC国際規格の動向」

CISPR 32, CISPR 35, スマートグリッドのEMC, 人体に近接して使用する無線設備のSAR測定の標準化と無線設備規則改正に関する講演を予定しています。

セッション3：一般講演「無線電力伝送とEMC（仮）」

◎プログラムにつきましては現在調整中です。詳細が決まり次第、次の会誌及びWebにて公開します。

【ワークショップ事務局】 EMCJ 幹事

秋山佳春（NTT環境エネルギー研究所）

〒180-8585 武蔵野市緑町3-9-11

TEL〔0422〕59-4220, FAX〔0422〕59-5680

E-mail：※申し込みの詳細が決まり次第、専用アドレスを開設します。

◎本ワークショップは、財団法人テレコムエンジニアリングセンター公益的調査研究・研究集会助成の支援を受けております。

主催 環境電磁工学研究専門委員会

●International Symposium on extremely advanced transmission technology (EXAT 2013)

委員長 鈴木正敏（KDDI研）

副委員長 淡路祥成（NICT）・宮本 裕（NTT）

盛岡敏夫（DTU）

日時 平成25年11月7日（木）9:30～18:00（予定）

8日（金）9:00～12:35（予定）

会場 札幌コンベンションセンター小ホール（2F）（札幌市白石区東札幌6条1丁目1-1。地下鉄札幌駅より南北線に乗り、大通駅で一度下車し、東西線に乗換え東札幌駅で下車。駅より徒歩約8分。<http://www.sora-scc.jp/index.html>）

概要

Nowadays the technology on spatial division multiplexing (SDM) has been intensively investigated over the world. EXAT community in JAPAN initiated the development of the technology in 2008 and has led the investigation of 3-M (multi-core, multi-mode, multi-level) technology. The objective of this symposium organized by EXAT is to discuss the current status and future view of SDM related technology. Plenary speakers and invited speakers will give us the latest topics on SDM and perspective for the future. Poster session is prepared for face-to-face discussion on hot topics between researchers. This is the 2nd EXAT symposium after EXAT 2008 held in Tokyo

プログラム

〔プレナリー講演〕

David Richardson (Univ. of Southampton)

Peter Winzer (Alcatel-Lucent)

Tetsuya Miyazaki (NICT)

〔招待講演〕

Yun C. Chung (KAIST)
Andrew D. Ellis (Aston Univ.)
Toshiharu Ito (NEC)
Sang B. Lee (KIST)
Eduardo Mateo (NEC America)
Kazuhide Nakajima (NTT)
Masataka Nakazawa (Tohoku Univ.)
Roland Ryf (Alcatel-Lucent)
Tsunetoshi Saitoh (Furukawa Electric)
Akihide Sano (NTT)
William Shieh (Univ. of Melbourne)
Masahito Tomizawa (NTT)
Takehiro Tsuritani (KDDI Lab.)
Huugo de Waardt (Eindhoven Univ. of Technology)
Makoto Yamada (Osaka Prefecture Univ.)

[ポスターセッション]

下記、募集要項を参照願います。

◎最新プログラムは、下記 EXAT ホームページにて確認願います。
懇親会：11月7日夕刻に開催予定です。参加に際しては、事前
申し込みが必要です。申し込み方法については、EXAT ホーム
ページにて御案内しております。

【ポスター募集要項】

最新の研究成果をアピールする場として、11月7日(木)に
ポスターセッションを開催します。3-M (multi-core, multi-
mode, multi-level) 技術に関するトピックスを中心に募集しま
すが、将来の超大容量通信につながる内容全ての投稿を歓迎しま
す。特に若手のみなさんからの積極的な応募をお待ちしていま
す。申込締め切りは9月末を予定しています。詳細は EXAT
ホームページを御参照下さい。

参加資格 特に関いません。

参加費/参加申込方法 下記ホームページにて御案内しておりま
す。EXAT ホームページ <http://www.ieice.org/exat/>

【問合先】 EXAT 研究会幹事

松尾昌一郎 (フジクラ)

TEL [043] 484-2197, FAX [043] 481-1210

E-mail : exat-contact@mail.ieice.org

主催 光通信インフラの飛躍的な高度化に関する時限研究専門委
員会

●第26回情報伝送と信号処理ワークショップ

実行委員長 坪井利憲 (東京工科大)

テーマ 「異分野融合による情報通信イノベーション」

本ワークショップは、開始以来4半世紀を超え、更に10年前
の2003年、21世紀の新たな出発点として北海道の登別の地から
その第一歩を踏み出し、北海道開催を続けて参りました。今回
は、この10周年を記念し、また、フロンランナーとして「新
たなイノベーション」に向かうために、情報通信の専門家に加
え、「異分野融合」というテーマを掲げ、情報科学、脳科学、ロ
ボット、航空機、エネルギーなど非常に幅広い分野の専門家の方
をお招きし、10周年に相応しい貴重なワークショップが実現し
ました。併催の通信方式研究会とともに、雄大な自然の中で活発
な議論をお楽しみ頂き、親交を深めて頂ければ幸いです。多数の
皆様の御参加をお待ちしております。

期日 平成25年11月13日(水)~15日(金)

会場 北海道登別温泉第一滝本館 (<http://www.takimotokan.co.jp/>)

TEL [0120] 940-489)

講演テーマ 「異分野融合による情報通信イノベーション」

以下のセッションを計画しています。なお、スケジュール等は
変更になる場合があります。最新情報は学会ホームページ
(<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>)にて御確認下さい。

13日 (13:00~17:30)

オープニング 坪井利憲 (東京工科大)

[第1セッション]

1. 次世代映像プラットフォームとMMT標準化動向
仲地孝之 (NTT)
2. ワイヤレス給電と磁界共鳴
居村岳広 (東大)
3. スマートグリッドの情報通信技術の標準化動向
小川雅晴 (三菱電機)
4. 超低遅延HPCインターコネクタのためのランダムトポロジ
鯉渕道紘 (NII)

[招聘講演1]

5. カオス脳理論からコミュニケーション神経情報学へ向けて
津田一郎 (北大)

[特別講演1]

6. 大規模非構造データからの超高速パターン発見：実世界から
の知識創出に向けて
有村博紀 (北大)

夕食・懇親会 (19:00~21:00)

14日 (9:00~12:00) CS研究会第一部

14日 (13:00~18:00)

[第2セッション]

1. M2M エリアネットワークの課題と第一次産業への適用
加藤正文 (富士通研)

[招聘講演2]

2. 無人機(UAS)の動向—開発状況及び運用ニーズ—
齋藤良太 (三菱重工)

[招聘講演3]

3. ロボットと暮らす社会に向けて—パートナーロボット開発の
現状と今後の展望—
玉置章文 (トヨタ自動車)

[招聘講演4]

4. コミュニケーションを達成する脳波リズム
川崎真弘 (筑波大/理研)

[特別講演2]

5. バイオテクノロジーへの進展
武笠幸一 (北大)

[フェロー講演]

6. Network から ICT へ—通信技術の進化と情報技術との融合—
石原智宏 (富士通研)

講師とフェローを囲んで(交流会)(20:30~)

15日 (9:00~12:00) CS研究会第二部

【参加申込】

参加申込締切 10月22日(火)

参加費(予稿集込): 学会員 25,000円, 非会員 30,000円,
学生 10,000円

宿泊費: 16,000円 (2泊/全参加者共通), 予稿集: 4,000円

参加申込手続き: 学会ホームページ (<http://www.ieice.org/cs/cs/jpn/cs/ws/>) の CS ワークショップ参加申込みフォームにてお
申込み下さい。宿泊、及び航空券手配につきましても CSWS
バックを御用意しておりますので、同フォームよりお申込み下
さい。会場案内等の詳細は上記学会ホームページを御覧下さい。

【参加費の銀行振込先】

振込先: みずほ銀行 (銀行コード: 0001)

金沢文庫支店 (店番号: 899) 口座番号: 1146610

CSWS 実行委員会 (シーエスダブルエスジツコウイソクカイ)

なお、振込通知(金額内訳を明記)を下記まで E-mail, FAX 等で行って下さい。

会計幹事 外村喜秀

E-mail: tonomura.yoshihide@lab.ntt.co.jp

FAX [046]-855-1284

【問合せ先】

松永統行 E-mail: m-matsunaga@bx.jp.nec.com

主催 情報伝送と信号処理ワークショップ実行委員会

通信方式研究専門委員会

◇ ◇ 第二種研究会発表募集案内 ◇ ◇

●第 52 回機能集積情報システム研究会

委員長 北神正人(千葉大)

本研究会は、ディベンドブルコンピューティング研究専門委員会の下での第二種研究会として開催します。本研究会は、平成3年に設置された「ウェーハスケール集積システム時限研究専門委員会」以降、複数の時限研究専門委員会の下での研究会を経て現在の研究会に引き継がれました。

近年の LSI 製造技術の進歩により、大規模かつ斬新な情報処理機能をシリコン・ウェーハあるいは大規模 IC チップ上に集積・実装する情報システム FIIS (Functional Integrated Information System) の構築技術が注目されています。そこで、本研究会では次に示す幅広い研究分野を対象としています。

まず、IC チップ製造段階では、チップの歩留まり解析、歩留まり向上設計法、レイアウト解析、フォールト・トレラント手法などが挙げられます。また、IC チップ上の情報システム構築 (SOC: System On Chip) 技術としては、IC 内部の欠陥検出法 (テスト手法や BIST: Build In Self Test) や誤り訂正・回復技術、故障を許容する高並列プロセッサや相互結合網の再構成方式、耐故障再構成可能情報システムの構築技術、動的再構成可能情報システムの構築技術、低消費電力技術などが挙げられます。更には、故障モデルの解析、信頼度解析、性能評価などの理論的解析手法も挙げられます。

本機能集積情報システム (FIIS) 研究会は、上述したような技術を、応用分野の枠を超えた高性能・高信頼性・低消費電力のマイクロ情報システム実現のための強固な枠組みであると捉えています。本研究会では上記内容を中心としていますが、それらにとらわれず、各種応用研究を含めた広い研究分野からの研究発表を歓迎致します。

今回の第 52 回機能集積情報システム研究会を下記要領で一般発表を募集致しますので、多数の申し込みをお待ちしております。

期日 平成 25 年 11 月 8 日 (金)

会場 山口大学常盤キャンパス (宇部市常盤台 2-16-1)

一般申込締切 9 月 17 日 (火)

発表を希望される方は、論文題目、著者、所属、連絡先を下記幹事までお知らせ下さい。

【申込・問合せ先】

難波一輝 (千葉大大学院融合科学研究科)

E-mail: namba@faculty.chiba-u.jp

主催 ディベンドブルコンピューティング研究専門委員会

●第 29 回量子情報技術研究会 (QIT29)

委員長 枝松圭一 (東北大)

研究会の内容

情報科学と量子力学を融合させた新しい分野、量子情報科学に関する研究会です。情報を担う物理系の量子力学的側面を積極的に生かした新しい情報処理原理の研究とそこから開かれる新しい学問体系の構築及び新しい情報技術パラダイムの創生を目指して、情報科学、物理学、光エレクトロニクスを含む理学、工学、数理科学に携わる研究者間に自由な討論の場を提供し、この研究分野の発展を図ることを目的としています。

第 29 回研究会を下記のように開催致します。現在この分野で活躍する研究者は勿論、自分の研究資産が何らかの形で使えそうだと予感している研究者・技術者など、広く関連する分野の研究者・技術者からの発表を募集致します。聴講のみの参加も歓迎致しますので、奮ってお申し込み下さい。

期日 平成 25 年 11 月 18 日 (月)、19 日 (火)

会場 早稲田大学西早稲田キャンパス 63 号館 2 階 04-05 会議室 (新宿区大久保 3-4-1)

発表募集分野 (申し込み状況によっては査読の可能性あり)

量子情報、量子計算、量子暗号など広く量子情報技術に関わる理論的研究、実験的研究、計算機科学的研究、数学的研究、及びその他関連分野。

定員: 150 名

参加費: 事前振込み 一般 6,000 円, 学生 1,000 円

当日会場払い 一般 7,000 円, 学生 2,000 円

(懇親会は別途)

研究会参加申込要領

参加申込は下記 Web にて受け付けます:

<http://staff.aist.go.jp/s-kawabata/qit/>

講演 (口頭、ポスター) の申込、予稿集原稿 PDF の提出は、

電子情報通信学会の Web システムを使用する予定。

口頭講演申込締切 10 月 4 日 (金)

ポスター講演申込締切 10 月 18 日 (金)

予稿原稿提出締切 10 月 18 日 (金)

参加申込締切 10 月 25 日 (金)

【問合せ先】

中里弘道 (早大)・湯浅一哉 (早大)・青木隆朗 (早大)・

和久井健太郎 (NICT)

E-mail: qit29@list.waseda.jp

主催 量子情報技術時限研究専門委員会

共催 応用物理学会; 量子エレクトロニクス研究会

●第 6 回情報ネットワーク科学 (NetSci) 研究会

委員長 会田雅樹 (首都大東京)

副委員長 中村 元 (KDDI)・成瀬 誠 (NICT)・

巳波弘佳 (関西学院大)

期日 平成 25 年 11 月 22 日 (金)

会場 関西学院大学大阪梅田キャンパス

講演申込締切日 9 月 13 日 (金)

第 6 回情報ネットワーク科学研究会では一般講演を募集致します。講演申込に必要な情報や連絡先など詳細については情報ネットワーク科学研究専門研究会のホームページに掲載致しておりますので、御参照下さい。

<http://www.ieice.org/~netsci/>

◎第6回情報ネットワーク科学研究会では招待講演3件：池田徹氏（埼玉大）、フェルディナンド・ペパー氏（NICT）、青野真士氏（東工大）も予定致しております。

【問合せ先】

井上 武（NTT）・久保 健（KDDI）・村山立人（富山大）・作元雄輔（首都大東京）

E-mail: netsci-admin@mail.ieice.org

主催 情報ネットワーク科学時限研究専門委員会

●第4回安全・安心な生活のための情報通信システム（ICSSSL）研究会

委員長 岡田和則（NICT）

副委員長 田村 裕（中大）・中野敬介（新潟大）

安全・安心な生活のための情報通信システム（ICSSSL）時限研究専門委員会では、第4回研究会を下記のとおり開催致します。安全・安心な生活に役立つ情報通信システムに関する研究について、幅広く御研究の発表を募集致します。奮って御応募下さいますよう、よろしくお願い致します。

私たちの日常生活は、大地震、豪雨、竜巻等の自然災害から、交通事故や誘拐等児童への犯罪まで、様々な脅威にさらされています。これらの被害を避ける、軽減する、更には、大規模災害時の復興や地域再生のために、情報通信システムが果たせる役割は大きいと考えられます。当研究会では、真に役立つ情報通信システムの実現のため、これらの情報通信技術の研究開発だけでなく、災害時に求められる情報の在り方などの社会科学分野などとの学際的な検討を目指しています。

対象分野：安全・安心な生活のための情報通信システムに関する以下の分野

- ・アドホックネットワーク構築技術・輻輳制御技術
- ・高信頼無線アクセス技術・コグニティブ無線技術
- ・広帯域無線伝送技術・ネットワークシステム設計技術
- ・最適配置技術 ・ITS 技術
- ・センサネットワーク構築技術 ・災害情報学
- ・災害時行動心理学 ・危機管理情報学

上記に限らず、幅広い分野からの研究発表を募集致します。

発表を御希望される方は、論文題目、著者名、所属、連絡先を、下記の本委員会幹事までお知らせ下さい。

期日 平成25年12月16日（月）、17日（火）

会場 中央大学後楽園キャンパス（文京区春日1-13-27）

発表申込締切：10月10日（木）

参加費：一般2,000円、学生1,000円

【申込先・問合せ先】

井ノ口宗成（新潟大）

TEL [025] 262-6115, FAX [025] 262-7050

E-mail: inoguchi@gs.niigata-u.ac.jp

川上 博（NTTドコモ）

TEL [046] 840-3870, FAX [046] 840-3781

E-mail: kawakamih@nttdocomo.co.jp

◎最新情報と過去の研究会プログラムを下記 Web ページに掲載致しておりますので御参照下さい。

<http://www.ieice.org/ess/icsssl/>

主催 安全・安心な生活のための情報通信システム時限研究専門委員会

本会発行新刊案内

非線形システムは解析から設計・利用の時代に

非線形システムが社会を動かす

並木淳治 著

B5判並製 定価 3,150円(税込)

人間的日常の感情から、“ファッション、流行、流言飛語、パニック”などの発散的現象や、“起業、投資、マネージメント”などの実際の経済活動等、ほとんどの現象は100%人間の相互干渉性が作り出す現象である。要素間干渉を完全に排した線形システムでは表現不可能な非線形システムこそが、私たちを取り囲むほとんどの社会、経済、精神活動を説明・制御する源であるとの立場から、まずそのモデル化、解析手法について分かりやすく説明し、それらの現象の解析評価、そして特に設計・制御・利用を可能にする手法を提示し、一部はExcelプログラム添付で実感させることを試みた。社会システムに興味を持つ全読者へ、《内容目次》ダイナミックシステムのモデル化／線形システムの功罪（非線形システムとは）／超巨大システムの社会的安定の根源／古典的非線形システムを読み解く／これからの非線形システムはこう操れ／見え出した非線形飼ひ慣らし手法／エージェント移動をつかさどる多次元セルオートマトンの提案

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員、学生員等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費500円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 **電子情報通信学会**

● 2013年ソサイエティ大会開催案内 ●

本ソサイエティ大会は、基礎・境界、通信、エレクトロニクスの3ソサイエティが合同で開催する大会です。奮って参加されま
すようお願い致します。会員以外の方の御参加も歓迎致します。

期 日 2013年9月17日(火)~20日(金)
会 場 福岡工業大学(福岡市)
(会場構内は駐車禁止ですので公共機関を御利用下さい)
交 通 JR「福工大前駅」は構内に直結しており快速も停車。
福岡空港→(地下鉄5分)→博多駅→(JR鹿児島本線
(快速)13分)→福工大前駅。

2013年ソサイエティ大会ホームページ
http://www.toyoag.co.jp/ieice/S_top/s_top.html

主なイベント内容：上記ホームページにて御覧頂けます。

◎ 聴講参加・冊子講演論文集予約について(予定)
<聴講参加>(本会会員：不課税、本会会員外：消費税込)
☆2011年ソサイエティ大会から、学生の聴講参加費を値下げ致
しました。学生の皆様、奮って御参加下さい。

[当日申込み(DVD含む)]

会 員	名誉員・正 員	10,000 円
	学生員(DVDなし)*	無料
	学生員(DVD購入)**	3,000 円
	60歳以上の会員***	3,000 円
非会員	社会人	20,000 円
	学生(DVDなし)	3,000 円
	学生(DVD購入)	6,000 円

※凡 例
* DVDを必要とされない「学生員」は無料で聴講できますの

で事前申込みの必要はございません。総合受付までお越し頂
ければ参加章をお渡し致します。(会員証を提示して頂きます
ので御持参下さい。)

** 会場で会員証を提示して下さい。
***年金以外の収入がない方が対象となります。
[法人価格申込み]

1. DVD1枚(合本付)	90,000 円
2. DVD1枚	60,000 円

☆この機会に入会されますと、会員扱いとさせていただきます。
☆電気学会、照明学会、映像情報メディア学会、情報処理学会の
会員及び本会と協定を締結した海外の学会の会員は会員扱いと
なります。

なお、情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケー
ショングループにつきましては、下記のFIT(情報科学フォー
ラム)2013の開催案内を御覧下さい。http://www.ipsj.or.jp/
event/fit/fit2013/index.html

今後の大会予定
2014年総合大会
会 期：2014年3月18日(火)~21日(金)
会 場：新潟大学(新潟市)

2014年FIT(情報科学技術フォーラム)
会 期：2014年9月3日(水)~5日(金)
会 場：筑波大学(つくば市)

2014年ソサイエティ大会
会 期：2014年9月23日(火)~26日(金)
会 場：徳島大学(徳島市)



●…………… 支 部 大 会 ……………●

——平成 25 年度電気・情報関係学会 北海道支部連合大会——

期 日 平成 25 年 10 月 19 日 (土), 20 日 (日)
会 場 室蘭工業大学 (室蘭市水元町 27-1)
特別講演 日時: 平成 25 年 10 月 19 日 (土) 16:00~17:00
会場: 室蘭工業大学 N401 教室
演題: 利雪最前線 2013 年秋
講師: 媚山政良 (室蘭工業大学名誉教授)

一般講演
講演形式 口頭発表, 詳細は大会 HP を参照願います。
講演者 主催学会の会員に限るが, 共著者に会員が含まれている
場合には非会員の講演も認める。なお, 当支部所属に限
らない。
講演内容 電気及び情報に関連する最近行った研究及び調査の報
告, 新しい企画及び工事等の報告, 新製品の紹介等。
聴講のみの参加費 一般: 3,000 円, 学生: 無料
問合せ TEL [011] 706-6475, FAX [011] 706-6478 (原)
rengoutaikai@hokkaido.ieice.org
http://www.hokkaido.ieice.org/shibukai/
懇親会 日時: 平成 25 年 10 月 19 日 (土) 17:30~19:00
会場: 室蘭工業大学生協食堂
会費: 一般 3,000 円, 学生 1,000 円
主 催 電子情報通信学会, 電気学会, 電気設備学会, 映像情報
メディア学会, 照明学会各北海道支部/IEEE 札幌支部
後 援 室蘭工業大学

——平成 25 年度 (第 64 回) 電気・情報関連学会 中国支部連合大会——

日 時 平成 25 年 10 月 19 日 (土) 9:00~17:00
会 場 岡山大学 (岡山市北区津島中 1-1-1)
聴講料 無料 (多数の聴講をお待ちしています。)
一般講演
時 間 9:00~12:00, 14:00~17:00 (予定)
内 容 最近行った研究, 計画及び工事報告, 現地試験報告,
新製品紹介等
会 場 一般教育棟 B, C, D, E 棟
特別講演 午後一般講演の前に特別講演を行います。
時 間 13:00~13:45
演 題 酸化鉄材料の新展開一備中吹屋ベンガラから微生物由
来酸化鉄まで一
講演者 高田 潤 (岡山大)
会 場 一般教育棟 A 棟 A21 (定員 300 名)
懇親会 講演終了後, 参加されました皆様の親睦と交流を深める
ため, 懇親会を開催します。多数の皆様の御参加をお願
い致します。
時 間 17:20~19:00
会 場 岡山大学生協ピーチユニオン (津島キャンパス内)
会 費 (事前予約) 一般 3,000 円, 学生 500 円
(当日受付) 一般 3,500 円, 学生 1,000 円

※会費は当日, 大会総合受付にてお支払い下さい。
事前予約: 大会 HP <http://rentai.ccsv.okayama-u.ac.jp/> からお
申込み下さい。〔締切 10 月 11 日 (金)〕
交通案内 学内には駐車場がありませんので, 公共交通機関の御
利用をお願いします。

JR 岡山駅: 岡電バスを利用
・岡山駅西口バスターミナル 22 番乗り場から【47】系統「岡
山理科大学」行きに乗車。「岡大入口」, 「岡大西門」, 「福居
入口」または「岡大東門」で下車 ※所要時間約 7~10 分
・岡山駅東口バスターミナル 3 番乗り場から【17】系統「妙善
寺」行に乗車。「岡大東門」, 「岡大西門」または「福居入口」
で下車※所要時間約 30 分
JR 岡山駅: 西口広場 2F タクシー乗り場から約 7 分
JR 津山線「法界院」駅: 徒歩約 10 分
大会全般に関する問合せ
電気・情報関連学会中国支部連合大会実行委員会
〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
岡山大学大学院自然科学研究科 (担当: 塚田啓二)
rentai@cc.okayama-u.ac.jp (お問合せはできるだけメールに
てお願いします) TEL & FAX [086] 251-8129
主 催 電気・情報関連学会各中国支部 (電子情報通信学会・電
気学会・照明学会・映像情報メディア学会・情報処理学
会・電気設備学会)

——平成 25 年電気関係学会関西連合大会——

期 日 平成 25 年 11 月 16 日 (土), 17 日 (日)
会 場 大阪電気通信大学寝屋川キャンパス J 号館 (寝屋川市初
町 18-8, 京阪本線寝屋川市駅下車 徒歩 7 分)
ポスターシンポジウム 「関西からはばたく最新技術」
期日: 11 月 16 日 (土) 11:20~13:20 (ディスカッ
ションタイム)
会場: J 号館 3, 4 階
・平成 24 年度奨励賞・優秀論文発表賞受賞のテーマ
を中心に開催します。
一般講演 期日: 11 月 16 日 (土) 午前
11 月 17 日 (日) 午前・午後
会場: J 号館 3, 4 階
題目 G1. 電気理論・電気物理・レーザ応用
G2. 計測・センサ・マイクロマシン
G3. 制御・システム
G4. 電気機器・産業応用/パワーエレクトロニクス
G5. 電力・エネルギー
G6. 電気電子材料・デバイス
G7. 電磁波・アンテナ・伝搬・無線通信システム・無線
通信ネットワーク
G8. 光エレクトロニクス・光通信システム・光通信ネッ
トワーク
G9. 電子回路・集積回路・ハードウェア設計
G10. 情報基礎・通信基礎・アルゴリズム
G11. 情報処理システム
G12. 照明
G13. 画像処理技術
G14. 映像メディア関連技術
G15. 電気設備

学会の垣根を越えた活発な討論のために全ての一般講演をポスターセッション（2分間の概要発表付）にて行います。

特別講演

期日：11月16日（土） 13：30～15：20

会場：J号館6階小ホール

題目：①右脳を活用した実学教育の試み 橘 邦英（阪電通大）
②蓄電技術が創るスマートグリッド

花房 寛（パナソニック）

パネルディスカッション

テーマ：センサネットワークが変える新しい屋内空間

日時：11月16日（土） 15：30～17：30

会場：大阪電気通信大学 J号館6階小ホール

司会：阪口 啓（阪大）

パネリスト：板垣一美（Enocean GmbH社）、木内一也（京セラ）、辻 宏之（NICT）、羽生 広（日立）

ブース出展 学生と企業・大学との交流を目的として企業及び大学からのブース出展が行われます。

大会参加費 事前登録：正会員4,000円、准員・学生員・留学生（非会員学生・院生含む）3,000円、非会員（学生・院生を除く）6,000円

当日登録：正会員6,000円、准員・学生員・留学生（非会員学生・院生含む）4,000円、非会員（学生・院生を除く）8,000円（大会参加費は、主催学会会員は不課税、非会員は消費税込みです。大会参加費にはプログラム・講演論文集（CD）の代金が含まれます）。

大会HPから10月21日（月）までに参加申込み・登録をして下さい。期間内に大会参加費の払い込みも済ませますと、事前登録の割引料金が適用されます。また、申込み時に発行される登録ID及びパスワードを用いて、11月5日（火）から大会HP経由で事前に論文を閲覧することもできます。お支払いは、郵便局備付けの青色振込用紙（加入者名：電気関係学会関西連合大会 口座番号：00930-1-172265）に、申込み時に発行される登録IDと参加者（登録者）氏名を必ず明記した上で、送金して下さい。詳しくは、大会HPを御覧下さい。

大会参加費を事前に送金していない方は、入場の際、総合受付で当日登録料金をお支払い下さい。従来どおりの当日参加も受付けます。

懇親会 日時：11月16日（土） 18：00～19：30

会場：J号館1階食堂

会費：一般、学生5,000円（事前登録）、6,000円（当日参加）

プログラム・講演論文集（CD）

プログラム・講演論文集（CD）の代金は、大会参加費に含まれています。

プログラム・講演論文集（CD）、大会参加章及び領収書等は、大会当日、受付にてお渡しします。

奨励賞表彰

会員の育成と当学会の発展を目的として、優秀な講演発表を行った新進の研究者・技術者に下記の賞を贈呈します。

- (1) 連合大会奨励賞
- (2) 電気学会優秀論文発表賞
- (3) 電子情報通信学会関西支部優秀論文発表賞
- (4) 映像情報メディア学会関西支部優秀論文発表賞
- (5) 照明学会関西支部優秀論文発表賞

なお、(1)については全一般講演部門を対象とし、(2)～(5)については各学会関係の一般講演部門を対象とします。また(1)、(2)、(5)については、講演発表時に35歳未満の方を対

象とします。各賞の詳細については大会HPを御覧下さい。

問合せ info2013@kjciece.org

HP <http://kjciece.org/kjciece2013>

主催 電子情報通信学会・電気学会・照明学会・映像情報メディア学会・電気設備学会各関西支部

共催 大阪電気通信大学

協賛 IEEE Kansai Section

●…… 講演会・講習会・学術研究集会等 …… ●

信越支部

●講演会

日時 平成25年9月27日（金） 14：40～16：10

会場 新潟大学工学部202講義室

題目 生体システムモデリング—モデルを使って生体を探る—

講師 福岡 豊（工学院大）

問合せ 信越支部事務局 TEL〔026〕269-5261

その他 聴講は無料、本会会員以外の方の聴講も歓迎

主催 電子情報通信学会信越支部

東海支部

●平成25年度第2回学生会講演会

日時 平成25年9月24日（火） 14：40～16：10

会場 岐阜工業高等専門学校多目的ホール（本巢市上真桑2236-2, <http://www.gifu-nct.ac.jp/about/access.php>）

演題 計算電磁気学とナノフォトニクス・シミュレーション

講師 田中嘉津夫（岐阜大学名誉教授）

参加費 無料

参加資格 会員以外の方でも入場できます。

その他 詳しくは東海支部HP：<http://www.ieice.org/tokai/>を御覧下さい。

主催 電子情報通信学会東海支部

関西支部

●IEICE関西支部ICT基礎講座「機械学習の基礎と応用」

近年の情報通信関連開発では、必要とされる技術の多様化と開発期間の短縮により、若手技術者がOJTを通して基礎知識や基礎技術を習得することが難しくなっていると指摘されています。また、これまで予想されなかった分野で情報通信技術が適用されることも増えており、大学・大学院教育で身に付けた技術分野を越えた多彩な技術を取得する必要性が高まっています。

このような状況を鑑み、電子情報通信学会関西支部では、情報通信に関する様々な技術を集中講義形式で学習できる講座「IEICE関西支部ICT（Information and Communication Technology）基礎講座」を開講しています。本講座は基礎的な知識や技術に重点を置きながら、基礎から展開して最先端技術へ至るまで講義・実習することを目的としています。各講座の受講者数を10名程度の少人数に絞ることで講師との双方向コミュニケーションを可能とし、短期間で先端技術の基礎を習得することを狙っております。今年度の第3回の講座として「機械学習の基礎と応用」を下記のとおり開講致します。幸いなことに、これまで開催された講座は、受講生から大変高い評価を頂いております。皆様の積極的な受講をお待ちしております。

日時 平成25年10月3日（木） 9：40～16：50

会場 中央電気倶楽部 316 号室 (大阪市北区堂島浜 2-1-25, ドージマ地下センター南詰を右側に上がり, 右へ約 50 m, 左側のレンガ造り建物)

内容 ビッグデータの解析ツールである機械学習について, 教科書に沿って解説するとともに, 最新の話題についても紹介します。シラバスは下記 URL から御覧頂けます。
<http://www.ieice.org/kansai/ict/>

講師 池田和司 (奈良先端大)

受講料 会員:8,000 円, 学生:2,000 円, 非会員:20,000 円 (会員, 非会員共に消費税込み)

募集人数 5 名以上, 最大 15 名 (開講 2 週間前までに申込み人数が 5 名に達しない場合, 開講しないこともあります)

申込方法 関西電気関連学会事務センターに電子メールで申込み下さい。

問合せ 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会関西支部

●電気四学会関西支部講演会及び見学会「三菱重工業(株)高砂製作所・(株)神戸製鋼所加古川製鉄所」

今回, 発電プラントとして世界最高クラスの熱効率を誇る高性能ガスタービンの製作現場の見学, 並びに鉄鋼製品を生産する製鉄所の高炉や圧延工場の見学を企画しました。映像情報メディア学会関西支部では, 分野を超えたこのような見学会を行うことで, 通常ではなかなか目にする事のできない重工業の高度な技術に触れて頂けたらと考えます。奮って御参加下さい。

日時 平成 25 年 10 月 7 日 (月) 9:00~18:00

見学先 三菱重工業(株) (高砂市荒井町) (御遠慮頂く一部企業があります)

(株)神戸製鋼所加古川製鉄所 (加古川市金沢町)

集合時間 9:00 (時間厳守, 晴雨不問, なおスカート・ヒールの高い靴は御遠慮下さい)

集合場所 JR 神戸駅中央口改札前

行程 9:10 神戸駅出発 (バス)
10:10 三菱重工業(株)高砂製作所着
10:15~10:45 高砂製作所概要説明
10:45~12:15 工場見学 (見学後質疑応答)
高性能ガスタービン製作現場
—その他 (予定)
12:15~13:00 昼食 (三菱重工高砂クラブ)
13:00~13:30 バスにて移動
13:30 (株)神戸製鋼所加古川製鉄所着
13:30~14:00 加古川製鉄所概要説明
14:30~17:00 加古川製鉄所見学 (見学後質疑応答)
高炉—圧延工場—その他 (予定)
18:00 JR 神戸駅着 解散

募集人員 40 名 (定員になり次第, 締め切らせて頂きます)

参加費 3,000 円 (交通費, 昼食付き) 当日徴収します。
(全員 3,000 円を徴収しますが, 内訳として会員が非課税, 非会員が消費税込みです)

申込方法 参加希望者は氏名・年齢・所属・電話番号等連絡先を映像情報メディア学会関西支部の HP (<http://www.ite.or.jp/kansai/>) からお申込み下さい。

なお, E-mail でも受付致しますので下記にお申込み下さい。

申込先 〒530-0004 大阪市北区堂島浜 2-1-25
中央電気倶楽部内 関西電気関連学会事務センター
TEL [06] 6341-2529, FAX [06] 6341-2534
denki4g@ares.eonet.ne.jp

主催 電子情報通信学会・映像情報メディア学会・電気学会・照明学会各関西支部

●電気四学会関西支部「准員及び学生員のための講演会 (前半)」

例年, 電気四学会関西支部では, 平素は聴講できない他大学並びに一般企業の諸先生方の講義を交換講義の形で聴講できるように, 定期講演会を開催しています。

平成 25 度の前半分は, 下記により開催しますのでこの機会を生かして自由に御聴講下さるよう, 御案内申し上げます。

- 10 月 18 日 (金) 14:30~16:30
テーマ: 電気電子系学生のための英語処方
講師: 馬場吉弘 (同志社大)
会場: 和歌山工業高等専門学校 (大講義室)
TEL [0738] 29-8367
- 10 月 18 日 (金) 14:40~16:10
テーマ: 気象用フェーズドアンレーダの研究開発
講師: 牛尾知雄 (阪大)
会場: 大阪電気通信大学(寝屋川キャンパス J 号館 J312 教室)
TEL [072] 820-9047
- 10 月 22 日 (火) 14:25~15:55
テーマ: セキュリティとその課題
講師: 塩田広美 (元日本ヒューレットパッカーD)
会場: 舞鶴工業高等専門学校 (視聴覚教室)
TEL [0773] 62-8962
- 10 月 30 日 (水) 14:40~16:10
テーマ: 脳神経とのインタフェース技術
講師: 林田祐樹 (阪大)
会場: 明石工業高等専門学校 (階段教室)
TEL [078] 946-6120
- 11 月 1 日 (金) 15:10~16:40
テーマ: 分散アルゴリズム入門
講師: 片山喜章 (名工大)
会場: 神戸大学 (工学部)
TEL [078] 803-6092
- 11 月 12 日 (火) 13:00~14:30
テーマ: 光と電子の融合に向けて
—シリコンフォトリクスでオンチップサーバを目指す—
講師: 中村隆宏 (技術研究組合)
会場: 大阪大学 (基礎工学国際棟シグマホール)
TEL [06] 6850-6301
- 11 月 12 日 (火) 13:10~16:25
テーマ: LED 照明と再生可能エネルギーの動向
講師: 高松篤子 (きんでん)
会場: 同志社大学 (京田辺キャンパス恵道館 106 教室)
TEL [0774] 65-6324

—— 本会・ソサイエティ・グループ・
研究専門委員会等主催・共催 ——

●HCG シンポジウム 2013～人々の生活を幸せで豊かにしていく
ICT とコミュニケーション～

ヒューマンコミュニケーショングループ (HCG) シンポジウム
2013 への投稿の御案内 HCG シンポジウム運営委員会副委員長
(HCG 企画幹事) 大塚真吾 (神奈川工科大)

電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループ
(HCG) として、毎年 12 月の恒例となりました HCG シンポジウム
への投稿の御案内です。2010 年の宮崎シーガイア、2011 年の
高松市サンポートホール高松、2012 年の熊本市くまもと森都心
(しんとしん) プラザを経て、2013 年は松山市総合コミュニティ
センターにおいて開催されます。

会 期 平成 25 年 12 月 18 日 (水)～20 日 (金)

会 場 松山市総合コミュニティセンター

(<http://www.cul-spo.or.jp/comcen/>)

発表申込締切 平成 25 年 9 月 4 日 (水) 24:00 JST

発表原稿締切 (予定): 10 月 18 日 (金) 24:00 JST

副 題 一人々の生活を幸せで豊かにしていく ICT とコミュニ
ケーション～

招待講演 ①京都大学農学研究科 伏木 亨 (12/18 午後に講演
予定)

講演内容: おいしさは、食べ物と人間の間の中にだけ存在する
バーチャルで脆弱な感覚である。おいしさに関わる要因
は無数にあるが、人間は食物を口に入れた後すぐにおい
しさを判断できる。膨大な事項が関与しているとは考え
にくい。数個の項目がポジティブな判断に関与している
と思われる。そこで、おいしさの主な要素を整理した。
本発表では、まず、おいしさの四つの要素についてそれ
ぞれを解説する。更に、このおいしさの構造の仮説を検
証する目的で統計学的な考察を加える。この仮説をおい
しさの評価に応用する目的で、要素をできる限り簡略化
したモデルを考えた。生存のための生理、快楽を求める食、
人間固有の食文化、情報の四つにおいしさを分類した。
回帰分析を用いた客観的評価についても触れてみたい。

招待講演 ②東京大学生産技術研究所 豊田正史 (12/19 午後に
講演予定)

講演タイトル「大規模 Web データと実世界データの融合 (仮)」

発表申込や最新情報につきましては下記を御覧ください。

<http://2013.hcg-symposium.org/>

HCG シンポジウムは、ヒューマンコミュニケーショングル
ープに属する一種・二種研究会はもとより、その他の分野とも研究
交流を横断的かつ濃密に行うために、今回は全ての口頭発表者
に対してインタラクティブ発表枠を付与することに致しました。

- ・インタラクティブ発表では発表用パネルにポスターを貼って頂
きます。
- ・電源を用意しますのでノート PC を用いたデモ等を行うことが
できます。
- ・口頭発表者によるインタラクティブ発表は必須ではありません
が、できるだけコアタイムには御参加下さい。
- ・インタラクティブ発表のみの参加者も募集しております。萌芽
的な研究や研究プロジェクトの紹介などに御活用下さい。

今年からの新たな試みとして「オーガナイズドセッション」を
行います。これは、ある特定のトピックに関する研究発表を一つ
のセッションに集め、活発に議論を行うセッションになります。

今年には以下の三つのセッションを企画しております。その分野の
専門家との議論を行うことができますので、積極的な投稿をお待
ちしております。各オーガナイズドセッションの募集内容や投稿
方法の詳細につきましては Web ページ (<http://2013.hcg-symposium.org/>) を御覧ください。

オーガナイズドセッション I (開催日未定)

タイトル: 「コミック工学」

オーガナイザ: 松下光範 (関西大)

内容: タブレットやスマートフォン等、デジタル端末で読むこと
のできる電子書籍が急速に普及しつつある。とりわけ、デ
ジタルコミックはその売上げの 8 割を占める主力コンテン
ツとなっている。デジタルコミックは、従来の紙媒体のコミ
ックと異なり物理的な制約がないため、従来のコミックの
枠に捉われない表現や利用が可能である。しかし現状では、
多くの作品は単に紙媒体のコンテンツをスキャナで取
り込んでそのままデジタル化した静的なものであり、デ
ジタルコミックの可能性を十分に生かせる状況にはない。
本オーガナイズドセッションは、こうした現状を打破しデ
ジタルコミックの可能性を追求するための技術やアプリ
ケーションを醸成する場として企画された。様々な確度か
ら電子コミックを対象とした研究者が一堂に会することで、
研究推進のためのブレイクスルーや相乗効果が期待される。

オーガナイズドセッション II (開催日未定)

タイトル: 「ユーザセンタードデザインとデザイン思考」

オーガナイザ: 大野健彦 (NTT)

内容: 情報化社会の成熟に伴ってユーザの行動や価値観が多様化
し、新規性の高い技術を中心とした従来型のサービス開発
手法が通用しなくなり始めたと言われて久しい。このた
め、サービスやプロダクトを人間中心かつ創造的に創り出
す、ユーザセンタードデザインやデザイン思考が、近年大
きな注目を浴びている。しかしながら、その手法が十分に
確立したとは言えず、大学、企業等において試行錯誤の取
組みが続いている。例えばユーザ観察法、サービスアイ
デアの創出及び洗練化の手法、ユーザ評価手法などの個々の
方法論に加え、それらを組合せてサービスを創り出す全体
のプロセスは、発展途上である。対象とするサービスや
プロダクトの種類によって、適する方法が異なることも考
えられる。更には実際にこれらを実施することで分かる手法
の難しさや課題も多様である。本セッションでは、様々な
取組みやそこで得られた課題を共有し、議論を行うこと
で、本分野の発展を目指す。本セッションでは、以下の
テーマに加えて、広くユーザセンタードデザインとデザ
イン思考に関する発表を募集する。必ずしも研究発表である
必要はなく、具体的な取組み事例の紹介も歓迎する。当日
は発表に加えて、そこで挙げられた課題を整理し、参加者
全員によるワークショップを実施して目指すべき方向性を
議論することを予定している。

オーガナイズドセッション III (開催日未定)

タイトル: 「空気メディアの現状と展望」

オーガナイザ: 柳田康幸 (名城大)・上岡玲子 (九大)

内容: 視聴覚メディアや、機械的接触を伴う力・触覚メディアに
続き、空気を媒体とするメディア技術の研究開発が進めら
れている。本セッションでは、香り提示や空気流を使った触
覚刺激、あるいはそれらの組合せなど、空気を使った柔らか
い情報提示技術の現状について俯瞰するとともに、これら
の技術の進むべき方向性についてディスカッションを行う。

本シンポジウムでは、発表（口頭発表／インタラクティブ発表）で優れた発表に対し下記の賞を設ける予定です。

- ・学生口頭発表賞
- ・最優秀インタラクティブ発表賞（一般学生問わず）
- ・優秀インタラクティブ発表賞（一般）
- ・学生優秀インタラクティブ発表賞

参考までに、2012年の熊本市くまもと森都心（しんとしん）プラザの開催時には、オーラル発表60件、インタラクティブ発表33件が寄せられ、参加者は191名でした。皆様の御投稿御発表を心からお待ちしております。

シンポジウムに引き続いて、電子情報通信学会論文誌「基礎・境界:A」においてヒューマンコミュニケーション特集号が予定されております。シンポジウム発表後にブラッシュアップした研究を本特集号に御投稿頂ければ幸いです。また、シンポジウムでの優秀な論文につきましては、本特集号への推薦論文として推薦致します。情報保障の御案内：視覚や聴覚等に障がいを持った方でも参加・発表できるように情報保障を行います。詳しくは下記を御覧下さい。

<http://2013.hcg-symposium.org/>

- 主催 ヒューマンコミュニケーショングループ
共催 ヒューマンインタフェース学会、映像情報メディア学会、計測自動制御学会、情報処理学会、日本バーチャリアリティ学会、日本音響学会、日本顔学会、日本認知科学会、日本認知心理学会（依頼中も含む）

●2013年度画像符号化シンポジウム（PCSJ2013）／

2013年度映像メディア処理シンポジウム（IMPS2013）

画像符号化シンポジウム（PCSJ）と映像メディア処理シンポジウム（IMPS）は、昨年度に引き続き湯河原にて、以下のよう
に開催することとなりました。また、シンポジウムでの発表を中心
に、電子情報通信学会和文論文誌Dにおいて特集号（今回から論文も受け付けます）を計画しておりますので、是非御投稿、御参加頂きたく御案内申し上げます。

期 日 平成25年11月6日（水）午後～8日（金）
会 場 ニューウェルシティ湯河原（熱海市泉107、TEL〔0465〕63-3721 <http://www.welcity-yugawara.co.jp/>）

交 通 東海道線湯河原駅から車で5分または路線バスで10分
講演内容

（1）画像符号化シンポジウム

符号化基礎／画質評価、静止画像符号化、動画像符号化、標準方式関連技術、動き補償、可変長／エントロピー符号化、領域分割／特徴抽出、オブジェクトベース／モデルベース符号化、ステレオ／多眼／三次元画像符号化、インターネットビデオ、モバイルビデオ、符号化ハードウェア／ソフトウェア、新しい符号化、符号量制御、その他

（2）映像メディア処理シンポジウム

映像処理基礎、三次元画像技術、超解像／高精細画像（4K/8K等）、人工現実感、複合現実感、映像データベース、ネットワーク映像技術、映像生成/CG/制作、人物画像の処理／認識、擬人化エージェント、HCIのための画像処理／認識、映像処理VLSI、インテリジェントセンサ、画像再構成／復元、動画像処理、色彩処理、ITS、電子透かし、その他

（3）特別講演、パネル討論等

申込締切 割引料金※で聴講参加される場合 10月23日（水）
※10月24日以降の聴講申込は若干高額となります。
原稿締切 10月2日（水）（予定）（講演希望者には、申込締切

後に実行委員会から投稿案内をお送りします。）

問合せ NTT サイバースペース研究所画像メディア通信プロジェクト 藤井 寛
〒239-0847 横須賀市光の丘1-1 Y-517A
pcsj-imps2013@lab.ntt.co.jp

なお、詳細な開催案内、申込方法などに関する情報を以下のWebサイトで提供する予定です。 <http://www.pcsj-imps.org/>

主 催 電子情報通信学会；画像工学研究専門委員会
共 催 映像情報メディア学会；メディア工学研究委員会・画像電子学会・情報処理学会；オーディオビジュアル複合情報処理研究会

——本 会 が 協 賛 等 の も の——

（※は参加費割引あり）

2013年日本液晶学会講演会・討論会

期 日 平成25年9月8日（日）～10日（火）
会 場 大阪大学豊中キャンパス（豊中市）
問合せ 日本液晶学会事務局
TEL〔03〕5925-2840、FAX〔03〕5925-2913
jlcs@adthree.com <http://jlcs.jp/>

2013年度マイクロメカトロニクス学術講演会

期 日 平成25年9月10日（火）
会 場 中央大学理工学部後楽園キャンパス（東京都文京区）
問合せ 中央大学理工学部精密機械工学科 土肥徹次
FAX〔03〕3817-1820
dohi@mech.chuo-u.ac.jp <http://hij-n.com/>

第23回マイクロエレクトロニクスシンポジウム秋季大会MES2013（※）

期 日 平成25年9月12日（木）、13日（金）
会 場 大阪大学吹田キャンパス（吹田市）
問合せ エレクトロニクス実装学会事務局 MES係
TEL〔03〕5310-2010、<http://www.e-jisso.jp/>

マイコン回路デザインコンテスト2013

期 日 平成25年9月15日（日）、11月23日（土）（計2回）
会 場 神奈川工科大学（厚木市）
問合せ 中津原克己（神奈川工科大学工学部電気電子工学科中神研究室） TEL & FAX〔046〕291-3276
knakatsu@ele.kanagawa-it.ac.jp

第79回ロボット工学セミナー「力覚を利用したロボット制御の実際」(※)

期 日 平成25年9月17日（火）
会 場 中央大学後楽園キャンパス（東京都文京区）
問合せ 日本ロボット学会事務局 水谷
TEL〔03〕3812-7594、FAX〔03〕3812-4628
seminar@rsj.or.jp <http://www.rsj.or.jp/seminar>

スマートテクノロジーフォーラム（STF2013）、見学会

期 日 平成25年9月26日（木）、27日（金）
会 場 電気通信大学総合研究棟（調布市）
問合せ 目黒会 STF2013事務局 担当 乙津
TEL〔042〕482-3812、FAX〔042〕482-3845
otsu@megrokai.or.jp <http://megurokai.jp/>

第8回超分子研究会講座「未来の自動車を支える超分子」(※)

期日 平成25年10月11日(金)
会場 上智大学中央図書館棟(東京都千代田区)
問合先 高分子学会同講座係
TEL [03] 5540-3770, FAX [03] 5540-3737
<http://www.spsj.or.jp/entry/>

大量データに基づく未来社会のデザイン「情報学が拓くヘルス & ウェルネス」

期日 平成25年10月15日(火)
会場 学術総合センター一橋講堂(東京都千代田区)
問合先 科学技術振興機構 根岸寛明
TEL [03] 3512-3538, FAX [03] 3512-3548
negishi@info.jst.go.jp <http://info.jst.go.jp/index.html>

第362回講習会「3Dモデルの価値を引き出す活用法—もっと使って一歩先へ!」(※)

期日 平成25年10月18日(金)
会場 中央大学後楽園キャンパス(東京都文京区)
問合先 精密工学会
TEL [03] 5226-5191, FAX [03] 5226-5192
http://www.jspe.or.jp/event/kosyukai_form.htm

東京大学VDEC第8回D2Tシンポジウム

期日 平成25年10月24日(木)
会場 東京大学武田先端知ビル(東京都文京区)
問合先 東京大学大規模集積システム設計教育研究センター(VDEC) 小松 聡, TEL [03] 5841-0233
FAX [03] 5841-1093 komatsu@vdec.u-tokyo.ac.jp
<http://www.vdec.u-tokyo.ac.jp>

第26回秋季信頼性シンポジウム(※)

期日 平成25年11月5日(火)
会場 日本科学技術連盟千駄ヶ谷本部ビル(東京都渋谷区)
問合先 日本信頼性学会事務局 FAX [03] 5378-9842
reaj@juse.or.jp <http://www.reaj.jp>

第131回技術講習会「デジタル信号処理の基礎」講習会(※)

期日 平成25年11月7日(木), 8日(金)
会場 東京電機大学北千住キャンパス(東京都足立区)
問合先 日本音響学会事務局, TEL [03] 5256-1020
FAX [03] 5256-1022 asj-apply@asj.gr.jp

第39回リモートセンシングシンポジウム(※)

期日 平成25年11月15日(金)
会場 東京農業大学世田谷キャンパス(東京都世田谷区)
問合先 計測自動制御学会部門協議会担当
TEL [03] 3814-4121 bumon@sice.or.jp

「色彩工学—その基礎と実用的応用」技術講座(※)

期日 平成25年11月21日(木)
会場 機械振興会館別館(東京都港区)
問合先 日本オプトメカトロニクス協会
TEL [03] 3435-9321, FAX [03] 3435-9567
info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp>

「光学薄膜技術—光学薄膜技術の基礎～応用コース—」技術講座(※)

期日 平成25年11月28日(木), 29日(金)
会場 機械振興会館別館(東京都港区)
問合先 日本オプトメカトロニクス協会
TEL [03] 3435-9321, FAX [03] 3435-9567
info@joem.or.jp <http://www.joem.or.jp>

第40回炭素材料学会年会(※)

期日 平成25年12月3日(火)～5日(木)
会場 京都教育文化センター(京都市)
問合先 炭素材料学会事務局
TEL [03] 5389-6359, tanso-post@bunken.co.jp

第22回交通・物流部門大会(TRANSLOG2013)

期日 平成25年12月10日(火)～12日(木)
会場 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区)
問合先 日本機械学会交通・物流部門担当 大黒
TEL [03] 5360-3501, tldconf13@jsme.or.jp

第10回ノートパソコンで出来る原子レベルのシミュレーション入門講習会—分子動力学計算と電子状態計算—(※)

期日 平成25年12月16日(月), 17日(火)
会場 島津製作所関西支社マルチホール(大阪市)
問合先 日本材料学会同講習会係
TEL [075] 761-5321, FAX [075] 761-5325
jimu@jsms.jp

第26回バイオエンジニアリング講演会(※)

期日 平成26年1月11日(土), 12日(日)
会場 東北大学片平キャンパス(仙台市)
問合先 同講演会事務局 白井 徹(東北大学流体科学研究所)
bioconf14@jsme.or.jp
TEL & FAX [022] 217-5678
<http://www.jsme.or.jp/conference/bioconf14/>

●…………… 国 際 会 議 …………… ●

FPD International 2013

期日 2013年10月23日(水)～25日(金)
会場 パシフィコ横浜(横浜市)
問合先 日経BP企画事業局事業部 草野
TEL [03] 6811-8084, FAX [03] 5421-9170
fkusano@nikkeibp.co.jp

第26回マイクロプロセス・ナノテクノロジー国際会議(MNC 2013)

期日 2013年11月5日(火)～8日(金)
会場 ロイトン札幌(札幌市)
問合先 同国際会議事務局(セクレタリーアート気付)
TEL [03] 3420-1800, FAX [03] 3420-1840
secretariat@imnc.jp <http://imnc.jp/>

——第6回（平成25年度）中谷賞——

表彰対象 以下の条件を満たす研究者。

- ・大賞 1. 医工計測技術について優れた業績を残した研究者であること。
- 2. 表彰対象研究分野に関連する学会の会員または大学及びこれに準ずる研究機関に属する者または属していた者。
- ・奨励賞 1. 医工計測技術について独創的な研究をしていること。将来有望な研究者で、原則として応募締切時45歳以下であること。
- 2. 表彰対象研究分野に関連する学会の会員または大学及びこれに準ずる研究機関に属する者または属していた者。

対象研究分野 生体に関する計測及び関連技術

表彰内容 賞金総額1,000万円

- ・中谷賞大賞 賞金500万円1件
- ・中谷賞奨励賞 賞金250万円2件

応募方法 当財団宛てに財団所定の推薦書（HPから、ダウンロードして下さい。）を文書とメールで送付して下さい。

募集締切日 平成25年10月31日（木）（電子データは必着、郵送分は、当日消印有効）

問合せ先 中谷医工計測技術振興財団

TEL〔03〕5719-5215, FAX〔03〕5719-2135
 info@nakatani-foundation.jp
 http://www.nakatani-foundation.jp

——日本万国博覧会記念基金助成——

対象の区分

- （1）国際相互理解の促進に資する活動
 - ①国際文化交流、国際親善に寄与する活動
 - ②学術、教育、社会福祉、医療及び保健衛生に関する国際的な活動
 - ③自然の保護その他人間環境の保全に関する国際的な活動
- （2）文化的活動
 - ①日本の伝統文化の伝承及び振興活動
 - ②芸術及び地域文化に関する活動

助成予定総額 約1億円

対象事業者

国及び地方公共団体を除く公益的な事業を実施する団体

申請期間 平成25年8月30日～9月30日（当日消印有効）

申請方法 当機構HPから募集要項及び申請用紙をダウンロードして申請書を作成の上、書留郵送で提出して下さい。

問合せ先 日本万国博覧会記念機構 総務部基金課

TEL〔06〕6876-5581
 http://www.expo70.or.jp/
 jecfund@expo70.or.jp

——第28回塚原仲晃記念賞，第28回研究助成，
 第27回海外派遣研究助成，

第27回海外研究者招聘助成——

・第28回塚原仲晃記念賞

趣旨 生命科学の分野において優れた独創的研究を行っている当該年度（平成26年3月31日まで）において50歳以下の研究者（国内外を問わない）に対して贈呈する。

褒賞金 贈呈件数は原則として1件とし、賞牌並びに副賞（150万円）を贈呈。

推薦締切日 平成25年10月11日（金）

推薦方法 所定の推薦書に必要事項を記入し、当財団に提出して下さい。推薦書は当財団のHPから取り出せます。

・第28回研究助成

趣旨 脳科学の広い分野における研究に対して助成を行うが、特に、脳のメカニズムを解明する独創的な研究計画の助成に重点を置く。研究分野は実験研究のみならず、理論、モデリング研究をも含む。

研究助成額 助成額は1件120万円、助成件数は15件以下。

応募締切日 平成25年10月11日（金）

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入し、当財団に提出して下さい。

応募用紙 応募用紙は当財団のHPから取り出せます。

・第27回海外派遣研究助成

趣旨 我が国における脳科学の研究の促進を図るため、国際学会、シンポジウム等への参加、あるいは短期間（6か月以内）の共同研究のための研究者の海外派遣を助成する。ただし、平成26年4月1日から平成27年3月31日の間に出発できるものに限る。

助成予定総額 1件当りの助成額は往復の航空運賃を主とし、30万円までを限度として必要額を若干件数助成する。

応募締切日 平成26年1月10日（金）

応募方法 所定の応募用紙に必要事項を記入し、当財団に提出して下さい。

応募用紙 応募用紙は当財団のHPから取り出せます。

・第27回海外研究者招聘助成

趣旨 脳科学研究分野において、独創的なテーマに意欲的に取り組んでいる外国人研究者の短期間（3か月以内）の招聘を助成する。ただし、平成26年4月1日から平成27年3月31日の間に招聘するものとする。

招聘助成予定総額 1件当りの助成額は往復の航空運賃を主とし、30万円までを限度として必要額を若干件数助成する。

申込締切日 平成26年1月10日（金）

申込方法 所定の申込書に必要事項を記入し、当財団に提出して下さい。申込書は当財団HPから取り出せます。

問合せ先 ブレインサイエンス振興財団

TEL〔03〕3273-2565, http://www.bs-f.jp

——平成25年度コニカミノルタ画像科学奨励賞——

対象研究分野

- ①光と画像に関する材料及びデバイスの研究
- ②光と画像に関するシステム及びソフトウェアの研究
- ③光と画像に関するその他の先端的な研究

奨励賞及び副賞

- ・奨励賞（優秀賞） 4件程度 副賞1件 100万円
- ・奨励賞 4件程度 副賞1件 50万円

応募締切 平成25年9月30日（月）

問合せ先 コニカミノルタ科学技術振興財団事務局
TEL〔03〕6250-2120
<http://konicaminolta.jp/pr/foundation/>

——丸文財団研究業績表彰、
交流研究助成 第17回（2013年度）——

対象技術分野 原則として以下のエレクトロニクス関連分野を表彰対象とします。

- ①集積デバイス技術・LSIシステム、②光エレクトロニクス、③先端デバイス及び材料、④エネルギー・環境エレクトロニクス、⑤バイオ・医用エレクトロニクス

・表彰内容

総額：700万円
件数：3件（①丸文学術賞1件、②丸文研究奨励賞2件）

・助成内容

総額：1,800万円
件数：約15件程度（1件につき上限150万円）
※海外へ派遣される日本人研究者の場合は、「海外研究特別奨励」の上乗せ助成により、助成金総額は最高300万円になります。

期間：原則として平成26年4月1日から1年間（多少の期間変更は可）

推薦締切日 平成25年10月31日（木）必着

問合せ先 丸文財団
TEL〔03〕3661-1881, FAX〔03〕3808-2959
<http://www.marubun-zaidan.jp/>

●…………… 求人欄 ……………●

求人欄出稿にあたってのお願い

求人欄原稿を受領後、事務局では原稿受領通知をお送りしております。原稿送信後、数日たっても受領の連絡がない場合は、事故防止のため下記までお問合せ願います。

問合せ先：電子情報通信学会編集出版部
TEL〔03〕3433-6692, E-mail: shuppan@ieice.org

——教官・教員募集——

●東京理科大学

公募人員 工学部第一部電気工学科 教授または准教授1名
専門分野 材料・エレクトロニクス全般
応募資格 博士号取得者で、大学院の学生の研究指導ができる方
応募締切 平成25年9月14日（土）必着
問合せ先 電気工学科主任 岩村恵市
iwamura@ee.kagu.tus.ac.jp
詳細 <http://www.ee.kagu.tus.ac.jp/top.html>

●東京工芸大学

公募人員 教授あるいは准教授のいずれか1名
所属学科 工学部コンピュータ応用学科
応募資格 ①専門分野：情報数理、計算機工学、信号処理・マルチメディア、通信・ネットワーク、知能情報工学、あるいは、情報システム関連分野、②専門分野で学部、及び大学院科目が担当できること、③着任時（平成26年4月1日）に博士の学位を有していること
応募締切 平成25年9月16日（月）必着
問合せ先 木下照弘, kinosita@cs.t-kougei.ac.jp
詳細 <http://www.t-kougei.ac.jp/engineering/com/>

●東海大学

公募人員 専任講師または准教授1名
専門分野 電気・電子工学分野の専門性を有し、医療用治療器、診断装置を対象とした教育研究に従事できる方
応募資格 博士の学位を有し学生教育に熱意がある方
勤務地 伊勢原校舎（伊勢原市）及び湘南校舎（平塚市）
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年9月20日（金）必着
問合せ先 工学部医用生体工学科主任 望月 明
TEL〔0463〕93-1121, azmochi@wing.ncc.u-tokai.ac.jp
詳細 <http://210.230.217.212/info/employment/index.html>

●東海大学

公募人員 情報メディア学科 准教授または講師1名
専門分野 マルチメディア（CG, CV, VR等）、ソフトウェア
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年9月30日（月）必着
問合せ先 〒108-8619 港区高輪2-3-23
東海大学情報通信学部情報メディア学科 熱田清明
atsuta@keyaki.cc.u-tokai.ac.jp
詳細 研究者人材データベース JREC-IN
（<http://jrecin.jst.go.jp>）の求人情報検索で本学本学科の公募内容を参照下さい

●福岡工業大学

公募人員 教授または准教授1名
 所 属 情報工学部情報工学科
 専門分野 情報工学(人工知能)または関連分野
 応募資格 博士の学位を有し大学院の教育研究指導が可能な方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月27日(金)必着
 問 合 先 情報工学部情報工学科教授 徐 海燕
 TEL [092] 606-4892, FAX [092] 606-1342
 xu@fit.ac.jp

●福岡工業大学

公募人員 教授または准教授1名
 所 属 情報工学部情報工学科
 専門分野 情報工学(信号処理)または関連分野
 応募資格 博士の学位を有し大学院の教育研究指導が可能な方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月27日(金)必着
 問 合 先 情報工学部情報工学科教授 徐 海燕
 TEL [092] 606-4892, FAX [092] 606-1342
 xu@fit.ac.jp

●北海道大学

公募人員 メディアネットワーク専攻 准教授1名
 専門分野 光通信及び光エレクトロニクス(詳細は下記URL参照)
 任用予定 平成26年1月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年9月27日(金)必着
 問 合 先 大学院情報科学研究科メディアネットワーク専攻長
 荒木健治, TEL [011] 706-6534
 araki@media.eng.hokudai.ac.jp
 詳 細 <http://www.ist.hokudai.ac.jp/information/>

●北海道大学

募集人員 情報基盤センター大規模計算システム研究部門 教授1名
 専門分野 ハイパフォーマンスコンピューティング
 ※詳細は下記URLへアクセスして下さい
 応募締切 平成25年9月30日(月)17:00必着
 問 合 先 大規模計算システム研究部門教授 大宮 学
 TEL [011] 706-2946
 詳 細 <http://www.iic.hokudai.ac.jp/>

●京都大学

公募人員 大学院情報学研究科通信情報システム専攻 教授1名
 専門分野 無線通信システム, 光通信システム, センサネットワーク(スマートグリッド・スマートコミュニティ用を含む), ネットワーク仮想化, 通信用信号処理, 通信品質制御
 応募資格 博士の学位を有し, 教育及び研究指導を担当できる方
 着任時期 平成26年4月1日以降のなるべく早い時期
 応募締切 平成25年9月30日(月)必着
 問 合 先 通信情報システム専攻 高橋達郎
 TEL [075] 753-5997, ttakahashi@i.kyoto-u.ac.jp
 詳 細 <http://www.i.kyoto-u.ac.jp/news/application.html>

●駒澤大学

公募人員 グローバル・メディア・スタディーズ学部 助教, 講師または准教授1名
 専門分野 情報ネットワーク分野(コンピュータネットワーク, モバイルコンピューティング, ユビキタスコンピューティング, センサネットワーク等)
 応募締切 平成25年9月30日(月)必着
 問 合 先 〒154-8525 世田谷区駒沢1丁目23番1号
 駒澤大学グローバル・メディア・スタディーズ学部長
 川崎賢一
 詳 細 <http://www.komazawa-u.ac.jp/cms/recruit>

●電気通信大学

公募人員 助教(テニユア・トラック, 任期付)1名
 所 属 情報基盤学専攻情報システム基礎学講座
 専門分野 コンピュータ科学の理論分野に習熟し, その成果を活用して応用分野で研究・教育ができる人
 応募資格 採用時に博士の学位を取得後10年以内であること
 応募締切 平成25年9月30日(月)必着
 問 合 先 大学院情報システム学研究科教授 大森 匡
 koubo@sd.is.uec.ac.jp
 詳 細 正式な公募文書はWeb(<http://www.is.uec.ac.jp/event/kobo/>)に掲載中です。その指示に沿って応募下さい

●電気通信大学

公募人員 大学院情報理工学研究科知能機械工学専攻 准教授1名
 専門分野 数理工学の機械システム応用
 応募資格 ①博士の学位を有し, 大学院での教育・研究指導を行うことができる方, ②上記の専門分野において実績があり教育と研究を通して同分野の発展に貢献できる方
 勤務形態 常勤, 任期なし(定年制)
 採用予定 平成26年3月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年10月2日(水)必着
 問 合 先 新谷一人, shintani@mce.uec.ac.jp
 詳 細 <http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>

●東京工業大学

公募人員 准教授1名
 所 属 大学院理工学研究科電子物理学専攻集積デバイス講座集積電子事象学分野
 専門分野 電子デバイス分野
 着任時期 決定後なるべく早い時期
 応募締切 平成25年9月30日(月)必着
 問 合 先 電子物理学専攻長 松澤 昭
 TEL & FAX [03] 5734-2508
 mats@ssc.pe.titech.ac.jp
 詳 細 http://www.ee.titech.ac.jp/research/detail_351.html

●名古屋市立大学

公募人員 システム自然科学研究科 教授または准教授1名
 専門分野 知覚情報処理, 知能ロボティクス, 知能情報学
 担当科目 大学院教育では専門分野の講義と教育研究指導, 教養教育では数学関連科目
 応募資格 博士の学位を有すること
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年9月30日(月)必着

問 合 先 システム自然科学研究科 鈴木善幸
TEL (052) 872-5821, yossuzuk@nsc.nagoya-cu.ac.jp
詳 細 <http://www.nsc.nagoya-cu.ac.jp/>

●福岡大学

公募人員 工学部電子情報工学科 助教1名
専門分野 ホログラフィー応用, 光応用計測, 光情報通信等を中心とした光エレクトロニクス分野
応募資格 博士の学位を有する方(着任までに取得見込みの方を含む)
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年9月30日(月)必着
問 合 先 電子情報工学科准教授 文仙正俊
そ の 他 応募書類など詳細は下記 Web を御参照下さい
詳 細 http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/contents/content_35.html

●福岡大学

公募人員 工学部電子情報工学科 助教1名
専門分野 ワイヤレス・センサネットワークとその応用
応募資格 博士の学位を有する方(取得見込み可)
任 期 5年, 任期終了後, 教育・研究実績により任期なしで再雇用することがあります
着任時期 平成26年4月1日(予定)
応募締切 平成25年9月30日(月)必着
問 合 先 電子情報工学科教授 大橋正良
そ の 他 応募書類など詳細は下記 Web を御参照下さい
詳 細 http://w3.tl.fukuoka-u.ac.jp/contents/content_35.html

●法政大学

公募人員 情報科学研究科(任期5年)教授1名
専門分野 情報科学, 情報工学(中国ソフトウェア学院との修士課程・ダブルディグリープログラムに専念)
応募資格 博士の学位またはソフト開発分野で同等の業績を有し英語で講義・修論指導が可能な方
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年9月30日(月)必着
問 合 先 情報科学研究科長 花泉 弘
TEL (042) 387-4558, hana@hosei.ac.jp
詳 細 <http://www.hosei.ac.jp/saiyo/index.html>

●東京都市大学

公募人員 教授または准教授1名
専門分野 情報セキュリティ, 情報サービス
応募資格 博士の学位を有すること
情報システムにおける情報セキュリティ, 情報サービスの教育・研究のできる方
応募締切 平成25年10月4日(金)必着
問 合 先 〒224-8551 横浜市都筑区牛久保西3-3-1
東京都市大学メディア情報学部情報システム学科
主任教授 諏訪敬祐, suwa@tcu.ac.jp
詳 細 <http://www.tcu.ac.jp/recruitinformation/index.html>

●愛知工科大学

公募人員 准教授若しくは教授1名
専門分野 画像情報処理
応募資格 博士の学位を有する方で, 学生の視点に立った授業に

取り組める方, 専門分野での研究指導もできる方
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年10月10日(木)必着
問 合 先 〒443-0047 蒲郡市西迫町馬乗50-2
愛知工科大学工学部情報メディア学科長 岡島健治
TEL (0533) 68-1135, okajima-ken@aut.ac.jp
詳 細 <http://www.aut.ac.jp/univ/teacher/kobo/index.html>

●石巻専修大学

公募人員 理工学部情報電子工学科 助教1名
任期3年(通算6年を超えない範囲で再任可)
専門分野 ソフトウェア主体の情報工学または情報科学
応募資格 博士の学位を有する方(着任時取得見込み含む)
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年10月15日(火)必着
問 合 先 情報電子工学科主任 中込真二
TEL (0225) 22-7716, nakagomi@isenshu-u.ac.jp
詳 細 <http://www.isenshu-u.ac.jp/general/employment/>

●大阪大学

公募人員 極限量子科学研究センター量子基礎科学大部門 教授1名
専門分野 電子・光・磁気・バイオなどを用いた新機能の創出とエレクトロニクス基盤技術を基にした極限的な, 量子デバイス・システム・計測などへの応用
応募締切 平成25年10月15日(火)必着
問 合 先 大学院基礎工学研究科システム創成専攻電子光科学領域教授 占部伸二, TEL (06) 6850-6325
urabe@ee.es.osaka-u.ac.jp
詳 細 <http://www.osaka-u.ac.jp/ja/news/employ>

●日本大学

公募人員 工学部情報工学科 教授または准教授2名
専門分野 計算機システム・ソフトウェア
応募資格 博士の学位を有し, 当該分野の研究・教育を担当できること
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年10月15日(火)必着
問 合 先 情報工学科主任 西園敏弘, TEL (024) 956-8822
nishizono@cs.ce.nihon-u.ac.jp
詳 細 <http://www.ce.nihon-u.ac.jp/joho/index.html>

●茨城大学

公募人員 助教または准教授2名
専門分野 情報基礎分野及びソフトウェア工学分野 各1名
応募資格 博士学位を有し, 大学院生の研究指導補助可能な方, 教育研究に熱意のある方, なお男女共同参画社会基本法の趣旨にのっとり女性の積極的な応募を歓迎します
着任時期 平成26年4月1日
応募締切 平成25年10月18日(金)必着
問 合 先 工学部情報工学領域 羽瀨裕真
TEL (0294) 38-5147, habuchi@mx.ibaraki.ac.jp
詳 細 <http://www.ibaraki.ac.jp/employment/>

●兵庫県立大学

公募人員 大学院工学研究科電気系工学専攻 教授1名
 専門分野 シリコンベースの半導体界面物性及びデバイス応用
 応募資格 博士の学位を有し、上記専門分野の研究を基に広範囲に研究を進展させる意欲があり、電気系工学の専門科目を担当できる方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年10月18日(金)必着
 問合先 電気系工学専攻教授 清水 勝
 TEL〔079〕267-4878, koubo149@eng.u-hyogo.ac.jp
 詳細 <http://www.u-hyogo.ac.jp/koubo/uh/index.html>

●会津大学

公募人員 コンピュータ理工学部コンピュータ工学部門 上級准教授または准教授1名
 専門分野 情報工学, コンピュータ工学
 応募締切 平成25年10月31日(木)必着
 問合先 企画運営室 奥平恭子
 TEL〔0242〕37-2573, FAX〔0242〕37-2531
 fsc2013@u-aizu.ac.jp
 詳細 <http://www.u-aizu.ac.jp/information/public-class/kyoinkoubo.html>
 Web ページを熟読の上、電子メールで御応募下さい

●岡山理科大学

公募人員 工学部電気電子システム学科 准教授または講師1名
 専門分野 電気エネルギー分野
 応募資格 博士の学位を有し、私立大学における教育・研究を深く理解し、強い熱意を持って取り組まれる方
 着任時期 平成26年4月1日
 応募期限 平成25年10月31日(木)必着
 問合先 電気電子システム学科長 河村実生
 TEL〔086〕256-9562, FAX〔086〕255-3611
 minaru@ee.ous.ac.jp
 詳細 <http://www.ous.ac.jp/boshuu/index.html>

●神奈川工科大学

公募人員 教授または准教授1名
 専門分野 電子工学
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成26年4月1日以降なるべく早い時期
 応募締切 平成25年10月31日(木)必着
 問合先 電気電子情報工学科教授 小室貴紀
 taka_komuro@ele.kanagawa-it.ac.jp
 詳細 <http://www.kait.jp/recruit>

●熊本高等専門学校

公募人員 建築社会デザイン工学科 助教1名
 専門分野 電気電子情報通信系
 担当科目 情報処理・環境情報計測・データ解析など
 応募資格 博士の学位を有する方、または近い将来に博士の学位を取得見込みの方(取得計画書を添付)で、高専での教育、研究、学生指導などに情熱を有する方
 応募締切 平成25年10月31日(木)必着
 問合先 学科長 中村裕一, TEL〔0965〕53-1334
 nakamura@kumamoto-nct.ac.jp

詳細 <http://www.kumamoto-nct.ac.jp/employment/参照>

●富山大学

公募人員 大学院理工学研究部(工学部知能情報工学科担当)准教授または講師1名
 専門分野 情報・通信分野(ソフトコンピューティングなど)
 担当科目 言語理論, アルゴリズムとデータ構造, 計算論等
 応募資格 博士の学位を有すること
 着任時期 平成26年1月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年10月31日(木)必着
 問合先 知能情報工学科長 田島正登
 TEL〔076〕445-6766, tajima@eng.u-toyama.ac.jp
 詳細 <http://www.u-toyama.ac.jp/outline/employ/index.html>

●長岡技術科学大学

公募人員 助教1名(常勤, 任期なし)
 所属 電気系情報通信システム工学講座
 専門分野 情報・通信ネットワーク, ネットワーク伝送品質評価
 応募資格 博士の学位を有するか着任までに取得可能な方で上記分野の教育・研究に情熱を有する方
 提出書類 <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/教員公募欄参照>
 着任時期 平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年10月31日(木)必着「簡易書留」
 問合先 電気系長 大石 潔, TEL〔0258〕47-9525
 ohishi@vos.nagaokaut.ac.jp

●長岡技術科学大学

公募人員 助教1名(常勤, 任期なし)
 所属 電気系情報通信システム工学講座
 専門分野 デジタル信号処理, 画像信号処理
 応募資格 博士の学位を有するか着任までに取得可能な方で上記分野の教育・研究に情熱を有する方
 提出書類 <http://www.nagaokaut.ac.jp/j/教員公募欄参照>
 着任時期 平成26年4月1日以降のできるだけ早い時期
 応募締切 平成25年10月31日(木)必着「簡易書留」
 問合先 電気系長 大石 潔, TEL〔0258〕47-9525
 ohishi@vos.nagaokaut.ac.jp

●鳥取大学

公募人員 教授1名
 所属 大学院情報エレクトロニクス専攻電気電子工学講座
 専門分野 光半導体工学分野, 特に光電変換を中心とした電子デバイスとその応用
 着任時期 平成26年4月1日
 応募締切 平成25年11月1日(金)必着
 問合先 情報エレクトロニクス専攻長 近藤克哉
 TEL〔0857〕31-5699, kondo@ele.tottori-u.ac.jp
 詳細 <http://akebia.jim.tottori-u.ac.jp/info/koubo/koubo-ele-2507.htm>

◎求人欄の執筆要領につきましては下記を御覧下さい。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/books/ad/kyokanshainboshu.html>

◎次回締切 11月号掲載分 平成25年9月25日(水)必着

◎会告求人欄に掲載された内容は本会ホームページに掲載しております。下記からお入り頂くと今月号だけではなく、締切前の求人が全て御覧になれます。

URL : <http://www.ieice.org/jpn/service/kyokanboshu.html>

●…………… お 知 ら せ ……………●

——銀行・ゆうちょ銀行（郵便局）口座 自動引落しの割引特典のお知らせ——

銀行／ゆうちょ銀行（郵便局）の口座からの会費の自動引落しを選ばれますと、次年度基本会費から、5%割引になる特典がございます。

手続きの詳細は下記の URL を御参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/service/kaihishiharai/koza.html>

なお、新規にお申込みを希望される方、また口座の変更を行う方は 10月1日までに依頼書を事務局宛てに御送付下さい。

——転勤・転居及び学生員申請の届出について——

住所変更及び所属変更等の内容を本会 Web サイト上「会員サービス→マイページ」より御連絡下さい。※最初にマイページ専用のパスワード登録が必要となります。

書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「会員番号、氏名、変更内容（住所）、連絡先電話番号」を明記の上、事務局会員サービス部会員課宛てに御連絡下さい。毎月1日までに御連絡を頂いたものは翌月号の発送から変更となります。

なお、転居先不明等で長期にわたり届出がありませんと、停止していた間の会誌等をお送りできない場合もありますので、お早めに御連絡下さいますようお願い致します。

また、4月以降大学院等への進学で学生員の継続を希望される方は、Web サイト上「会員サービス→学生員申請」より御申請下さい。書面（E-mail, FAX, 郵送）でも承りますので、「学生員申請」と明記し、「会員番号、氏名、学校（院）名、博士・修士課程別、修了予定年月」を御連絡下さい。

E-mail: kaiin@ieice.org, FAX [03] 3433-6659

——論文誌の冊子体の廃止について——

本会では、1999年8月から論文誌の電子的公開を開始し、2006年4月からは個人の会員の皆様への論文誌の配布媒体をオンライン版とし、冊子体はオプションとしております。また、2009年4月からは特殊員の皆様に対し、サイトライセンスを開始してきました。これらにより、近年オンライン版での閲覧が定着し、オプションとして冊子体を希望される方は減少しております。

一方、現在、電子情報通信学会・横断システム（IEICE Knowledge Discovery（略称：I-Discover））などの新たなシステムの構築、会員管理システム刷新、既存の論文査読／公開システムの更改などを行っており、利用者の皆様のサービス向上及びオンラインを活用した学術情報発信強化に向けた取組みを進めているところ です。

少子化等により会員数が漸減していく中で、今後も引き続き学会活動を持続可能なものにしていくために、リソースの集中を図ることが必要になっております。

その一環として、論文誌の冊子体を2014年4月号から廃止することが2013年4月15日の理事会で決定されました。これまで冊子体に親しんでこられた会員の皆様につきましても、今後はオ

ンライン版の御活用をお願い致しますと存じます。

御不便をおかけしますが、何とぞ御理解のほどよろしく御願い申し上げます。

なお、論文誌の別刷は引き続き作成致します。

——知的環境とセンサネットワーク（ASN） 研究会ロゴ募集について——

知的環境とセンサネットワーク（ASN）研究会のロゴの募集を致します。

1. 趣旨

ASN 研究会は情報通信技術を他の産業と融合させ、社会基盤として発展させていくためにセンサネットワークと知的環境技術を高めつつ、他産業との複合領域の研究を推進することを目的として平成25年度に新たに設立された研究会です。

この知的環境とは、センサネットワークより得られたデータを処理・解析して、その人の活動を拡張・強化あるいは補完・補助する機能を指します。

研究会設立にあたり、ASN 研究会では、本研究会のロゴを公募することとなりました。ロゴはASN 研究会の Web サイトや印刷物ほか随所で使用を予定しています。

2. 応募内容

最低限“ASN”の3文字が入っているロゴのデザイン

3. 応募・参加資格

日本在住の方であればどなたでも応募することができます。

4. 応募方法

ロゴ、及び応募者の氏名、連絡先を明記の上、メール添付にて御応募下さい。

5. 応募形式

1. JPEG（若しくはEPS）及びそれをPDF化したデータ形式でデザインを作成（2MByte以下）し、メールに必要事項を記入の上、添付して送信して下さい。
2. メールを表題を「ASN 研ロゴ募集」として下さい。

6. 応募期間

8月15日（木）～11月15日（金）

7. 発表

12月24日（火）

平成26年1月23日（木）、24日（金）に松山市道後温泉で開催されるASN 研究会での表彰式を予定しています。

ただし、その際の旅費は受賞者の御負担となります。

8. 賞品

賞状及び記念品（iPad mini 16 GByte）

9. 応募規定

1. 応募点数の制限はありませんが、一点ずつ別メールで御応募下さい。
2. 応募作品は、自作・未発表で、第三者が有する著作権等の権利を侵害しないものに限り、既存のフォントを利用した場合には、その旨をお書き添え下さい。本規定に違反していることが判明した場合には、審査結果発表後であっても賞を取り消し、賞品の返還を求めます。
3. 万が一、本ロゴ募集の応募作品に対し、第三者から権利侵害、損害賠償等の苦情、異議申し立てがあった場合は、電子情報通信学会は一切の責任を負わず、応募者が費用負担を含めて対処するものとします。
4. 受賞作品の著作権・使用権は全て一般社団法人電子情報通信

学会に帰属します。受賞作品は有償・無償を問わずホームページ、印刷物、映像、イベントなどに使用される可能性があります。受賞者には一切の権利の主張を放棄して頂きます。

5. 受賞作品は、原案を尊重しながら、修正・補正・3D化などの加工を行う場合があります。
 6. 応募作品は返却しません。
 7. 応募状況、当落に関するお問合せには回答致しかねます。
10. 個人情報の取扱いについて
1. 応募作品に係る個人情報については、作品の審査・発表・表彰・応募状況の集計・公表(統計的に処理し、個人を特定する情報は含まない)以外の目的で使用することはありません。
 2. 発表の際には、受賞者の氏名を公表します。

11. 問合せ/応募先

ASN 研究会幹事補佐
 関屋大雄 (千葉大) E-mail: asn-sec@mail.ieice.org

【参考】

ASN 研究会のホームページ <http://www.ieice.org/~asn/>

——平成 25 年 9 月号及び 10 月号
 和・英論文誌特集・小特集テーマ——
 和・英論文誌編集委員会

(基礎・境界ソサイエティ)

10 月号 [英文] Sparsity-aware signal processing

(通信ソサイエティ)

9 月号 [和文] ワイヤレスシステムを支える技術を融合するアンテナ・伝搬技術論文

10 月号 [英文] Recent Progress in Antennas and Propagation in Conjunction with Main Topics of ISAP2012

(エレクトロニクスソサイエティ)

9 月号 [英文] Recent Development of Electro-Mechanical Devices—Papers selected from International Session on Electro-Mechanical Devices 2012 (ISEMD2012) and other recent research results—

10 月号 [英文] Emerging Technologies and Applications for Microwave and Millimeter-wave Systems

(情報・システムソサイエティ)

9 月号 [和文] 画像符号化・映像メディア処理レター

9 月号 [英文] Dependable Computing

10 月号 [和文] システム開発

——「産・官・学共同研究」募集のお知らせ——

下記機関では「共同研究、受託研究」のテーマ等を、広く社会から募集しています。

関心をお持ちの方は記載の URL にて詳細を御確認下さい。(大学等にて募集案内の掲載を希望される場合は、事務局会員サービス部 (service@ieice.org) まで原稿をお送り下さい)

- ・機関名：産業連携への窓 (全国版)
 URL: <http://zeus.crc.uec.ac.jp/model/>
 (国立大学 56 校の共同研究センターの情報を掲載)
- ・機関名：早稲田大学理工学総合研究センター
 URL: <http://www.rise.waseda.ac.jp/>
- ・機関名：中央大学理工学研究所
 URL: <http://www.ise.chuo-u.ac.jp/TISE/index-j.htm>
- ・機関名：立命館大学産官学交流事業推進室 BKC リエゾンオフィス
 URL: <http://www.ritsumei.ac.jp/jimu/bkc-liaison/index.html>
- ・機関名：明治大学知的資産センター
 URL: <http://www.meiji.ac.jp/jigyoka/tloindex.htm>
- ・機関名：東京電機大学産官学交流センター
 URL: <http://www.dendai.ac.jp/crc/>
- ・機関名：関西大学先端科学技術推進機構
 URL: <http://www.kansai-u.ac.jp/ordist/>
- ・機関名：愛知工業大学総合技術研究所
 URL: <http://aitech.ac.jp/res/>
- ・機関名：東京大学国際・産業共同研究センター
 URL: <http://www-db.ccr.u-tokyo.ac.jp>
- ・機関名：東京大学空間情報科学研究センター
 URL: http://www.csis.u-tokyo.ac.jp/japanese/research_activities/joint-research.html

総合版ハンドブック

「知識ベース」の一般公開について

総合版ハンドブック「知識ベース」の一般公開を開始しております。一般公開は、会員限定β版での公開後2か月を経過した一部のコンテンツが対象となります。

閲覧にあたっては、本会ホームページ(トップページ)→「総合版ハンドブック「知識ベース」」または、以下の URL からお入りください。

<http://www.ieice-hbkb.org/portal/>



——空間音響信号処理と実用化小特集

(英文論文誌 A) 論文募集——

空間音響信号処理と実用化小特集編集委員会

計算機の爆発的な進歩に伴い、音声・音響信号処理技術に基づく様々なアプリケーションが実時間にて実装できる時代となりました。特にこれまで実時間処理が困難であった三次元音空間に対する音場制御技術や騒音制御技術に関する研究に高い注目が集まるだけでなく、PAL (Parametric Array Loudspeaker) 等の新しい出力デバイスの提案に伴い、音声・音響信号処理技術が新しい時代への過渡期を迎えつつあります。

そこで今回は、新しい時代の入り口に立つ空間 (三次元) 音響信号処理に関する論文を集めた小特集 (2014 年 9 月号掲載) を企画致します。最先端信号処理技術に関連した質の高い論文を下記の要領で小特集として出版することにより、今後の当分野の更なる発展と電子情報通信学会基礎・境界サイエティの当分野への貢献を図ります。募集対象論文の対象分野は以下のとおりです。

1. 対象分野

- 三次元音場再現
- 能動騒音制御
- スピーカアレー信号処理
- 音像定位
- パラメトリックスピーカのための信号処理
- * 投稿された論文の内容が本小特集の対象分野に該当しないと編集委員会が判断した場合、査読を行わずに返戻と判定する場合があります。

2. 論文の執筆と取扱い

- ・通常の英文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ以内程度とします。執筆要項の詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい。
- ・論文原稿は下記の学会投稿システムから御投稿下さい。初期刊投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx
[Special-GN] Spatial Acoustic Signal Processing and Applications を選択して下さい。

- ・ Copyright Transfer Form 及び Confirmation Sheet を幹事まで電子メール、FAX、郵便等でお送り下さい。

3. 論文投稿締切日 2013 年 11 月 25 日 (月) 必着

Copyright Transfer Form 提出締切日 2013 年 11 月 25 日 (月) 必着

4. Copyright Transfer Form 送付先及び問合せ先

西浦敬信 立命館大学情報理工学部
〒525-8577 草津市野路東 1-1-1
TEL&FAX[077]561-5075, E-mail: nishiura@is.ritsumei.ac.jp

5. 小特集編集委員会構成

委員長 梶川嘉延 (関西大)
幹事 西浦敬信 (立命館大)
委員 Alberto CARINI (Univ. of Urbino, Italy), 菅木禎史 (熊本大), Woon-Seng Gan (Nanyang Technological Univ., Singapore), 生田 顕 (県立広島大), 川村

新 (阪大), 木村敏幸 (NICT), Maciej Niedzwiecki (Gdansk Univ. of Technology, Poland), 西野隆典 (三重大), 笹岡直人 (鳥取大)

6. 付記

- * 論文採録の場合は掲載別刷代 (別刷 50 部を含む) が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。必要な資格を満たしていない著者からの投稿論文は、受け付けることができませんので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。
<http://www.ieice.org/eng/member/OM-appli.html>

——将来ネットワークに向けた

インターネットアーキテクチャ特集

(和文論文誌 B) 論文募集——

将来ネットワークに向けたインターネットアーキテクチャ特集編集委員会

インターネットは現代社会における様々な活動を支える重要な基盤としてなくてはならない存在となり、従来の通信網では実現困難な可用性や新規サービスの迅速な提供に大いに貢献しています。一方で、現在のインターネットで顕在化した課題であるセキュリティの向上やコンテンツ配信の効率化を目的として、CCN (Contents Centric Network), ICN (Information Centric Network) に代表される将来ネットワーク (Future Internet) の研究が近年活発に行われています。これらの研究は現在のインターネットアーキテクチャ自体に変革をもたらす可能性があり、移行可能性も含め、更なる議論が必要になってきています。このような状況を踏まえ、本特集 (平成 26 年 10 月号) では、インターネットの基本設計や設計思想につながる基盤技術、運用技術、更には新しい技術の展開に関する論文に加えて、新しいアプリケーションやネットワークを活用した社会システムなど、将来インターネットに向けたインターネットアーキテクチャに関する論文 (一般、システム開発論文、及びレター) を募集します。皆様の積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

- ・将来インターネット
- ・ディペンダビリティ技術
- ・ネットワークアーキテクチャ技術
- ・システム仮想化技術
- ・セキュリティ技術
- ・ホームネットワーク
- ・アプリケーション技術
- ・センサネットワーク
- ・実装・応用技術
- ・モバイルデバイス活用技術
- ・ミドルウェア技術
- ・コミュニケーション技術
- ・プロトコル技術
- ・情報・コンテンツの拡散・流通技術
- ・ルーティング技術
- ・遅延・分断耐性ネットワーク (DTN)
- ・トラヒック制御技術
- ・省電力ネットワーク技術
- ・サステイナビリティ技術

- ・ネットワークを活用した省電力化技術
- ・医療・ヘルスケア応用
- ・Internet of Things
- ・ITS 応用
- ・システムの迅速な導入・展開に関する技術
- ・計測・管理・運用技術
- ・シームレスなシステム移行技術
- ・サイバーフィジカルシステム
- ・クラウドサービス

2. 論文の執筆と取扱い

通常の一般論文と同一とし、論文は原則として刷上り 8 ページ以内とします。詳細は、投稿のしおりを御参照下さい。http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html

査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 主なスケジュール

投稿締切：平成 26 年 1 月 31 日（金）厳守
 初回判定通知：平成 26 年 3 月中旬を予定
 最終判定通知：平成 26 年 6 月中旬を予定
 発行月：平成 26 年 10 月号

4. 問合せ先

山井成良（岡山大学情報統括センター）
 〒700-8530 岡山市北区津島中 3-1-1
 TEL [086] 251-7238, FAX [086] 251-7244
 E-mail : yamai@cc.okayama-u.ac.jp

5. 投稿方法

(A) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

(B) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification registration completion）が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正／削除、電子投稿（原稿のアップロード）画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

【送付先】

電子情報通信学会編集出版部論文課
 〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
 FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-b@ieice.org
 郵送時、封筒に「インターネットアーキテクチャ」特集と朱記して下さい。

6. 特集編集委員会

編集委員長 石橋圭介（NTT）
 編集幹事 山井成良（岡山大）、長谷川洋平（NEC）
 編集委員 新 善文（アラクサラネットワークス）、下川俊彦（九州産大）、高井昌彰（北大）、福田健介（NII）、藤川賢治（NICT）、前田香織（広島市大）、宮地利幸（NICT）、山本成一（東大）、義久智樹（阪大）

——クラウド・サービスコンピューティング小特集 （英文論文誌 D）論文募集——

クラウド・サービスコンピューティング小特集
 編集委員会

クラウドコンピューティングの発展により、計算資源がインターネット上に集約され大規模化しつつあります。また、このようなスケールアウトを可能とする計算環境を前提に、多くのソフトウェアや大規模データがインターネット上に集積され、スマートフォンなどのモバイル端末を介して、社会の至る所で必要なときに必要な分だけサービスとして利用されています。このようにハードウェアやソフトウェアの所有から利用へとシフトしているクラウド時代では、組織の枠を越えて、ネットワークから計算資源、データ、その上で動作するアプリケーション、そして、ビジネスプロセスまで統合したサービスの構築手法が求められています。こうした期待に応えるには、ネットワークサービスや IaaS, PaaS, SaaS といったレイヤごとの構築、運用技術だけでなく、レイヤ内の水平型のサービス連携から、レイヤを横断した垂直型のサービス連携まで幅広いサービス構築技術が重要となります。

このような幅広いレイヤを横断的に議論する必要性から、サービスコンピューティング研究専門委員会では、これらの研究分野を集めた最新の研究成果を広く会員に伝えることを目的として、英文論文誌 D（平成 26 年 7 月号）にて小特集を企画致します。本小特集では、クラウドコンピューティングを用いたサービス構築のための基礎技術、及びそれらの応用技術までの幅広い分野からの論文を募集します。幅広い分野からの多数の方々からの積極的な御投稿を期待致します。

1. 対象分野

◎クラウドコンピューティング

- ・クラウド（SaaS, PaaS, IaaS）の運用
- ・クラウドのパフォーマンス
- ・インタクラウド

◎サービスコンピューティング

- ・SOA
- ・Web サービス
- ・サービス連携
- ・サービス発見
- ・サービス選択
- ・サービス配備・運用・管理
- ・サービスのセキュリティ・プライバシー

◎ビジネスプロセス

- ・BPM
- ・ビジネスプロセスの検証・最適化
- ・サービスエコノミクス

◎クラウド・サービスの応用

- ・クラウドソーシング
- ・Web API・マッシュアップ
- ・Linked Data サービス
- ・Semantic Web サービス
- ・モバイルサービス
- ・ストリームサービス
- ・クラウドに基づく応用システム（教育、科学、省エネ、ヘルスケアなど）

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論

——多値論理と VLSI コンピューティング小特集
（英文論文誌 D）論文募集——

多値論理と VLSI コンピューティング小特集
編集委員会

文の場合は刷り上がり 8 ページ以内、レターは刷り上がり 2 ページ以内とします。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日間）が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1 : https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-UD] Cloud and Services Computing を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順 2 : 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

送付先及び問合せ先

〒619-0289 京都府相楽郡精華町光台 3-5
独立行政法人情報通信研究機構 (NICT) ユニバーサルコミュニケーション研究所情報分析研究室 田仲正弘
FAX [0774] 98-6967, E-mail : mtnk@nict.go.jp
※郵送時は、封筒に「クラウド・サービスコンピューティング特集」を朱記して下さい。

4. 投稿締切 平成 25 年 10 月 21 日 (月) 厳守

5. 小特集編集委員会

委員長 村上陽平 (京大)
幹事 石川冬樹 (NII), 田仲正弘 (NICT), 高間康史 (首都大東京)
委員 井垣 宏 (阪大), 川村隆浩 (東芝), 鈴木豊太郎 (東工大), 須永 宏 (阪工大), 立堀道昭 (IBM), 中村匡秀 (神戸大), Incheon Paik (会津大), 細野 繁 (NEC)

6. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての採録論文について掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

システムオンチップ (SoC) やシステム LSI の高機能化、小形化、低消費電力化は、主に設計・製造技術の向上に伴うシステムの極限的微小化・集積化によって実現されてきましたが、微小化のみでは解決が困難な種々の深刻な問題が生じています。この問題に対し、従来の 2 値に代わる多値デジタルコンピューティングをはじめとした、従来技術の延長とは異なる新しい概念に基づく VLSI コンピューティングの開拓が望まれております。また、多値論理を利用した論理設計や多値論理代数とその応用、ソフトコンピューティングなど、2 値論理の枠組みを超える新しいコンピューティング手法も期待されております。このような背景の下に、「多値論理と VLSI コンピューティング」小特集 (平成 26 年 9 月号) を企画しました。特に、43rd IEEE International Symposium on Multiple-Valued Logic (ISMVL2013) にて発表された講演論文も含めて、新概念に基づく多値論理と VLSI コンピューティングに関する論文を広く募集します。

1. 対象分野

多値論理代数、ファジー論理、ソフトコンピューティング、量子コンピューティング、論理設計とスイッチング理論、テスト・検証、スペクトラムロジック、新概念 VLSI アーキテクチャ、多値 VLSI コンピューティング、ナノデバイススペースアーキテクチャなど。

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり 8 ページ、レターの場合は刷り上がり 2 ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は 4 ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間（通常は 60 日）を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1 : https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体 (TeX/Word)、図、著者の写真、biography も投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Journal/Section”で [Special-LO] Multiple-Valued Logic and VLSI Computing を選択して下さい。[Regular-ED] を決して選択しないで下さい。

手順 2 : 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 11 月 29 日 (金) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

弓仲康史 群馬大学理工学研究院電子情報部門
〒376-8515 桐生市天神町 1-5-1
TEL [0277] 30-1790, FAX [0277] 30-1707
E-mail : yuminaka@el.gunma-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 和保孝夫 (上智大)
幹事 弓仲康史 (群馬大), 水木敬明 (東北大)
委員 井口幸洋 (明大), 上浦尚武 (兵庫県立大), 夏井雅典 (東北大), 本間尚文 (東北大), 河口万由香 (北大), 笹尾勤 (明大), 淡野公一 (宮崎大), 永山 忍 (広島市大)

7. 付記

- * 締切日を厳守して下さい。
- * 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代 (別刷 50 部含む) が必要となります。
- * 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——Internet of Things のフロンティア小特集 (英文論文誌 D) 論文募集——

Internet of Things のフロンティア小特集編集委員会

Internet of Things (IoT) の研究開発に関連する問題に焦点を合わせ、最新の研究進展を示すことを目的として、情報・システムサイエティ英文論文誌に小特集「Internet of Things のフロンティア」(平成 26 年 10 月)を企画致しました。

1. 対象分野

- IoT のための、
- (1) システム及びネットワークアーキテクチャ
 - (2) 異種統合及び相乗的技術
 - (3) プロトコルの最適化及び設計
 - (4) ユビキタスポジショニング技術
 - (5) RFID, センサ, アクチュエータ, マシンビジョンに関する技術
 - (6) 組込み技術
 - (7) ネーミング及びアドレス管理
 - (8) センシング及びセンサネットワーク技術
 - (9) アクセスネットワーク技術
 - (10) IoT ネットワークの運用, 管理, 及び最適化
 - (11) データ管理, データ処理, 及びデータマイニング
 - (12) セキュリティ及びプライバシー保護
 - (13) デイベンダビリティ
 - (14) IoT システムの性能管理及び評価
 - (15) 環境発電及び省エネルギー
 - (16) インタフェース及びインタラクション技術
 - (17) Web 技術及びクラウドコンピューティング
 - (18) IoT アプリケーション及びテストベッド
 - (19) IoT 標準化活動

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ, レター 2 ページ以内とします。Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御参照下さい。

3. 投稿方法

Web による電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず「Journal/Section」で [Special-TH] Frontiers of Internet of Things を選択して下さい。[Regular-ED] は選択しないで下さい。

手順 2: 「Copyright Transfer and Page Charge Agreement」文書と「Confirmation Sheet of Manuscript Registration」文書を、論文投稿締切日である平成 25 年 12 月 15 日 (日) (必着) で下記送付先に郵送、または下記アドレスまで FAX または E-mail で送付して下さい。なお、郵送の場合、封筒には「Internet of Things のフロンティア小特集」と朱書きして下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 25 年 12 月 15 日 (日) 必着

5. Copyright Transfer/Confirmation Sheet 送付先, 問合せ先

太田 香 室蘭工業大学情報電子工学系学科
〒050-8585 室蘭市水元町 27-1
TEL & FAX [0143] 46-5409
E-mail: ota@csse.muroran-it.ac.jp

6. 小特集編集委員会

編集委員長 Laurence T. Yang (St. Francis Xavier University, Canada)

編集幹事 太田 香 (室蘭工大), 王 国军 (中南大, 中国), 福島和英 (KDDI 研)

委員 櫻井幸一 (九大), 高橋健一 (鳥取大), Bernady O. Apduhan (九州産大), Zixue Cheng (会津大), 土肥 正 (広島大), Ying Dai (岩手県立大), Minyi Guo (上海交通大, 中国), Runhe Huang (法政大), Qun Jin (早大), Jie Li (筑波大), Ruidong Li (NICT), Zhen Liu (長崎総合科学大), 仲野有登 (KDDI 研), Bagus Santoso (I2R, シンガポール), Chunhua Su (北陸先端大), Ilsun You (Korean Bible University, 韓国), 双紙正和 (広島市大), 山本 寛 (長岡技科大), 山口利宏 (岡山大), Neil Y. Yen (会津大), Gang Zeng (名大), Xia Xie (華中科技大, 中国)

7. 付記

* 論文採録の場合は、招待論文も含め掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。50 部の別刷が配布されます。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——画像符号化・映像メディア処理特集 (和文論文誌 D) 投稿募集——

画像符号化・映像メディア処理特集編集委員会

和文論文誌 D では、画像符号化・映像メディア処理に関するレター特集を平成 19 年 7 月号から毎年企画してきました。次年度はレターに限定せずに、論文も募集する「画像符号化・映像メディア処理特集」を平成 26 年 9 月号に企画致しました。

画像符号化の分野では、新しい映像符号化方式 HEVC (High

Efficiency Video Coding) が標準化され、拡張規格についても作業が進められており活発な研究が行われています。スマートホンやクラウド技術を利用した映像メディア処理は極めて身近な存在となり、様々なアイデアを盛り込んだソフトウェアやサービスが実用化されています。自由視点映像、ライフログ、インターネットの動画共有サイト、物体識別・追跡などの研究もますます発展し、HDTV を超える超高精細映像、超解像技術、3D テレビなど次々と実用化されています。このような背景から、この特集では画像符号化・映像メディア処理に関連する広い分野の論文及びレターを募集致します。PCSJ2013/IMPS2013 で発表された研究のみならず、画像符号化及び映像メディア処理に関連する研究について着想段階の研究アイデアも含めて多くの方々からの積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

■画像符号化分野

符号化基礎、符号化画質評価、静止画像符号化、動画画像符号化、標準方式関連技術、動きベクトル検出、動き補償、可変長/エントロピー符号化、領域分割/特徴抽出、オブジェクトベース/モデルベース符号化、ステレオ/多眼/三次元/自由視点映像の符号化、インターネットビデオ、ワイヤレスビデオ、符号化関連ハードウェア/ソフトウェア、新しい符号化、符号量制御、その他

■映像メディア処理分野

映像処理基礎、自由視点映像、三次元画像技術、高精細画像技術、人工現実感、複合現実感、映像データベース、ネットワーク映像技術、映像生成/CG/制作、画像の処理/認識、擬人化エージェント、HCI のための画像/処理/認識、映像処理 VLSI、インテリジェントセンサ、画像再構成/復元、動画画像処理、色彩処理、ITS、電子透かし、ライフログ、生活支援、その他

2. 論文の執筆と取扱い

通常の論文と同一です。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは刷り上がり 2 ページ程度とし、12 ページ以上の論文でページ数超過の理由書が提出されない場合や、5 ページ以上のレターの場合は投稿を受け付けませんので御注意下さい。詳細につきましては、「和文論文誌投稿のしおり」http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html を御参照下さい。

特集発行のスケジュールにより、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 25 年 12 月 17 日 (火) 厳守

4. 投稿方法

(1) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

(2) 郵送

https://review.ieice.org/regist/regist_baseinfo_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

【送付先】

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6616, E-mail : wabun-dl@ieice.org

5. 問合せ先

市ヶ谷敦郎 NHK 放送技術研究所
TEL [03] 5494-3354, FAX [03] 5494-3197
E-mail : ie-letter@mail.ieice.org

6. 特集編集委員会

委員長 八島由幸 (千葉工大)
幹事 市ヶ谷敦郎 (NHK), 久保田 彰 (中大), 井口和久 (NHK)
委員 加藤嘉明 (三菱電機), 川田亮一 (KDDI), 坂東幸浩 (NTT-AT), 高橋桂太 (名大), 筒口 拳 (NTT), 内藤 整 (KDDI 研), 浜本隆之 (東京理科大), 藤井俊彰 (名大)

複写される方へ

一般社団法人電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が公益社団法人日本複製権センター((社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体)と包括複写許諾契約を締結している場合にあつては、その必要はございません。(社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。)

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail : info@jaacc.jp

複写以外の許諾 (著作物の引用、転載、翻訳等) に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> 一般社団法人電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

論文特集論文募集カレンダー

◎基礎・境界ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
離散数学とその応用小特集	・25年9月20日(金) ・英文誌 A 26年6月号	天野一幸：群馬大学大学院理工学府電子情報工学領域 TEL [0277] 30-1823, FAX [0277] 30-1801 E-mail : amano@gunma-u.ac.jp	7月号	A分冊 7～9月号 EA分冊 7～9月号
SoC 設計手法小特集	・25年9月12日(木) ・英文誌 A 26年7月号	高島康裕：北九州市立大学国際環境工学部情報メディア工学科 TEL [093] 695-3729, FAX [093] 695-3779 E-mail : takasima@kitakyu-u.ac.jp	7月号	A分冊 7～9月号 EA分冊 7～9月号
回路とシステム小特集	・25年10月18日(金) ・和文誌 A 26年8月号	宮本俊幸：大阪大学大学院工学研究科電気電子情報工学専攻 TEL [06] 6879-7694, FAX [06] 6879-7263 E-mail : miyamoto@eei.eng.osaka-u.ac.jp	8月号	A分冊 8～10月号
空間音響信号処理と実用化小特集	・25年11月25日(月) ・英文誌 A 26年9月号	西浦敬信：立命館大学情報理工学部 TEL [077] 561-5075, FAX [077] 561-5075 E-mail : nishiura@is.ritsumeit.ac.jp	9月号	A分冊 9～11月号 EA分冊 9～11月号

◎通信ソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
若手研究者のための未来開拓特集	・25年10月29日(火) ・和文誌 B 26年7月号	山崎憲一：芝浦工大 TEL [03] 6722-2761 E-mail : yamaken@shibaura-it.ac.jp	6月号	B分冊 6～8月号
無線技術の根幹を支えるアンテナ・伝搬技術論文特集	・26年1月6日(月) ・和文誌 B 26年9月号	中野雅之：(株)KDDI 研究所 TEL [049] 278-7562, FAX [049] 278-7343 E-mail : m-nakano@kddilabs.jp	6月号	B分冊 6～8月号
将来の光ネットワークに向けた最新の光エレクトロニクスと通信技術特集	・25年10月31日(木) ・英文誌 B 26年7月号	青木泰彦：富士通研究所ネットワークシステム研究所フォトニクス研究部 TEL [044] 754-2641, FAX [044] 754-2640 E-mail : eb-oecc2013@ml.labs.fujitsu.com	8月号	B分冊 8～10月号 EB分冊 8～10月号
2013 IEICE ICT フォーラム関連 EU EP7 ICT 研究開発プロジェクト活動における次世代ブロードバンドアクセス技術とアプリケーション関連技術小特集	・25年10月31日(木) ・英文誌 B 26年8月号	太郎丸真：福岡大学工学部電子情報工学科 TEL [092] 871-6631 内線 6383, FAX [092] 865-6031 E-mail : taromaru@fukuoka-u.ac.jp	8月号	B分冊 8～10月号 EB分冊 8～10月号
将来ネットワークに向けたインターネットアーキテクチャ特集	・26年1月31日(金) ・和文誌 B 26年10月号	山井成良：岡山大学情報統括センター TEL [086] 251-7238, FAX [086] 251-7244 E-mail : yamai@cc.okayama-u.ac.jp	9月号	B分冊 9～11月号

◎エレクトロニクスソサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に関する小特集	・25年10月4日(金) ・英文誌 C 26年6月号	塚田敏郎：東京理科大学理工学部電気電子情報工学科 TEL [04] 7124-1501 Ext. 3756 FAX [04] 7122-5171 E-mail : tsukada.t@rs.tus.ac.jp	6月号	C分冊 6～8月号 EC分冊 6～8月号
エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術とその応用の進展小特集	・25年9月27日(金) ・英文誌 C 26年7月号	大貫進一郎：日本大学理工学部電気工学科 TEL [03] 3259-0783, FAX [03] 3259-0762 E-mail : ohnuki.shinichiro@nihon-u.ac.jp	7月号	C分冊 7～9月号 EC分冊 7～9月号

将来の光ネットワークに向けた最新の光エレクトロニクスと通信技術特集	・25年10月31日(木) ・英文誌 C 26年7月号	浜本貴一：九州大学大学院総合理工学研究院 TEL [092] 583-7604, FAX [092] 583-7898 E-mail : hamamoto@asem.kyushu-u.ac.jp	8月号	C分冊 8～10月号 EC分冊 8～10月号
-----------------------------------	-----------------------------------	---	-----	---------------------------------

◎情報・システムサイエティ

特集テーマ	投稿締切日 / 分冊・発行月	問合せ先	募集案内掲載号	
			会告	論文誌
実世界の音声情報処理のモデル化手法の進展とその応用小特集	・25年9月20日(金) ・英文誌 D 26年6月号	河井 恒：KDDI 研究所 TEL [049] 278-7432, FAX [049] 278-7510 E-mail : hi-kawai@kddilabs.jp	6月号	D分冊 6～8月号 ED分冊 6～8月号
インターネット技術とその応用小特集	・25年9月2日(月) ・和文誌 D 26年6月号	樋地正浩：東北大学 TEL [022] 217-6273 E-mail : hiji@econ.tohoku.ac.jp	7月号	D分冊 7～9月号
画像の認識・理解特集	・25年10月10日(木) ・和文誌 D 26年8月号	池内克史：東京大学生産技術研究所 TEL [03] 5452-6242, FAX [03] 5452-6244 E-mail : ki@cvi.iis.u-tokyo.ac.jp 及び cvi-staff@cvi.iis.u-tokyo.ac.jp	7月号	D分冊 7～9月号
サイバーワールド小特集	・25年11月8日(金) ・英文誌 D 26年9月号	茅 暁陽：山梨大学コンピュータ理工学科 TEL [055] 220-8652, FAX [055] 220-8652 E-mail : mao@yamanashi.ac.jp	7月号	D分冊 7～9月号 ED分冊 7～9月号
クラウド・サービスコンピューティング特集	・25年10月21日(月) ・和文誌 D 26年7月号	村上陽平：京都大学 TEL [075] 753-5396 E-mail : yohei@i.kyoto-u.ac.jp	8月号	D分冊 8～10月号
画像符号化・映像メディア処理特集	・25年12月17日(火) ・和文誌 D 26年9月号	市ヶ谷敦郎：NHK 放送技術研究所 TEL [03] 5494-3354, FAX [03] 5494-3197 E-mail : ie-letter@mail.ieice.org	9月号	D分冊 9～11月号
多値論理と VLSI コンピューティング小特集	・25年11月29日(金) ・英文誌 D 26年9月号	弓仲康史：群馬大学理工学研究院電子情報部門 TEL [0277] 30-1790, FAX [0277] 30-1707 E-mail : yuminaka@el.gunma-u.ac.jp	9月号	D分冊 9～11月号 ED分冊 9～11月号
Internet of Things のフロンティア小特集	・25年12月15日(日) ・英文誌 D 26年10月号	太田 香：室蘭工業大学情報電子工学系学科 TEL [0143] 46-5409, FAX [0143] 46-5409 E-mail : ota@csse.muroran-it.ac.jp	9月号	D分冊 9～11月号 ED分冊 9～11月号

——各種証明、閲覧の手数料について——

電子情報通信学会では、各種の証明、閲覧について、下記のとおり料金を頂きますので御了承下さい。

なお、突然来局された場合すぐに対応できない場合がありますので、必ず前もって御連絡下さるようお願い致します。

TEL [03] 3433-6691 ※は、TEL [03] 3433-6692

種類	内容	料金(税込)	備考
証明手数料	特許証明	会員 200円/件 非会員 500円/件	
	在会証明書	無料	
閲覧手数料	会誌・論文誌※ 技術研究報告 各種大会論文集 その他本会出版物	会員 無料 非会員 300円/冊 コピー 10円/枚	料金は1冊(綴)ごととします。

(注) 会員からの依頼で非会員が代行される場合は、非会員の料金となります。